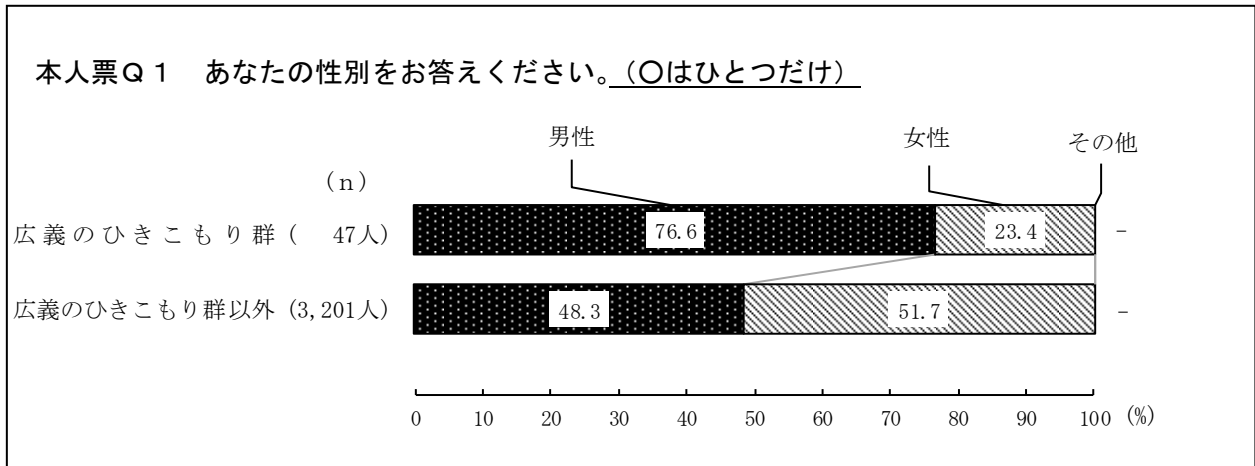


調査の結果

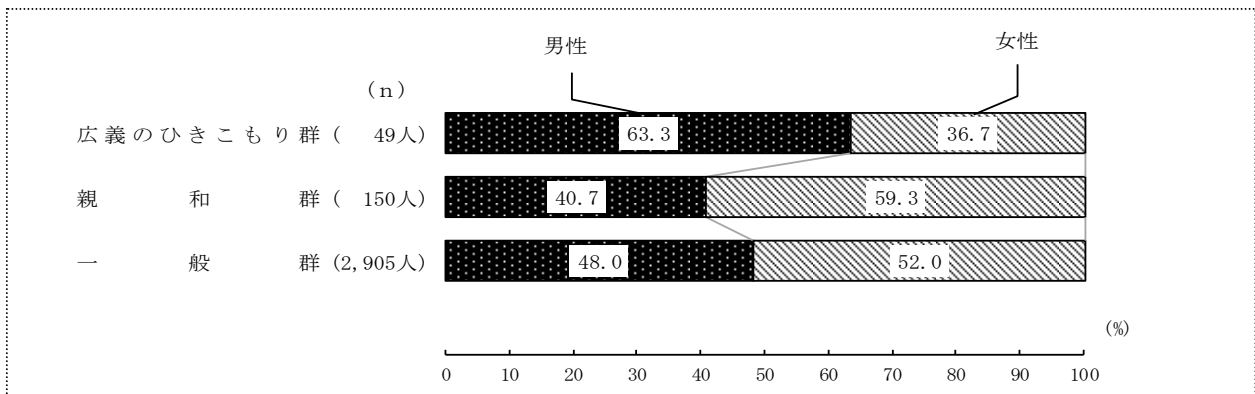
Ⅲ 調査の結果

【本人票】性別

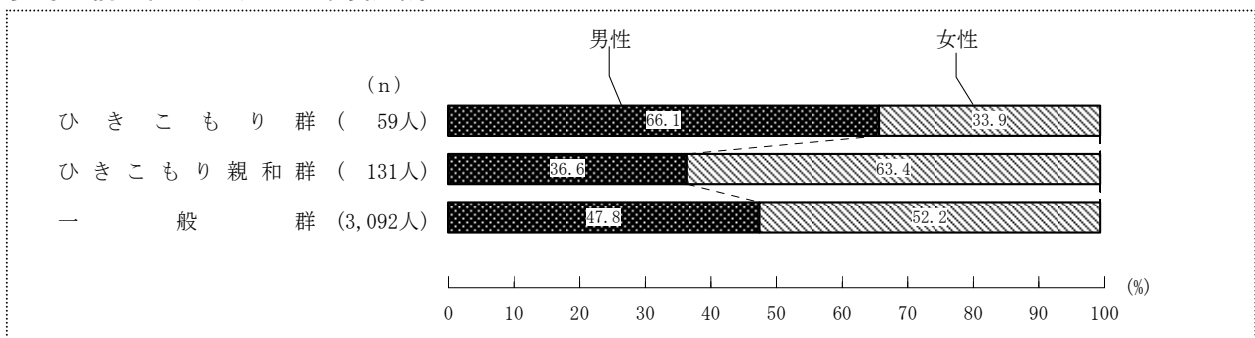


回答者の性別は、広義のひきこもり群では、「男性」76.6%、「女性」23.4%、広義のひきこもり群以外では、「男性」48.3%、「女性」51.7%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査

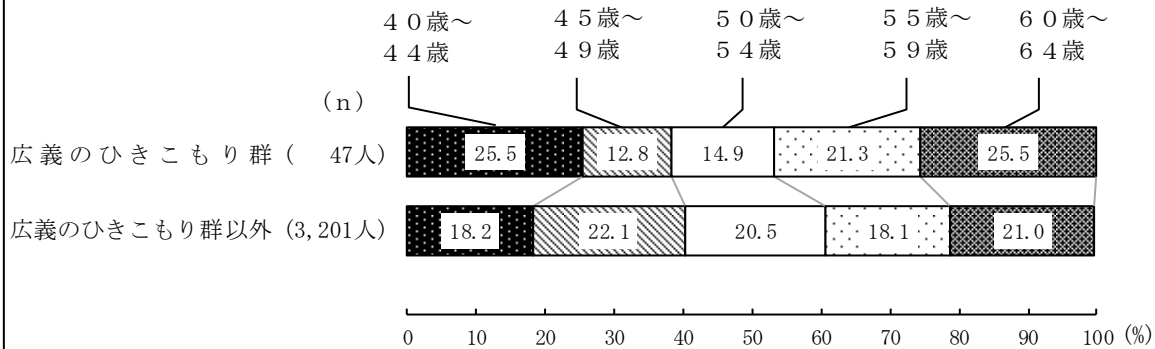


※平成21年度調査では、広義のひきこもり群を「ひきこもり群」と表記している。また、平成27年度調査及び平成21年度調査では、「ひきこもりを共感・理解し、ともすると閉じこもりたいたいと思うことがある人たち」を抽出し、「親和群」、「ひきこもり親和群」としている。以下同。

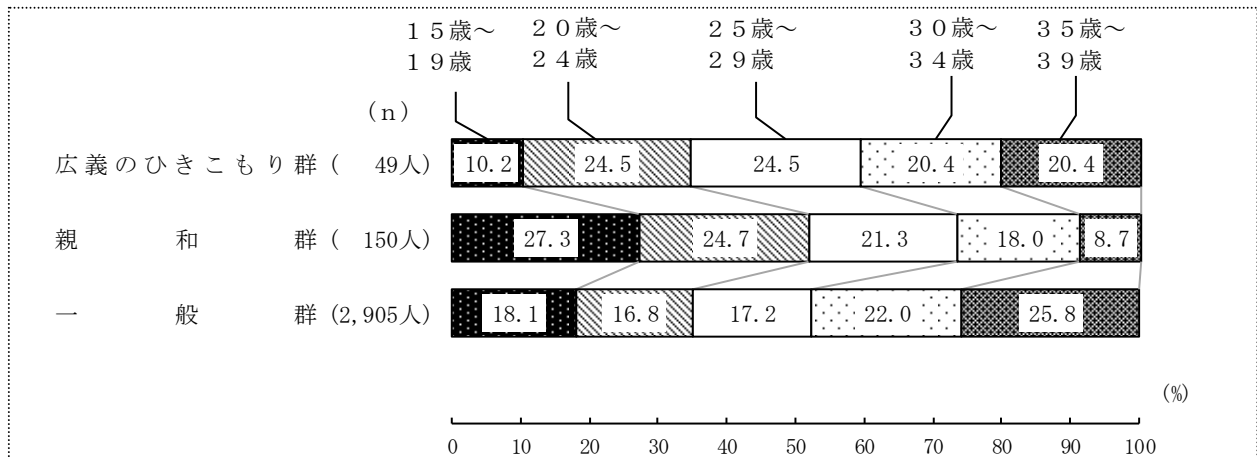
※平成27年度調査及び平成21年度調査の対象者は、満15歳から満39歳までの方である。以下同。

2 【本人票】年齢

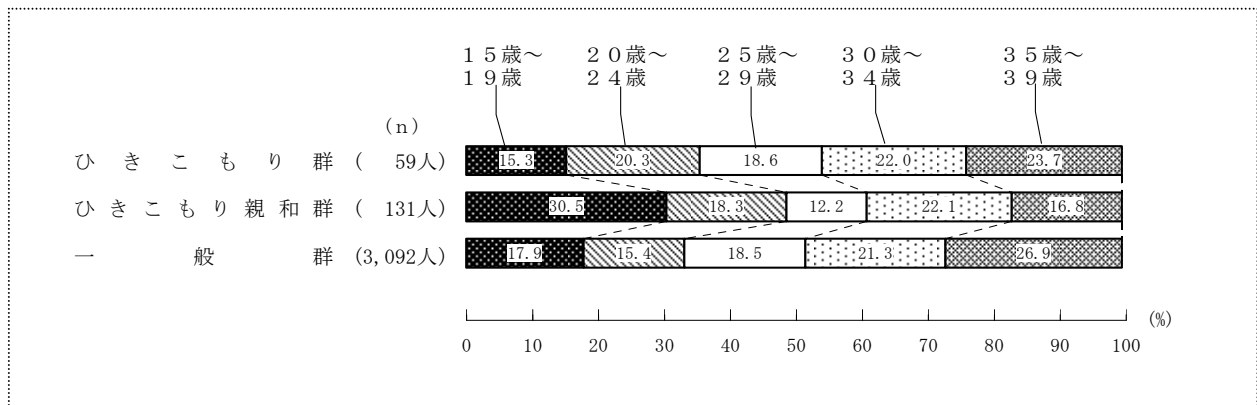
本人票Q2 あなたの年齢をお答えください。(〇はひとつだけ)



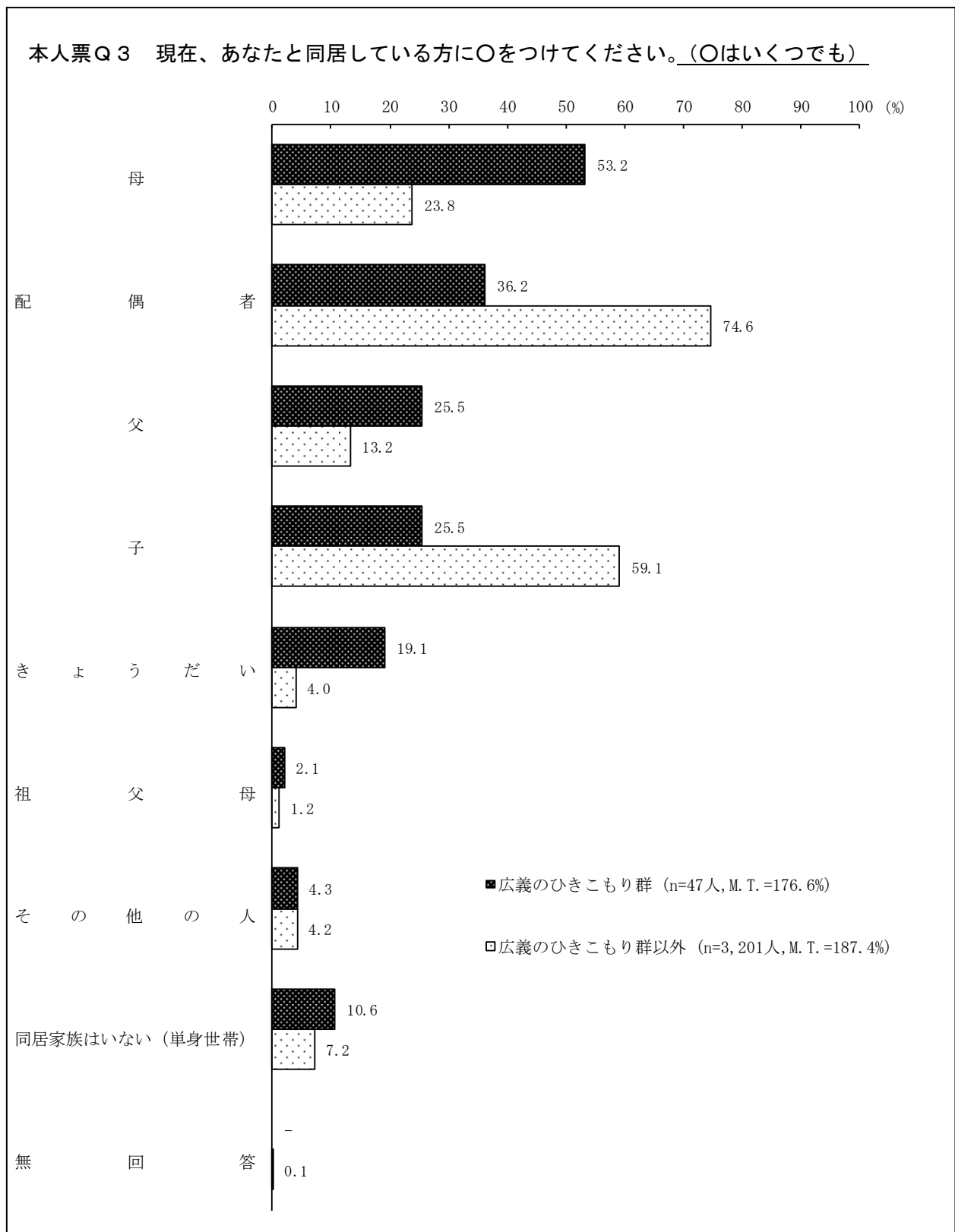
参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査

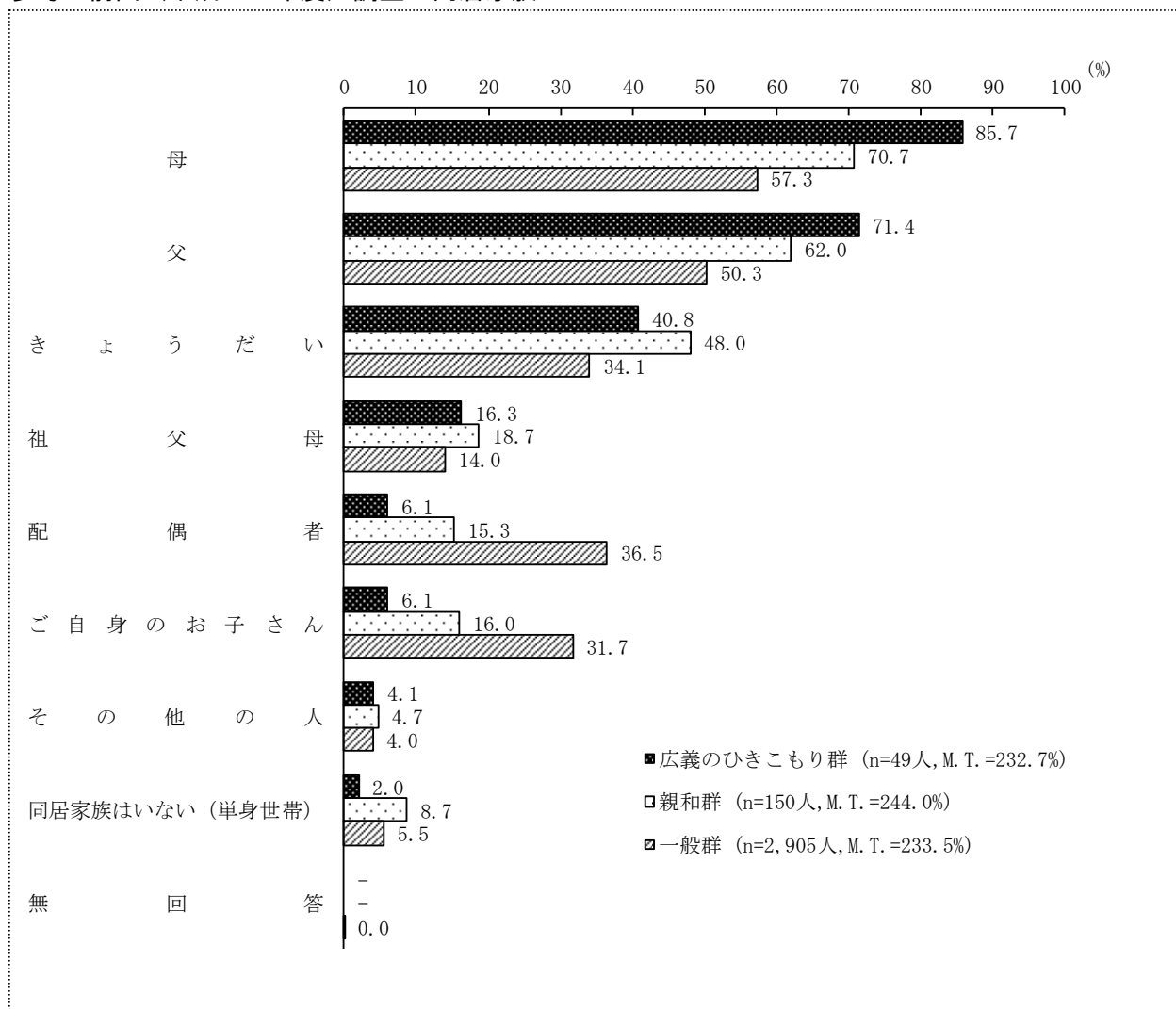


3 【本人票】同居者

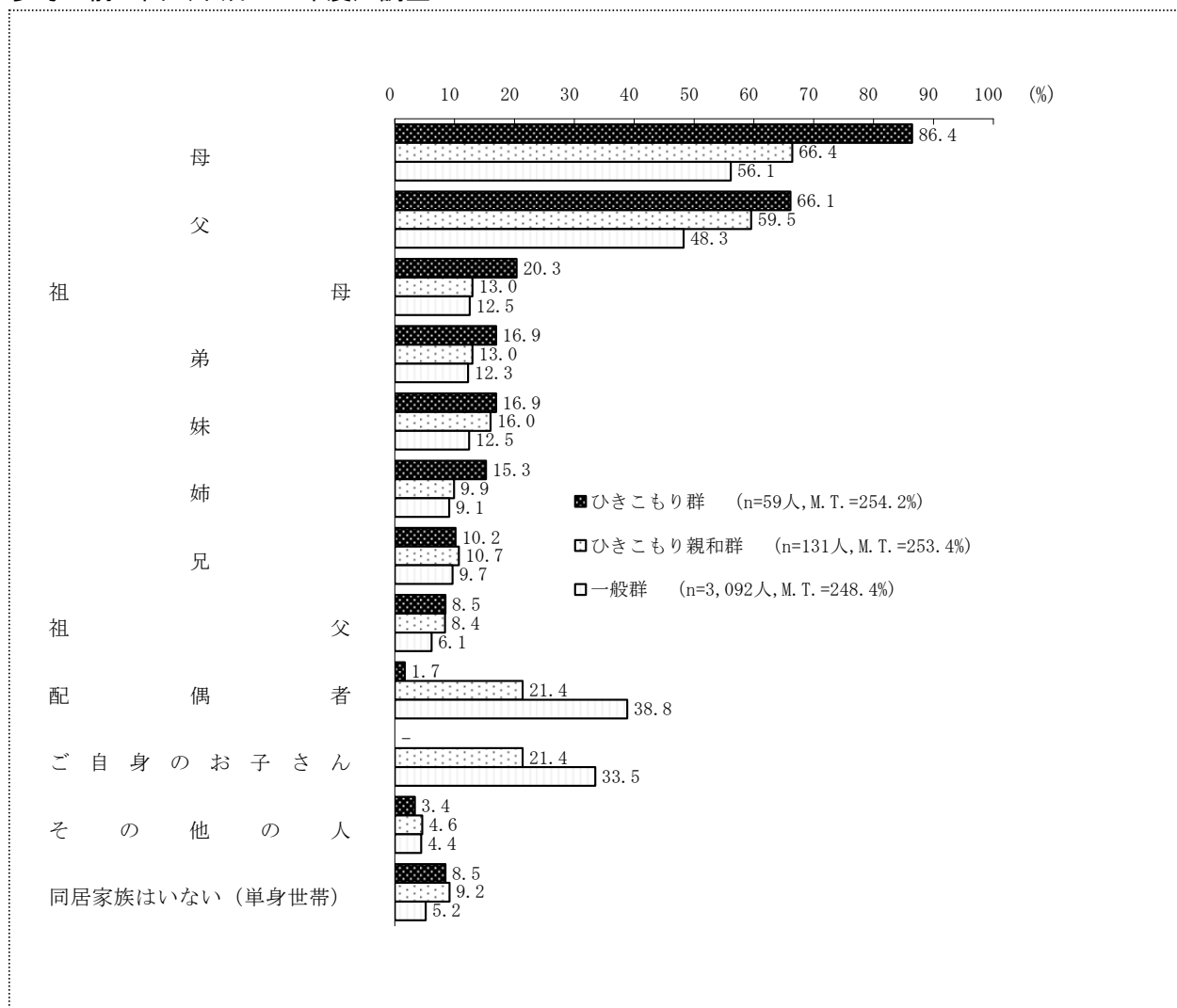


回答者の同居者について聞いたところ、「母」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で53.2%、広義のひきこもり群以外で23.8%、「配偶者」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で36.2%、広義のひきこもり群以外で74.6%、「父」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で25.5%、広義のひきこもり群以外で13.2%、「子」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で25.5%、広義のひきこもり群以外で59.1%、「きょうだい」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で19.1%、広義のひきこもり群以外で4.0%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査 同居家族

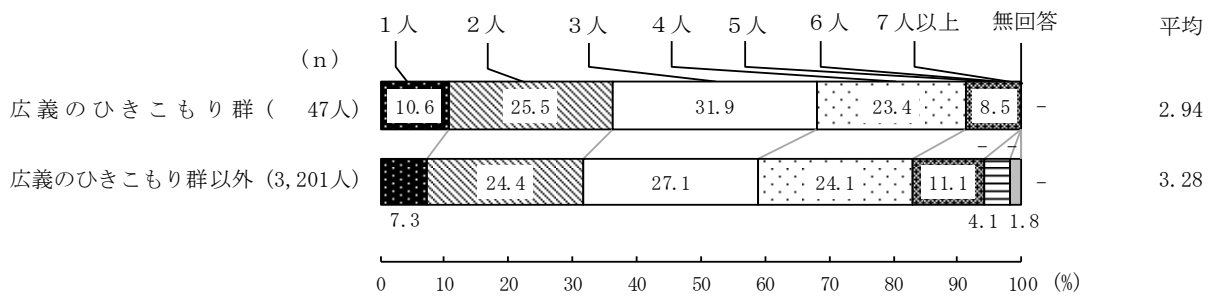


参考：前々回（平成21年度）調査

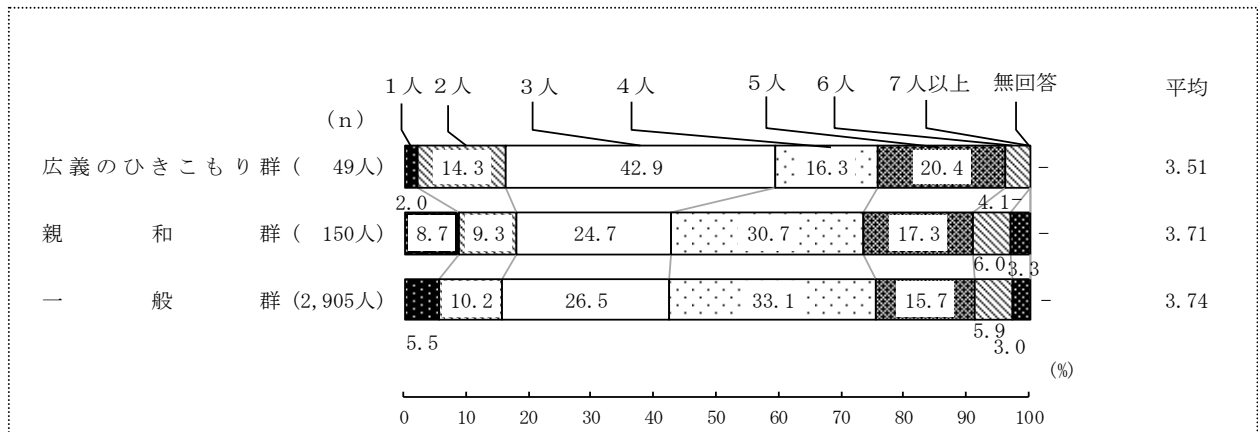


4 【本人票】同居人数

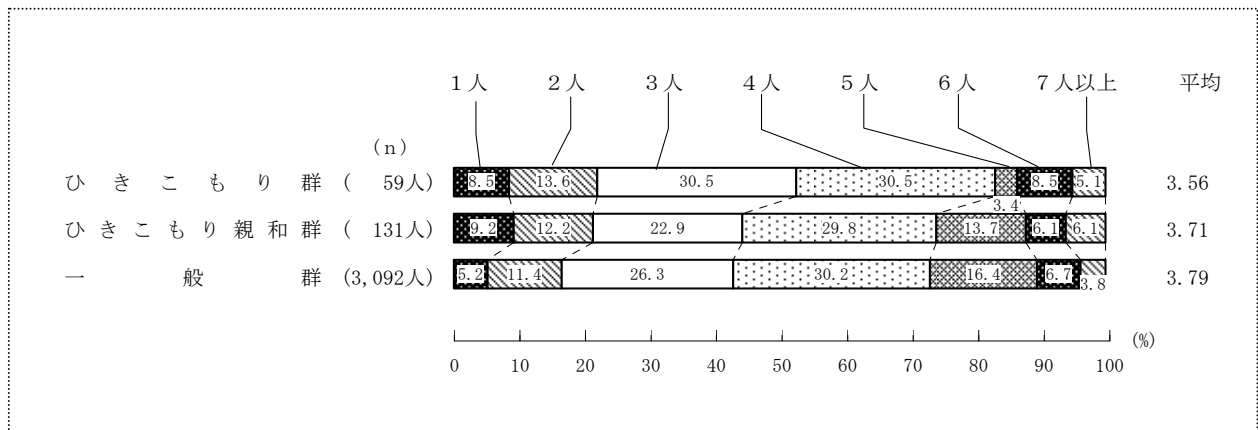
本人票Q4 現在、同居している人は合計で何人ですか。あなたも含めた人数を記入してください。(数字で具体的に)



参考：前回（平成27年度）調査

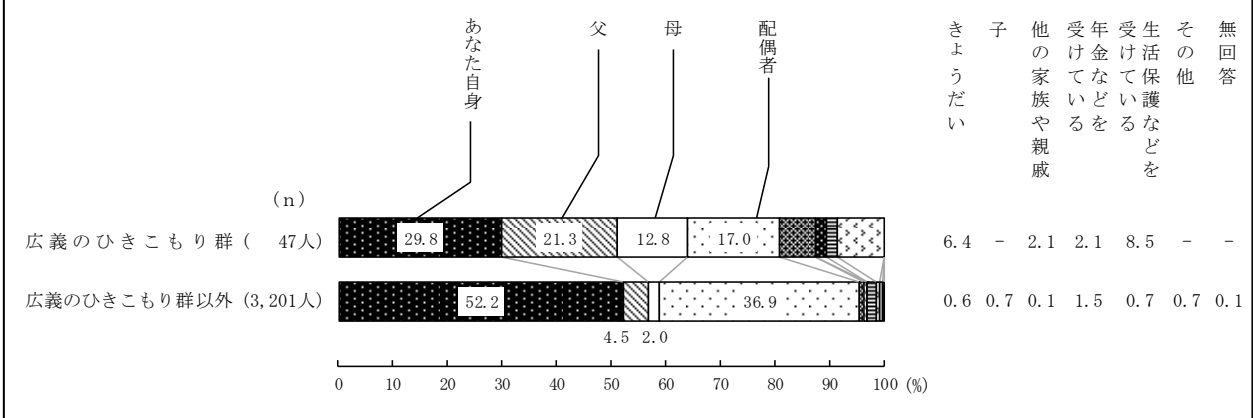


参考：前々回（平成21年度）調査



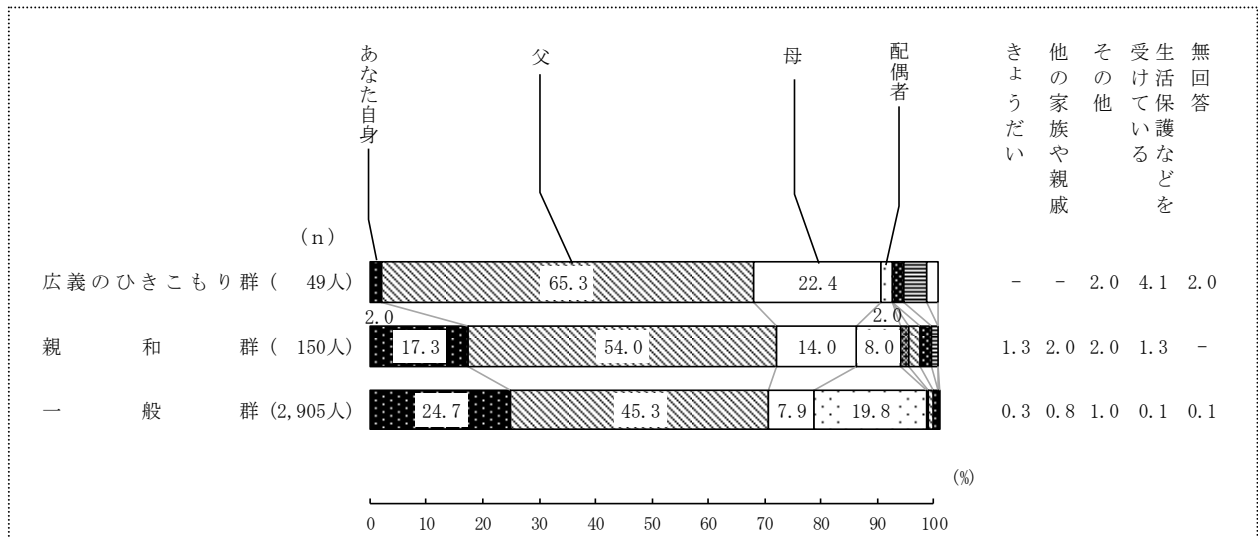
5 【本人票】主生計者

本人票Q5 あなたの家の生計を立てているのは、主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担している人をお答えください。
また、主に仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(〇はひとつだけ)

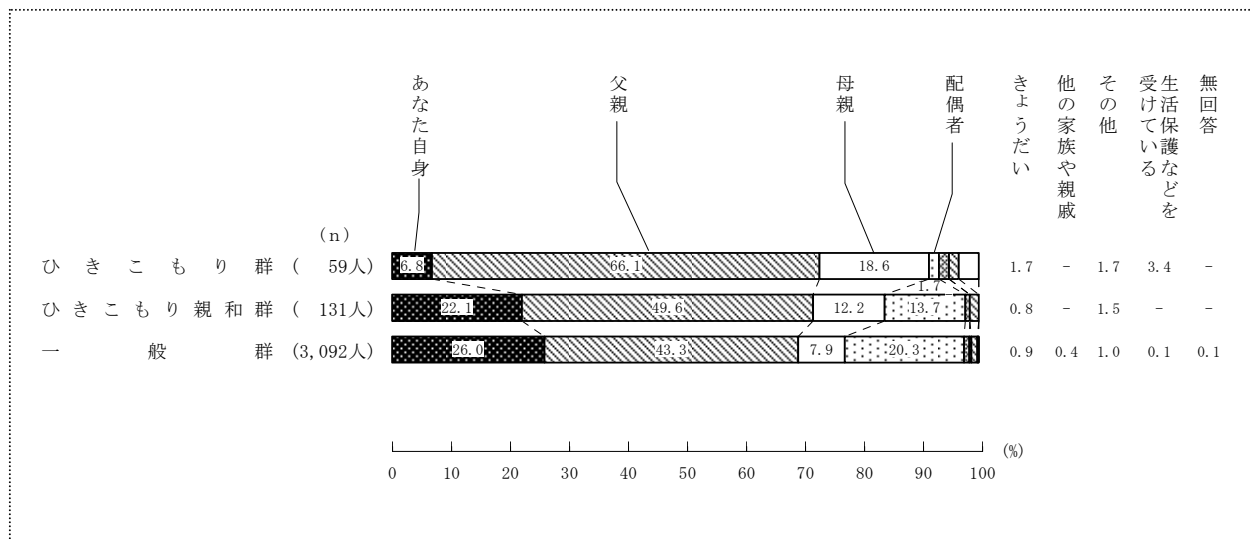


回答者の主生計者は、広義のひきこもり群では、「あなた自身」29.8%、「父」21.3%、「母」12.8%、「配偶者」17.0%、「きょうだい」6.4%、「他の家族や親戚」2.1%、「生活保護などを受けている」8.5%、広義のひきこもり群以外では、「あなた自身」52.2%、「父」4.5%、「母」2.0%、「配偶者」36.9%、「きょうだい」0.6%、「他の家族や親戚」0.1%、「生活保護などを受けている」0.7%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査

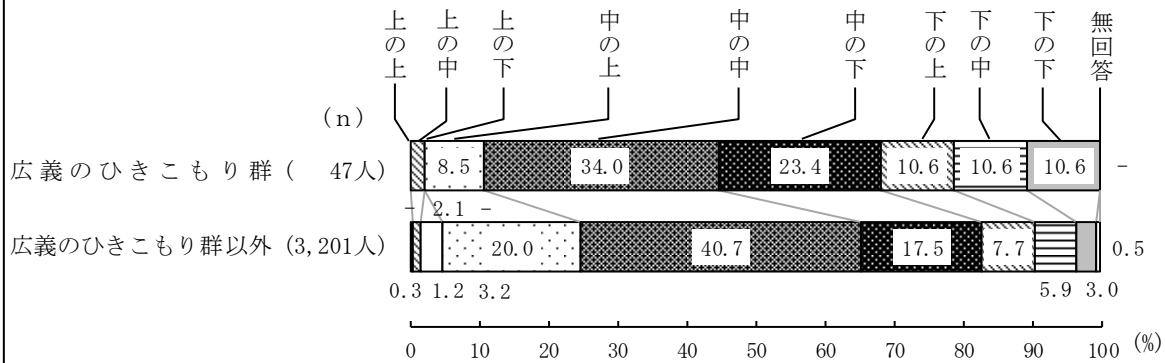


参考：前々回（平成21年度）調査



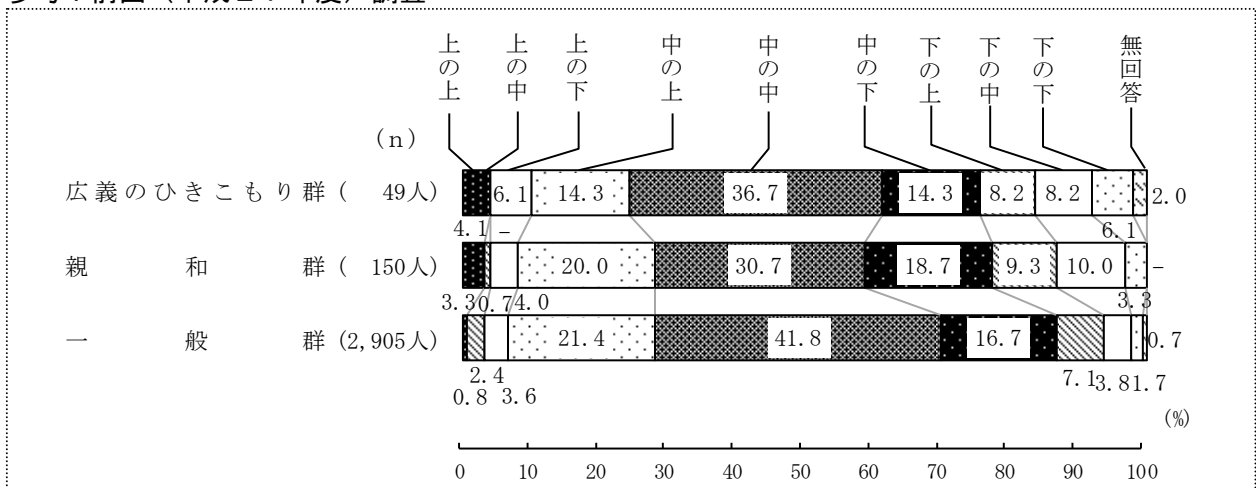
6 【本人票】暮らし向き

本人票Q6 あなたの家の暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べてみて、上の上から下の下までのどれにあたると思われますか。あなたの実感でお答えください。（○はひとつだけ）

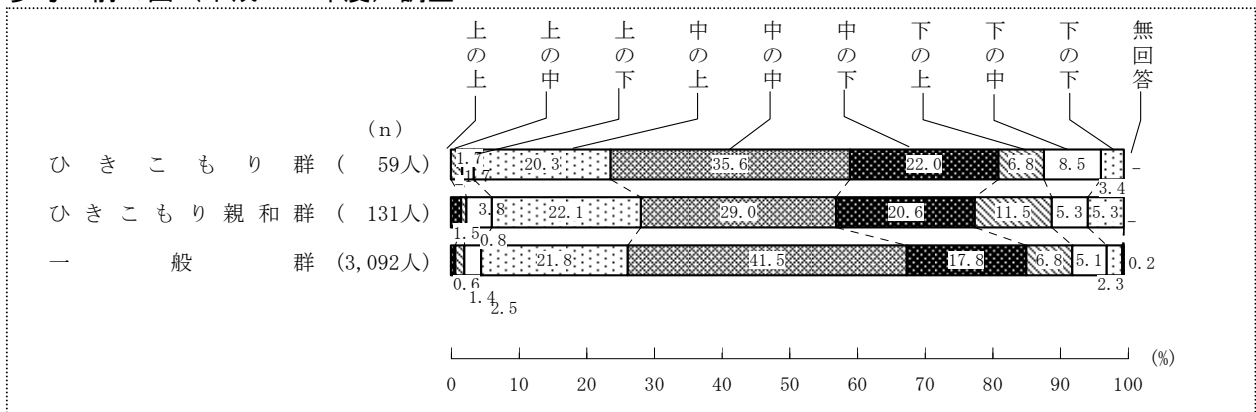


暮らし向きについて聞いたところ、広義のひきこもり群では、『中』（「中の上」＋「中の中」＋「中の下」）66.0%、『下』（「下の上」＋「下の中」＋「下の下」）31.9%、広義のひきこもり群以外では、『中』78.2%、『下』16.7%となっている。

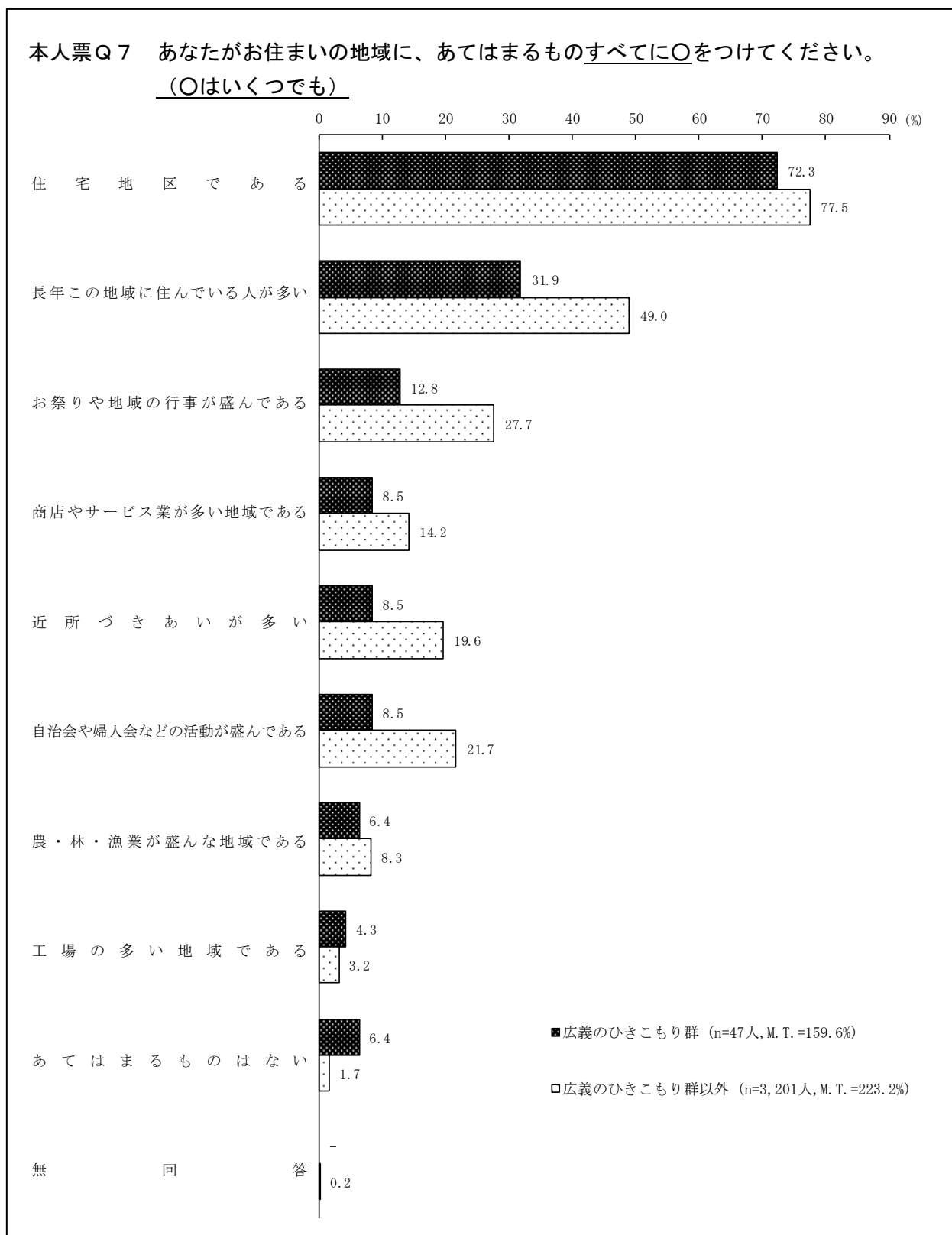
参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査



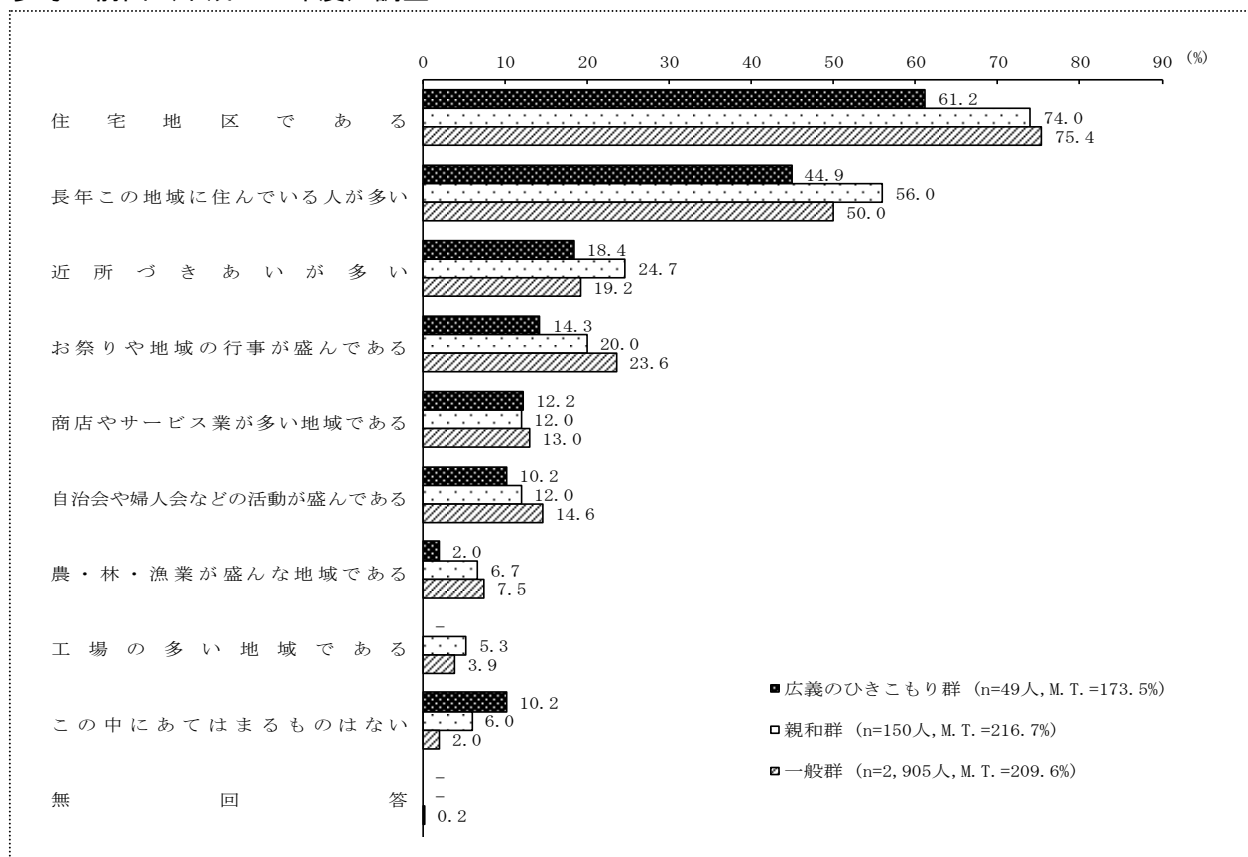
7 【本人票】地域の状況



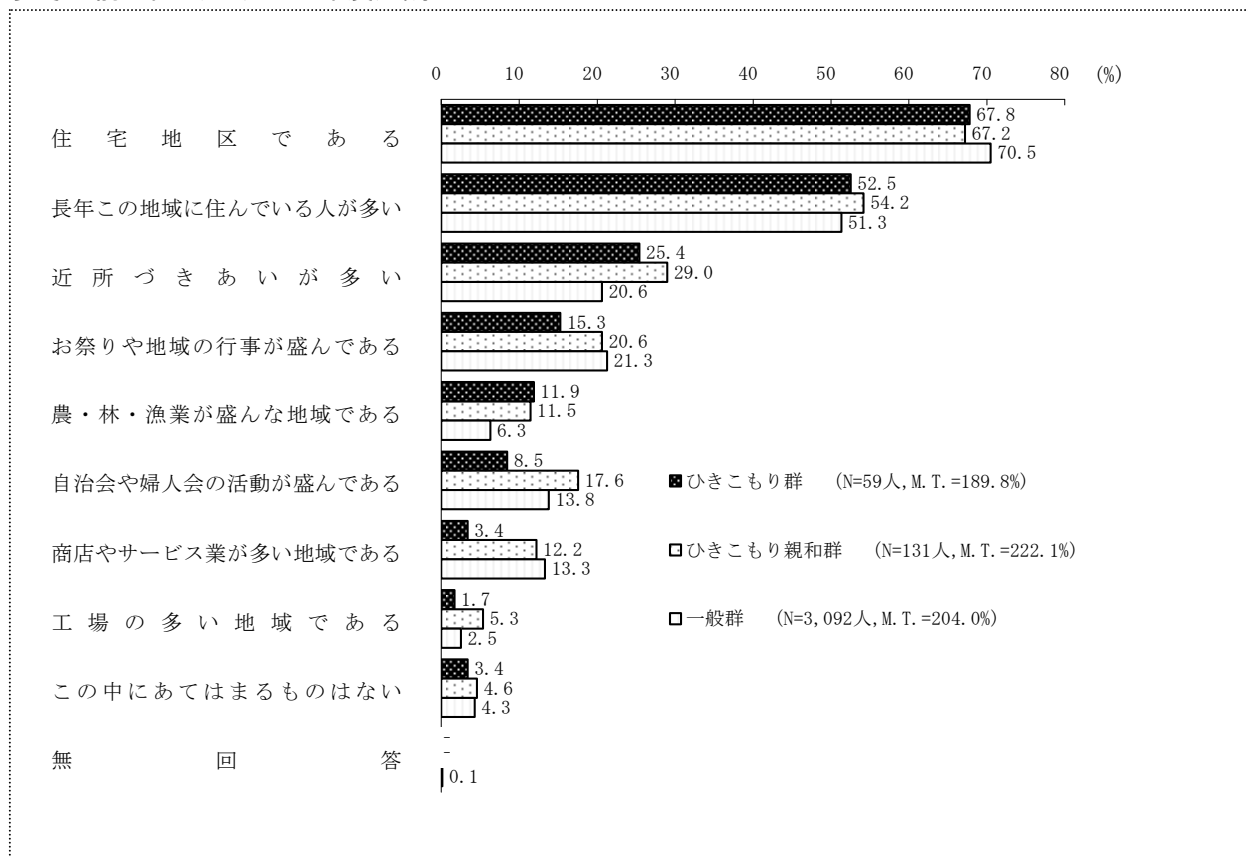
地域の状況について聞いたところ、「長年この地域に住んでいる人が多い」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で31.9%、広義のひきこもり群以外で49.0%、「お祭りや地域の行事が盛んである」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で12.8%、広義のひきこもり群以外で27.7%、「自治会や婦人会などの活動が盛んである」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で8.5%、広義のひきこもり群以外で21.7%となっている。

また、「あてはまるものはない」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で6.4%、広義のひきこもり群以外で1.7%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査

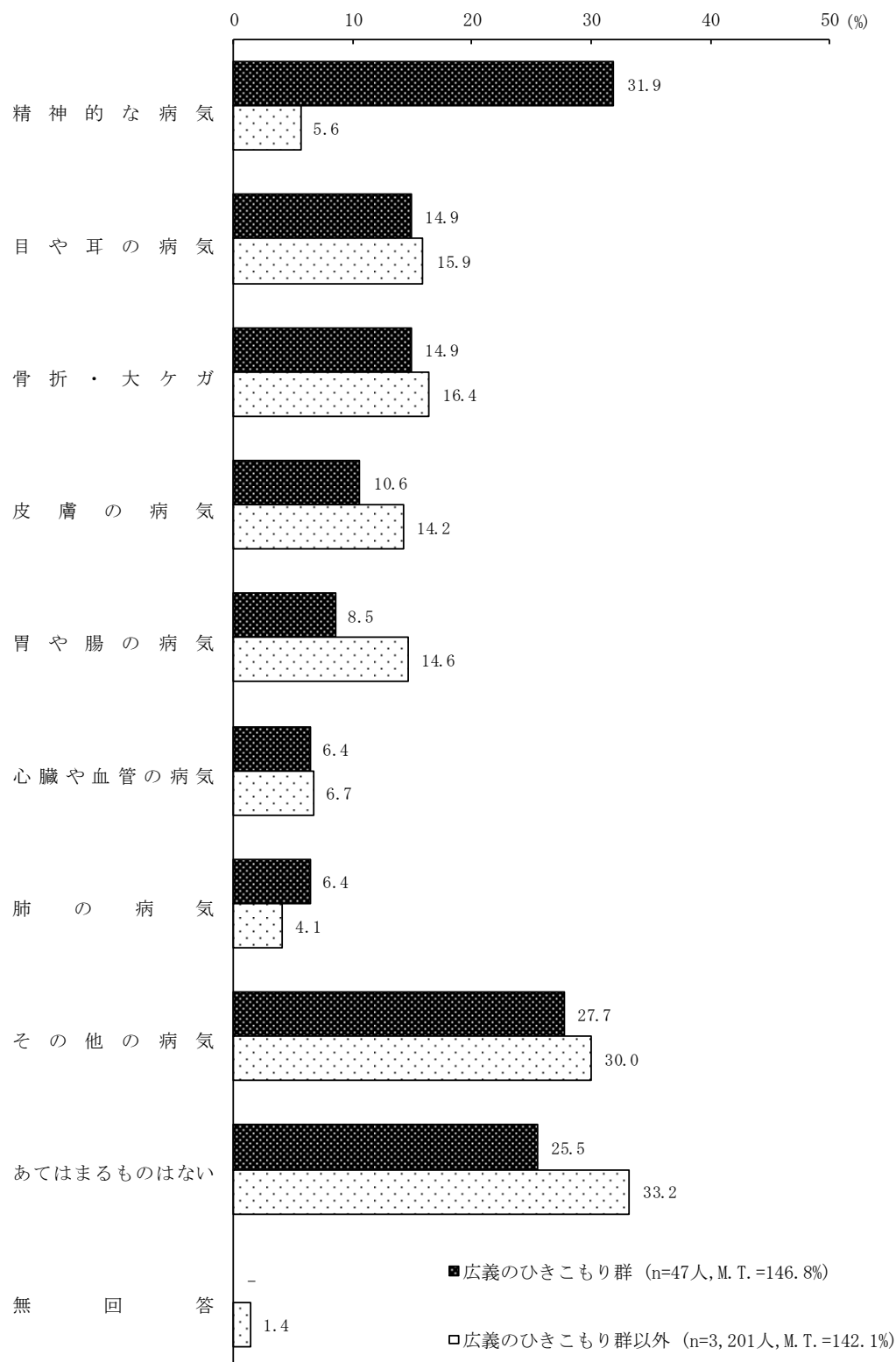


参考：前々回（平成21年度）調査



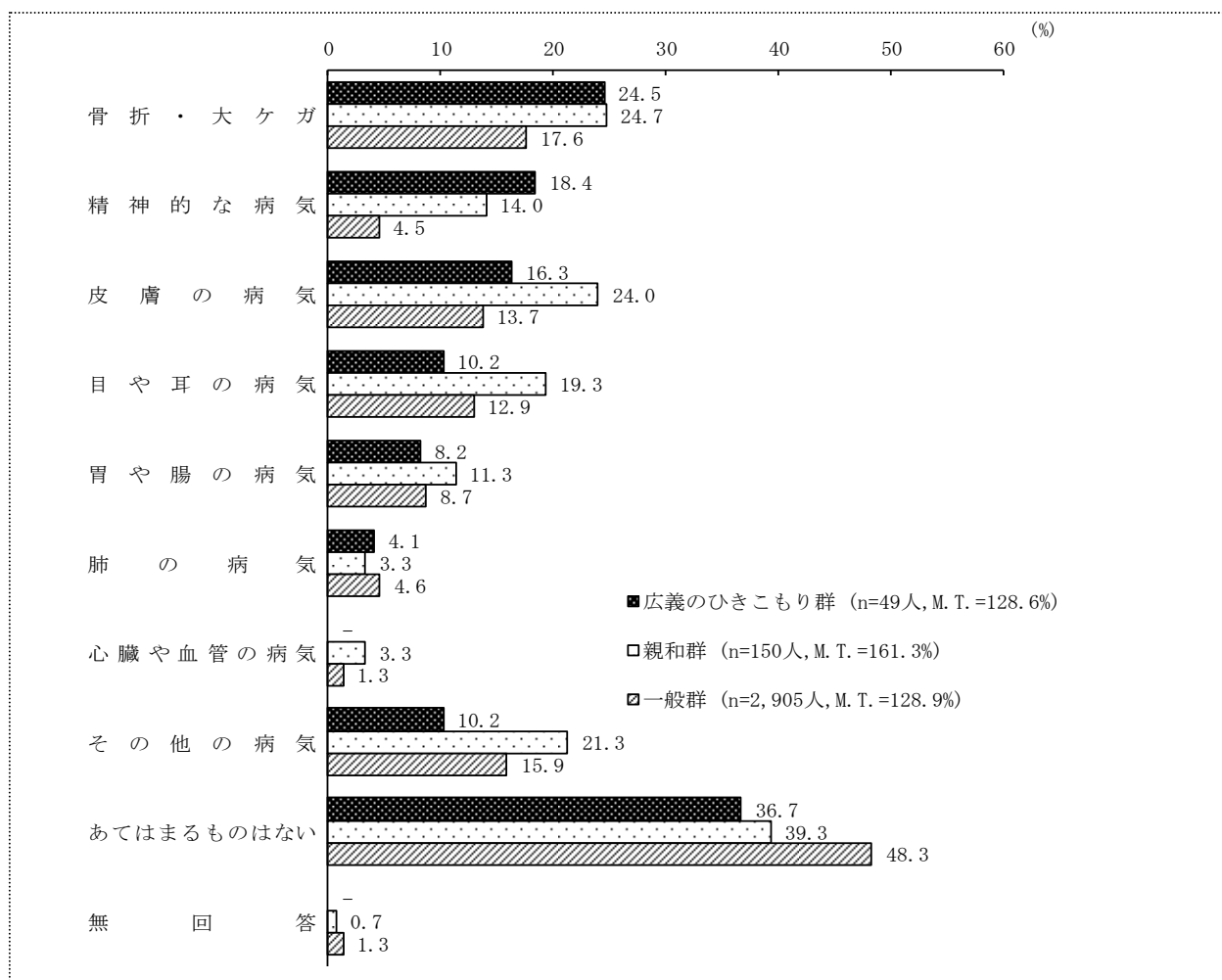
8 【本人票】通院・入院経験のある病気

本人票Q8 これまでに、以下の病気やけがで通院や入院をしたことはありますか。通院・入院したことがある病気に○をつけてください。(○はいくつでも)

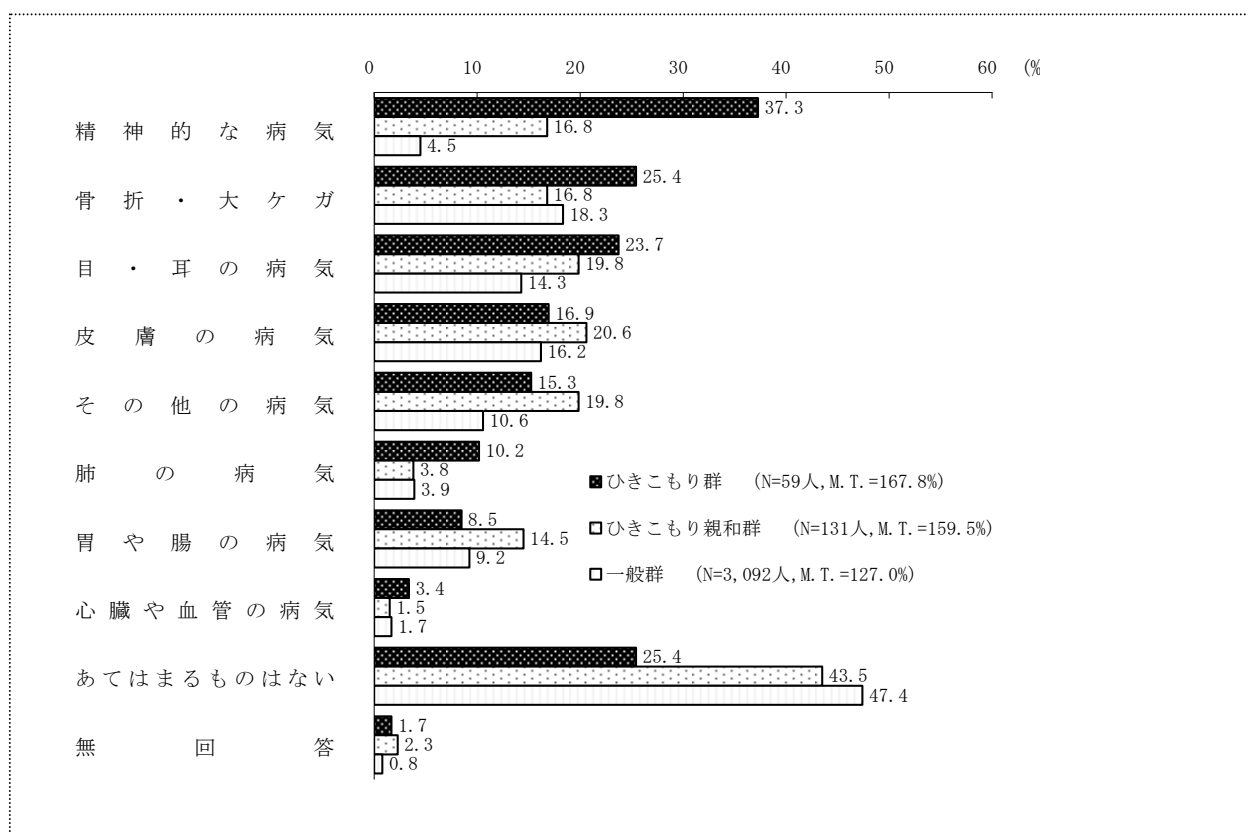


これまでに通院・入院経験のある病気やけがについて聞いたところ、「精神的な病気」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で31.9%、広義のひきこもり群以外で5.6%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査

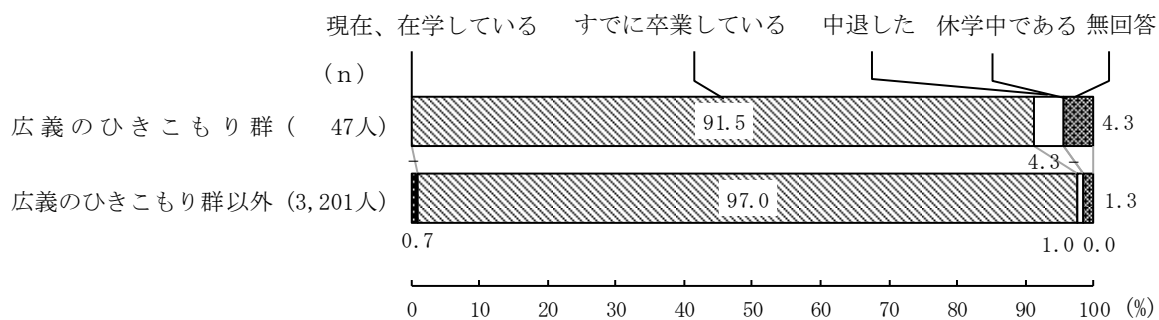


参考：前々回（平成21年度）調査



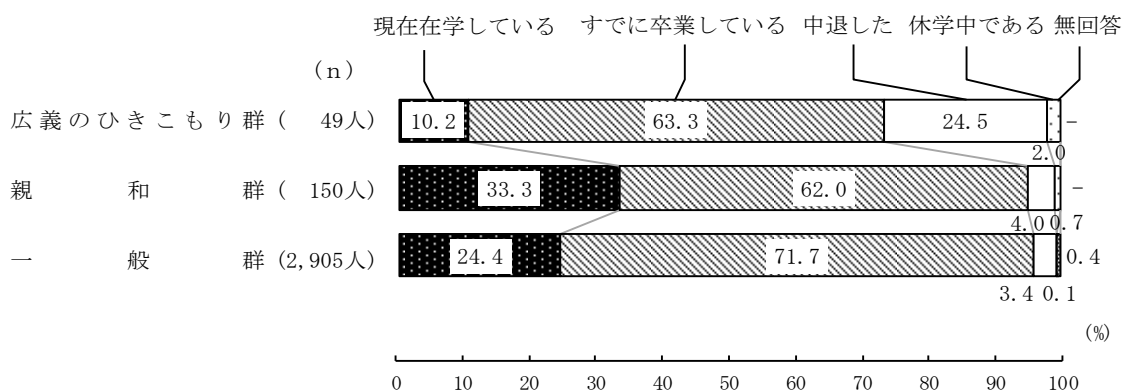
9 【本人票】通学状況

本人票Q9 あなたは現在、学校に通っていますか。(○はひとつだけ)

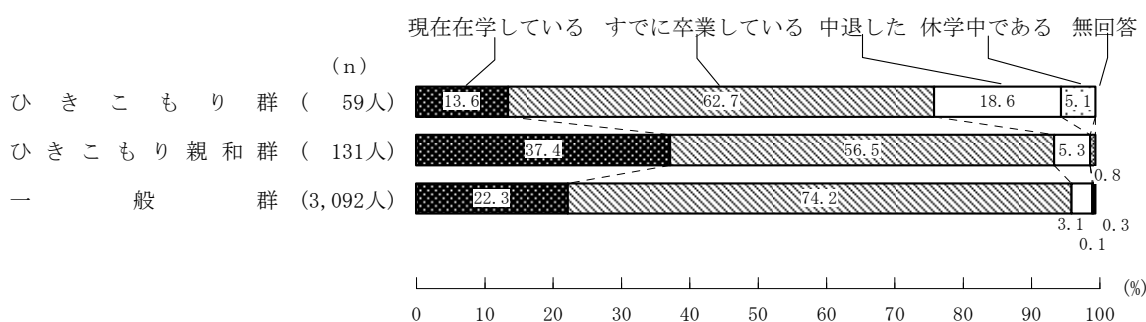


通学状況について聞いたところ、広義のひきこもり群では、「すでに卒業している」91.5%、「中退した」4.3%、広義のひきこもり群以外では、「すでに卒業している」97.0%、「中退した」1.0%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査

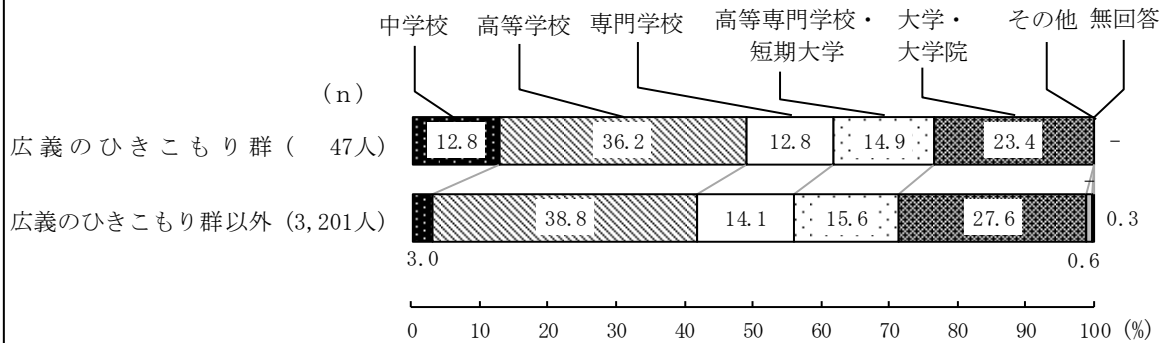


参考：前々回（平成21年度）調査



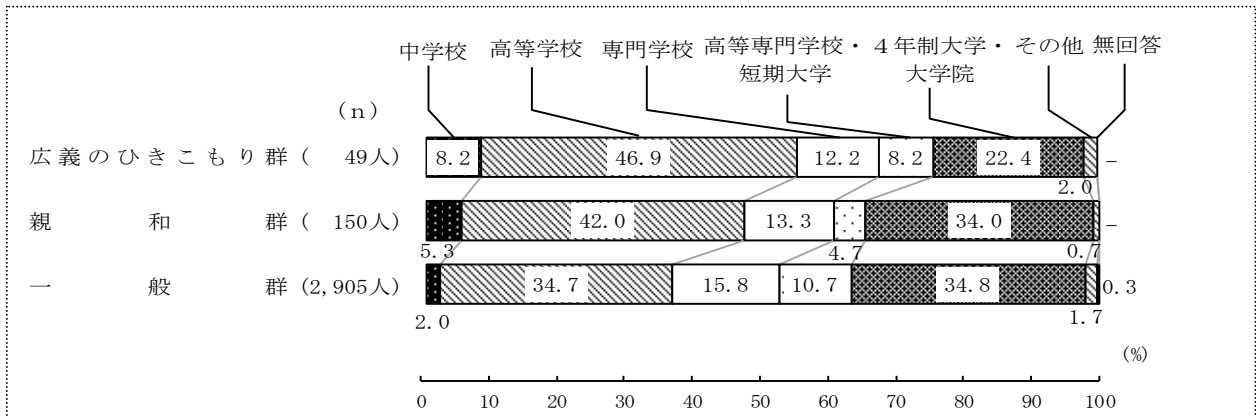
10 【本人票】卒業・在学中の学校

本人票Q10 あなたが最後に卒業(中退を含む)した、または現在、在学している学校はどれですか。(〇はひとつだけ)

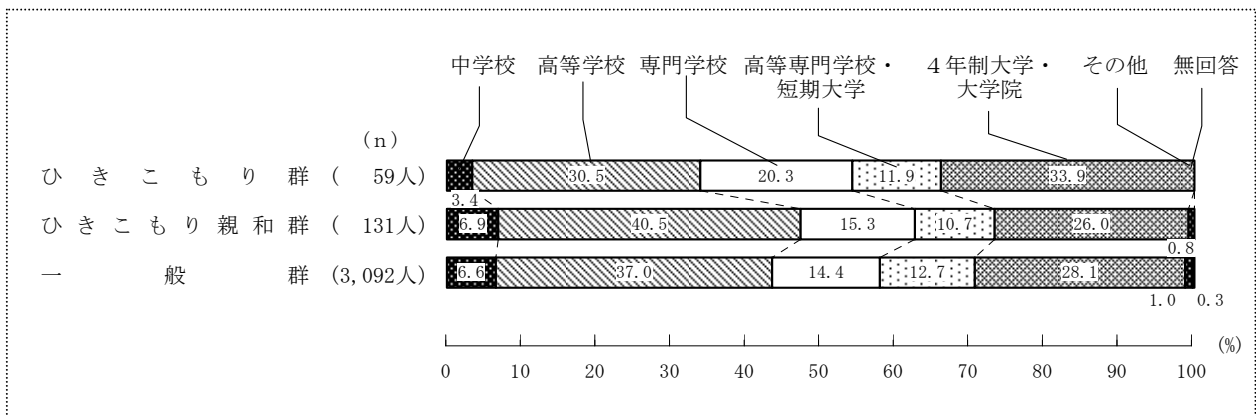


最後に卒業した、又は在学中の学校について聞いたところ、広義のひきこもり群では、「中学校」12.8%、広義のひきこもり群以外では、「中学校」3.0%となっている。

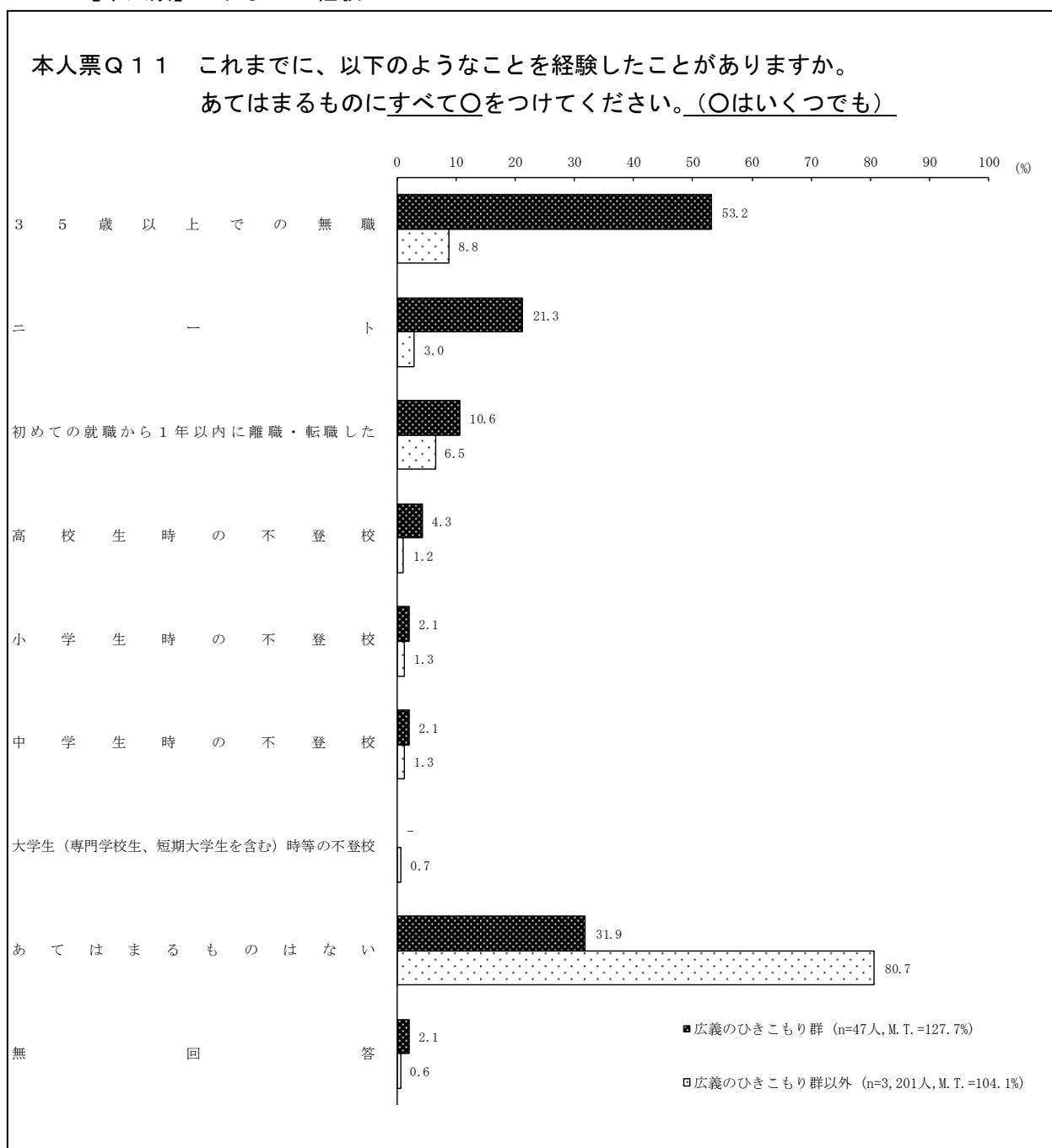
参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査



1 1 【本人票】これまでの経験

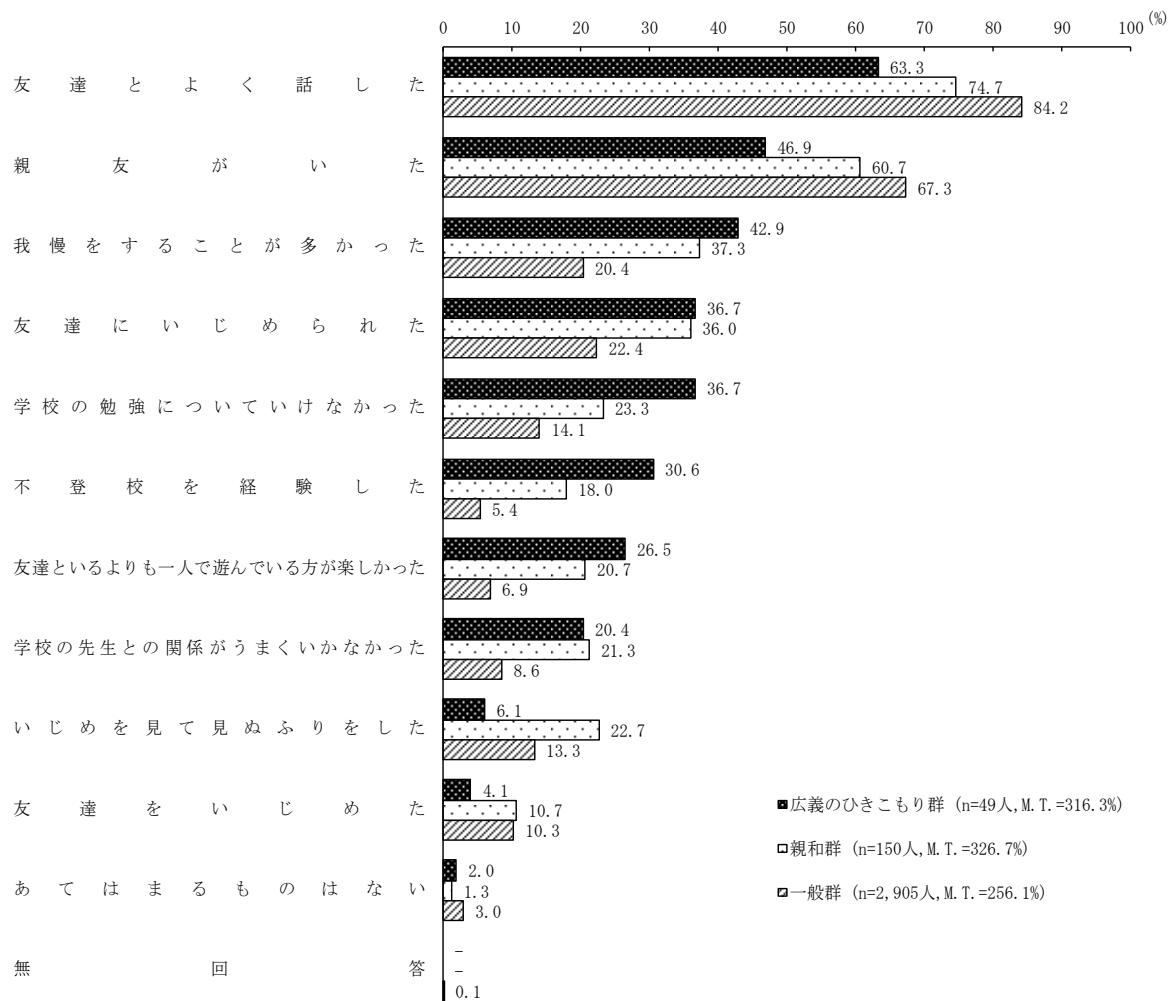


これまでの経験について聞いたところ、「35歳以上での無職」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で53.2%、広義のひきこもり群以外で8.8%、「ニート（15歳から34歳までの間に就学、就労、職業訓練のいずれも行っていない状態があった）」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で21.3%、広義のひきこもり群以外で3.0%となっている。

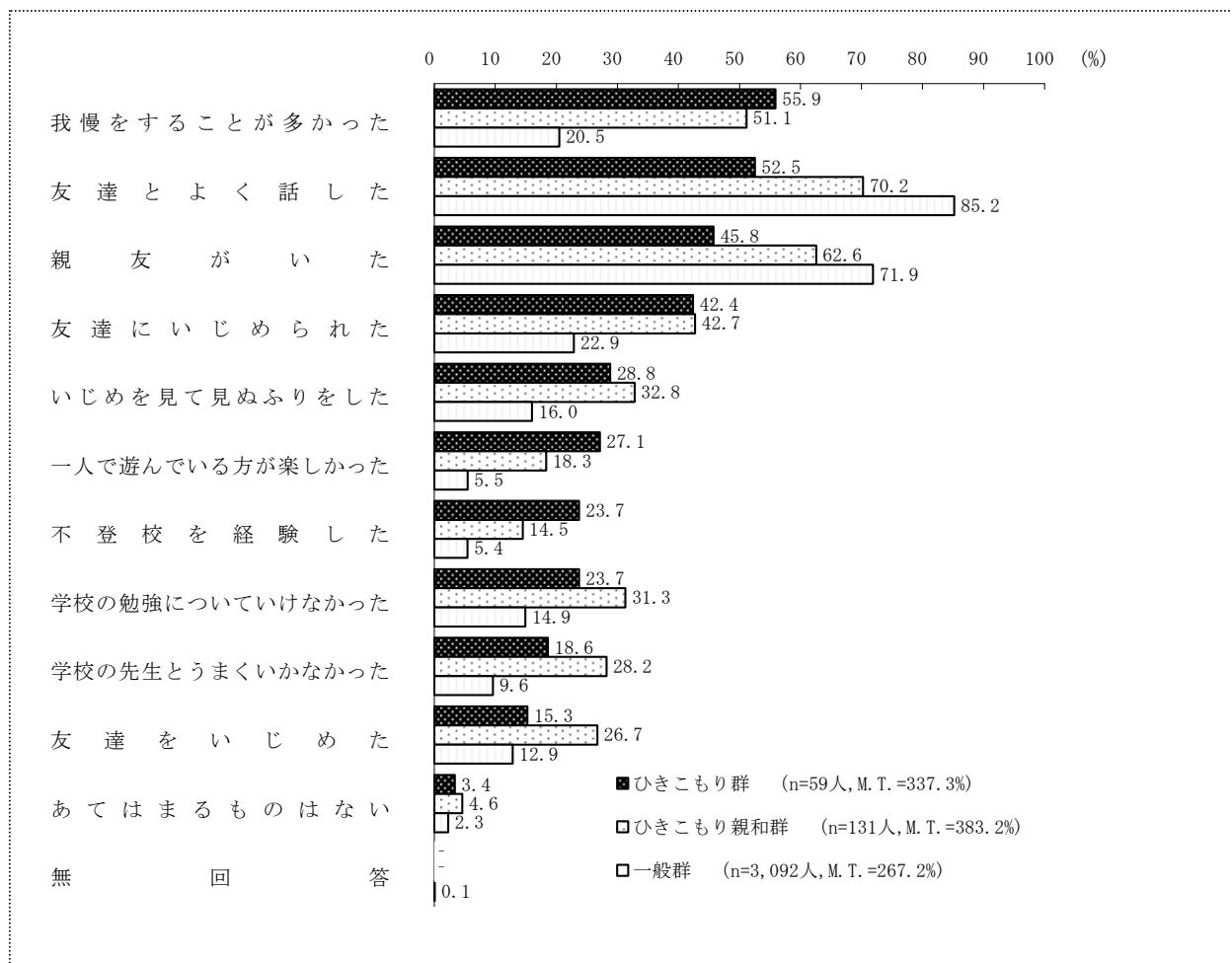
また、「あてはまるものはない」をあげた者の割合は、広義のひきこもり群で31.9%、広義のひきこもり群以外で80.7%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査 小中学校時代の学校での経験

本人票Q11 あなたは小学校や中学校の頃に、学校で次のようなことを経験したことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

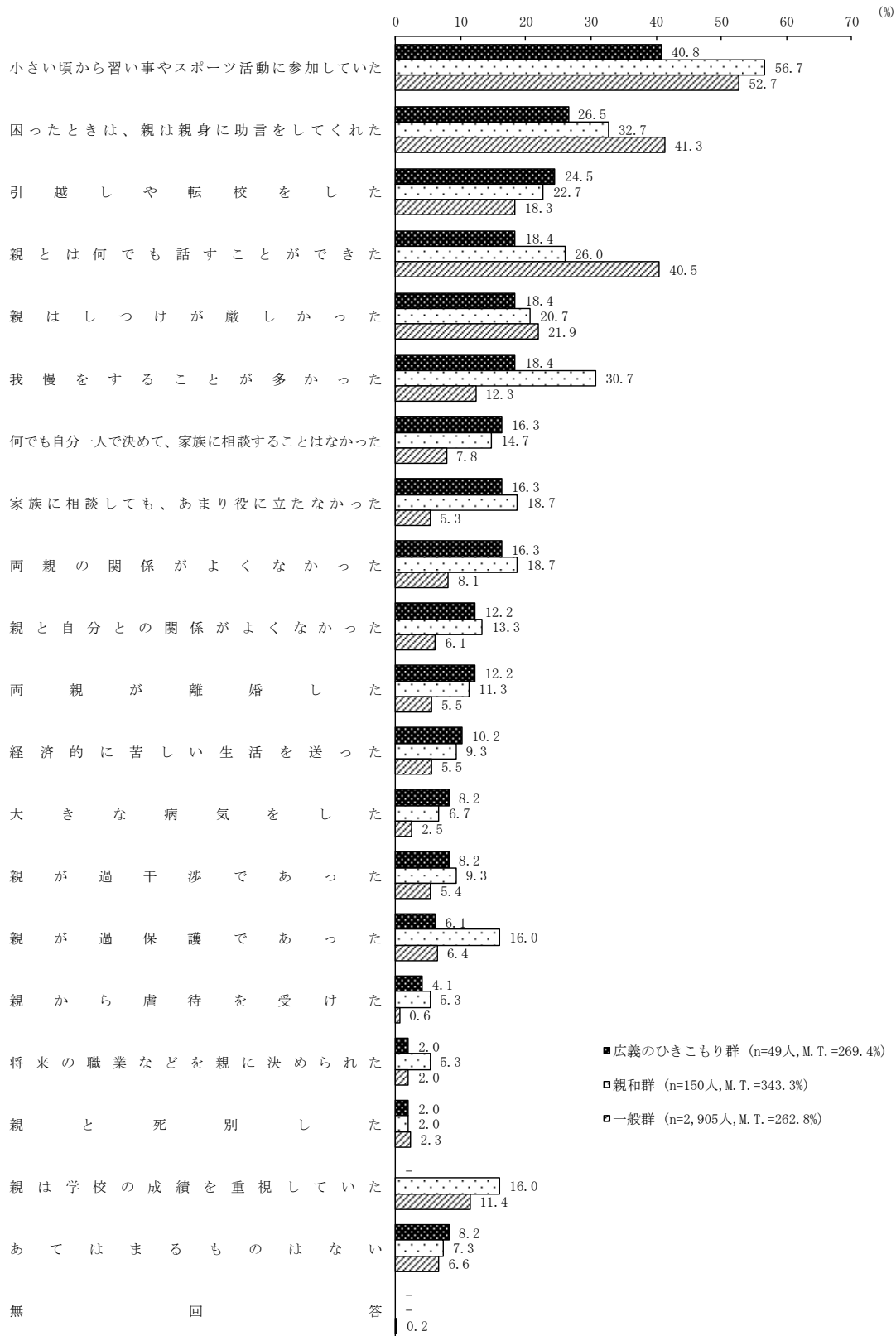


参考：前々回（平成21年度）調査

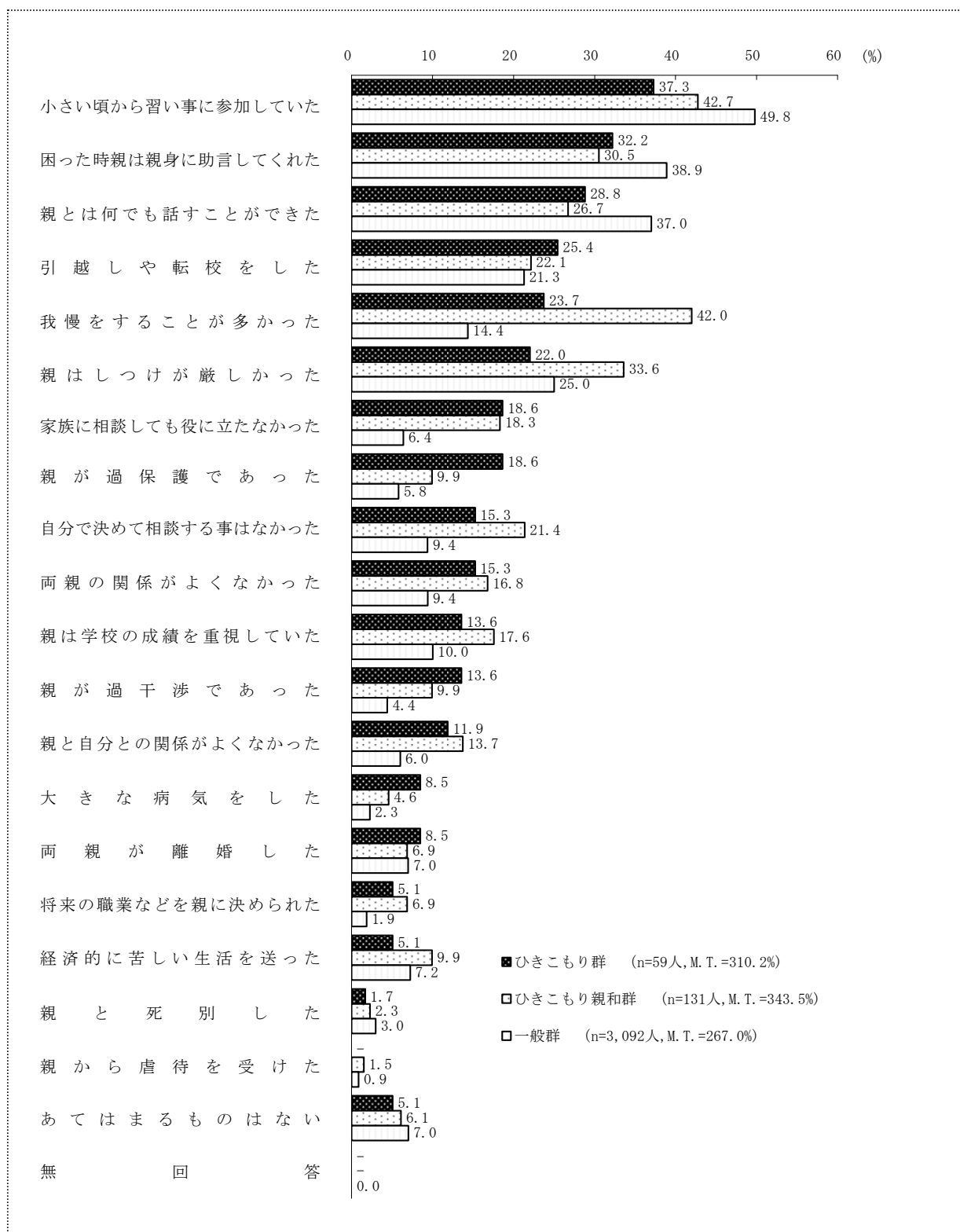


参考：前回（平成27年度）調査 小中学校時代の家庭での経験

本人票Q12 あなたは小学校や中学校の頃に、家庭で次のようなことを経験したことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）



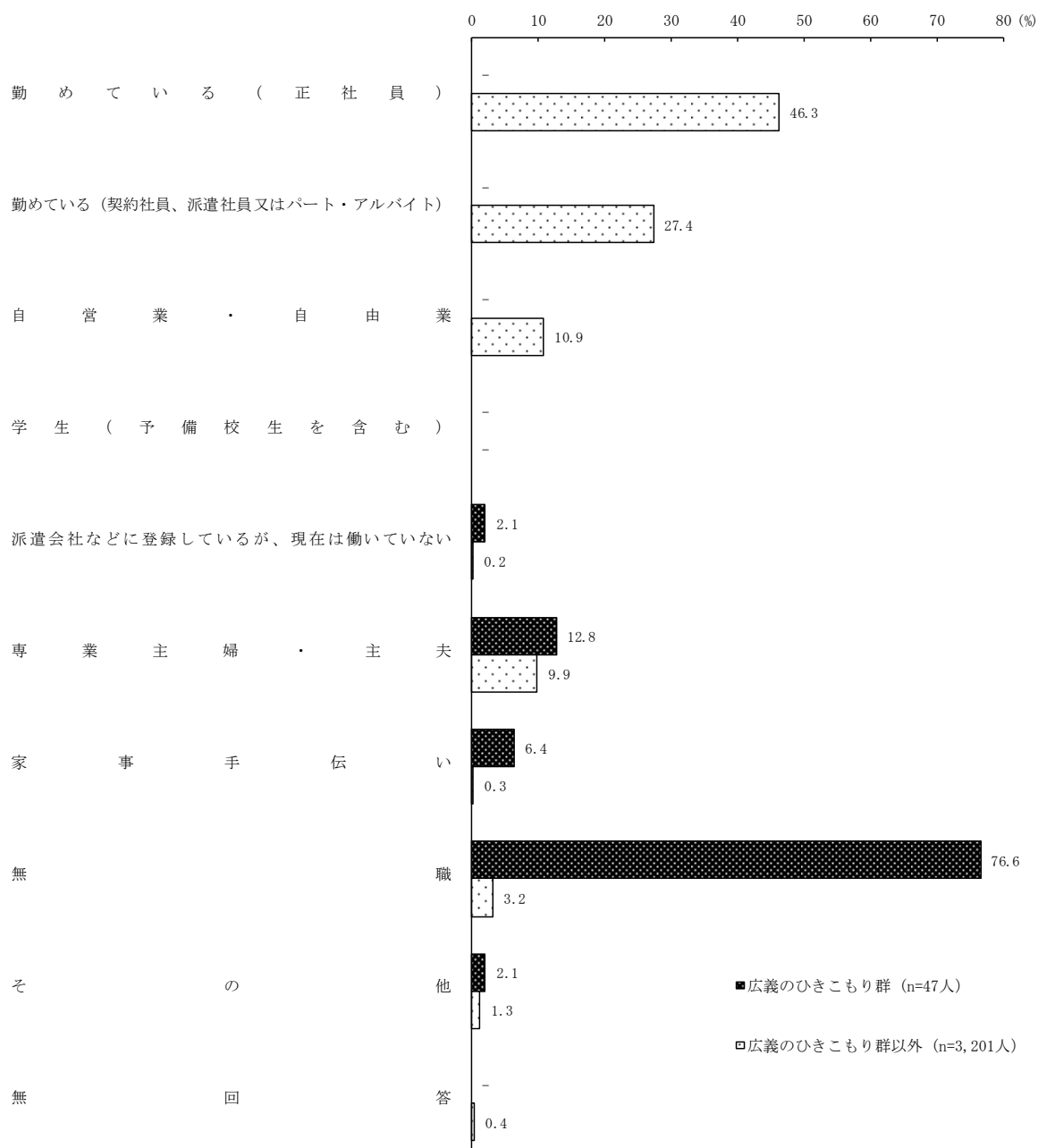
参考：前々回（平成21年度）調査



12 【本人票】現在の就労・就学等の状況

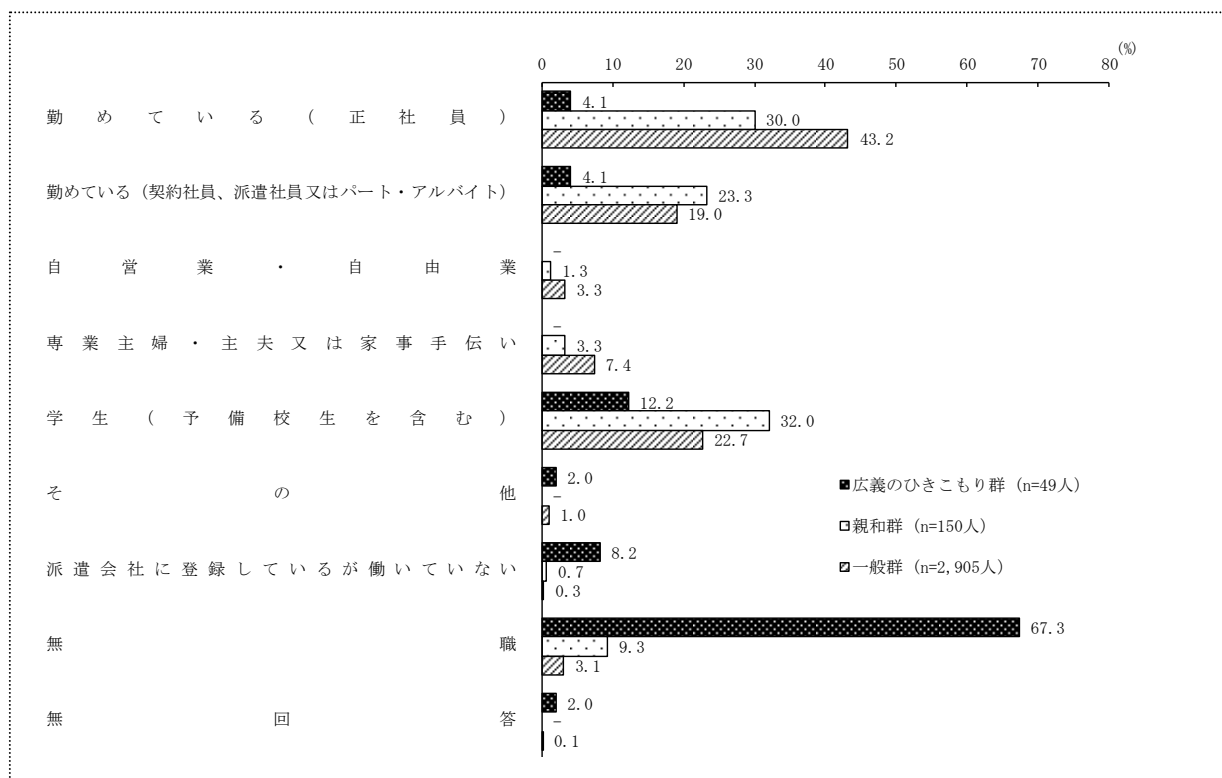
本人票Q12 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。

(○はひとつだけ)

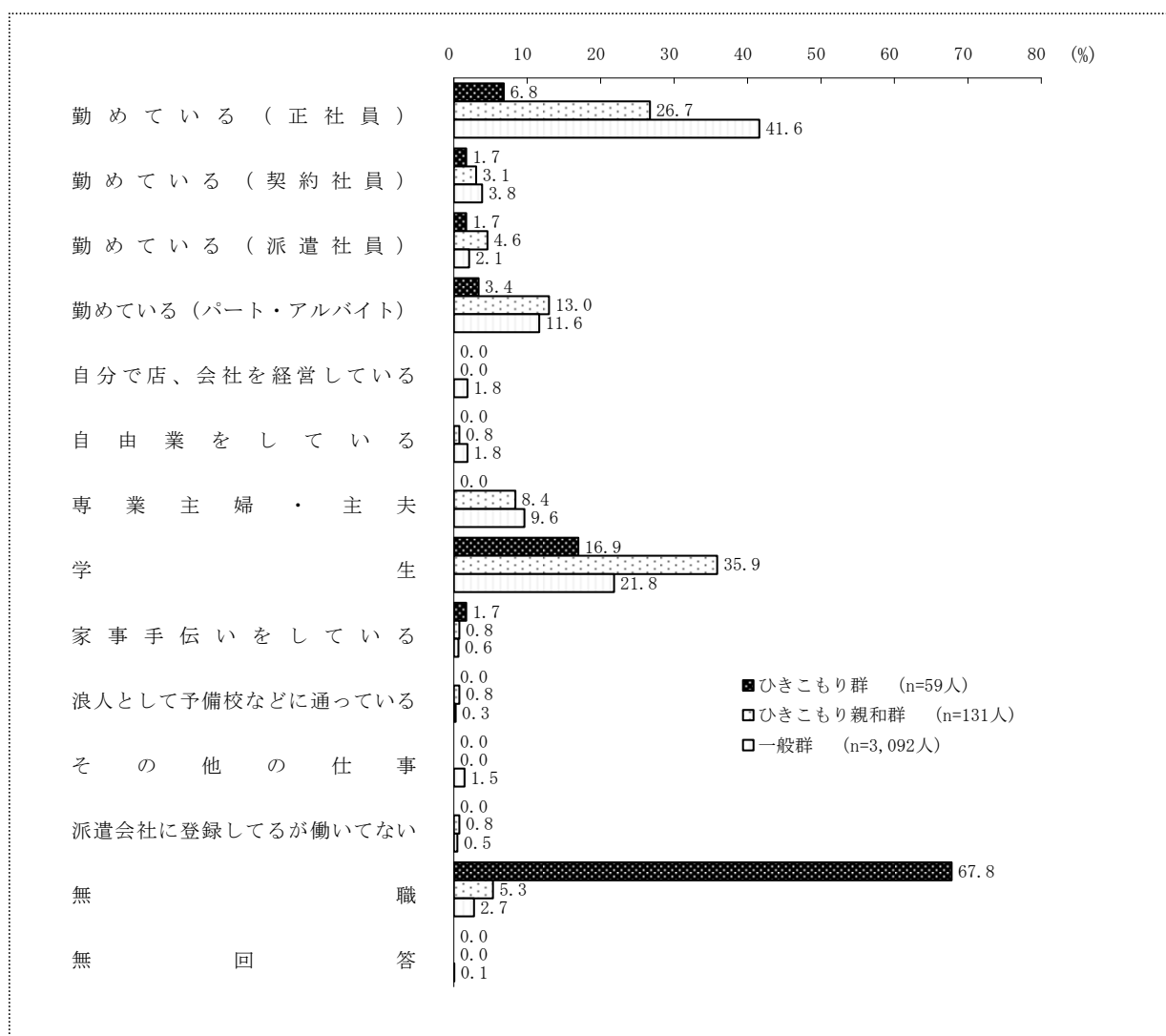


現在の就労・就学等の状況について聞いたところ、「勤めている (正社員)」と答えた者は広義のひきこもり群ではおらず、広義のひきこもり群以外では 46.3%、「勤めている (契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト)」と答えた者は広義のひきこもり群ではおらず、広義のひきこもり群以外では 27.4%、「自営業・自由業」と答えた者は広義のひきこもり群ではおらず、広義のひきこもり群以外では 10.9%、「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で 2.1%、広義のひきこもり群以外で 0.2%、「家事手伝い」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で 6.4%、広義のひきこもり群以外で 0.3%、「無職」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で 76.6%、広義のひきこもり群以外で 3.2%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査 現在の就業状況



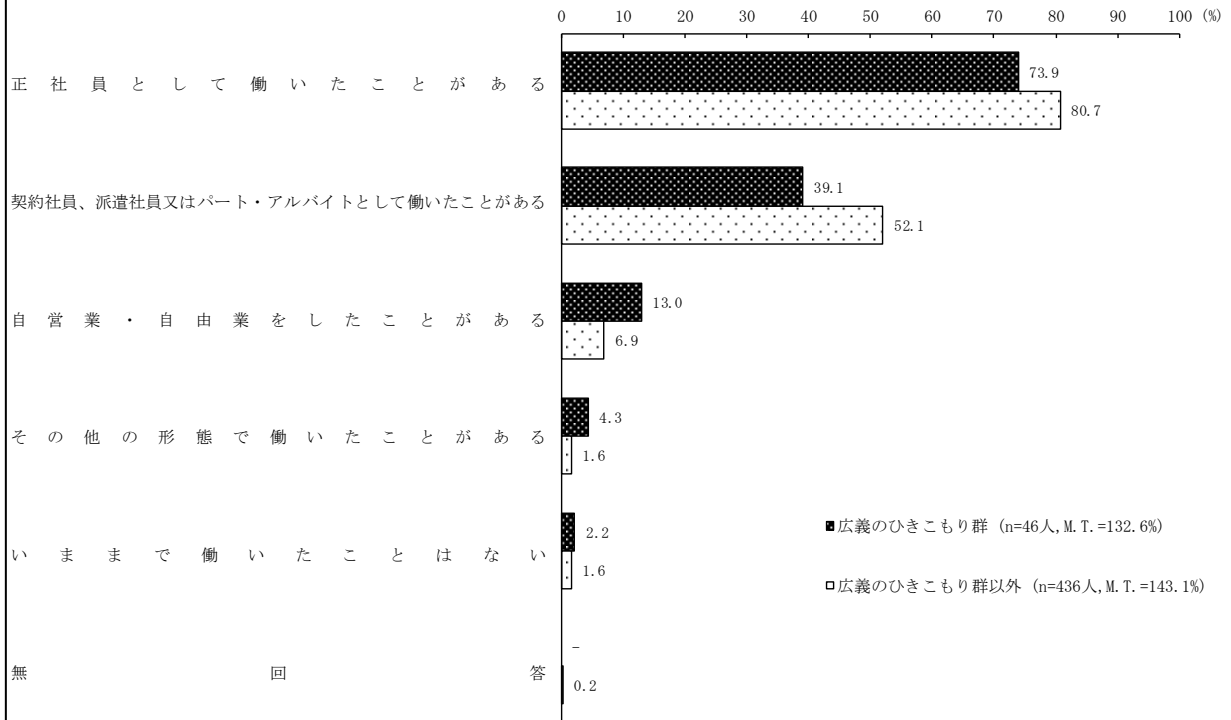
参考：前々回（平成21年度）調査



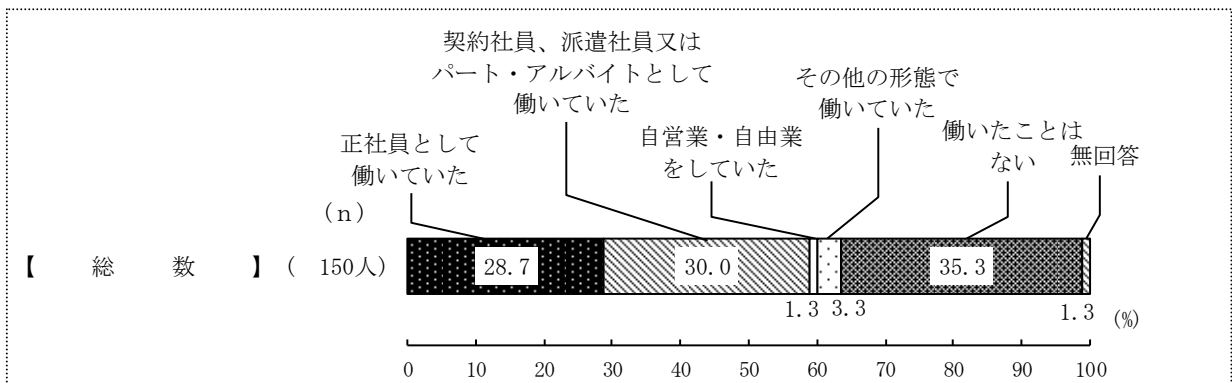
13 【本人票】働いた経験

【Q12で「5～8」に○をつけた方のみ、Q13～Q15にお答えください。】

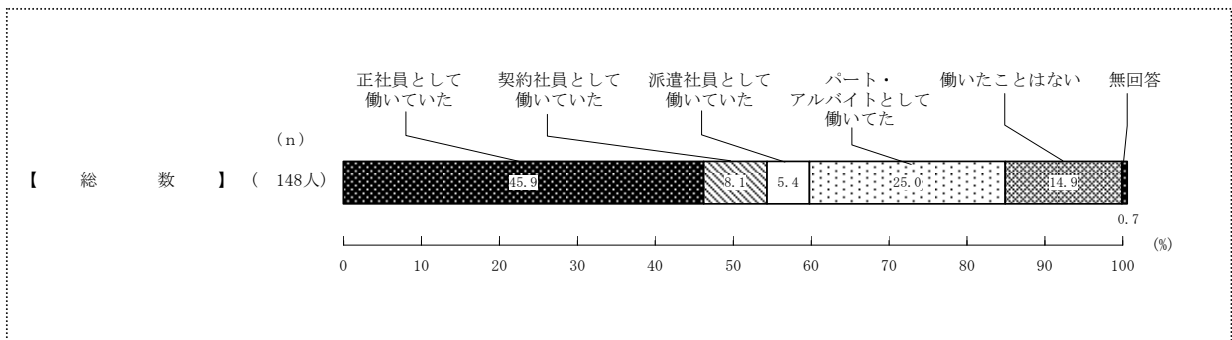
本人票Q13 あなたは、いままでに働いていたことはありますか。(○はいくつでも)



参考：前回（平成27年度）調査



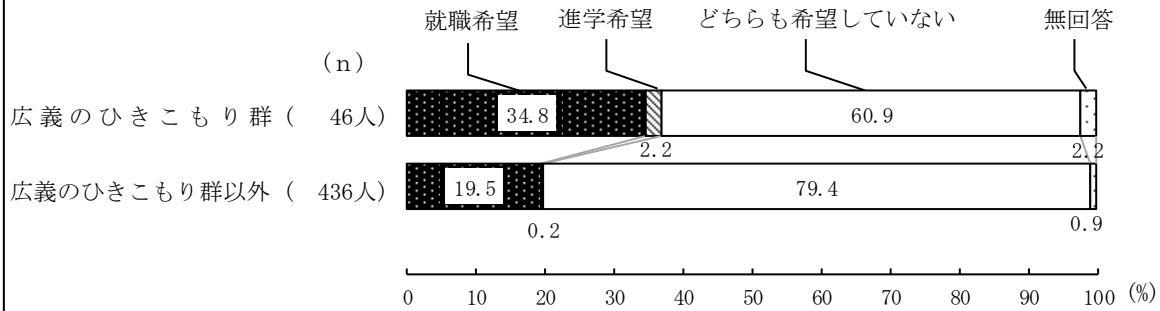
参考：前々回（平成21年度）調査



14 【本人票】就職又は進学希望

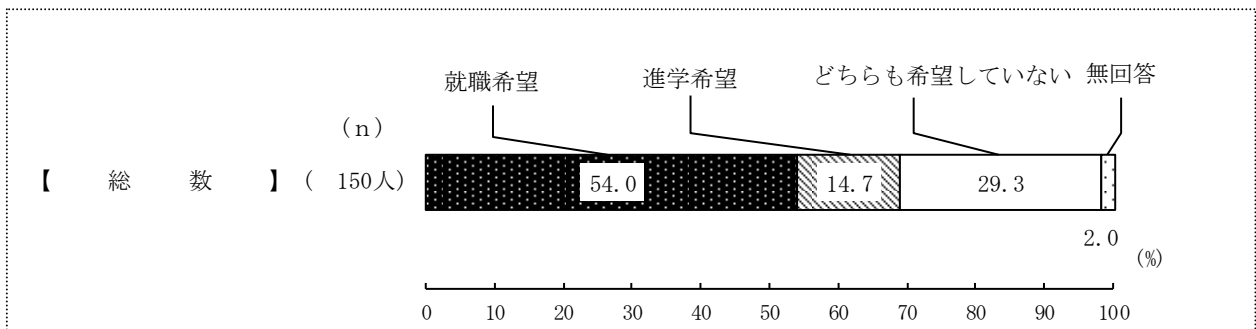
【Q12で「5～8」に○をつけた方のみ、Q13～Q15にお答えください。】

本人票Q14 現在、就職または進学を希望していますか。(○はひとつだけ)

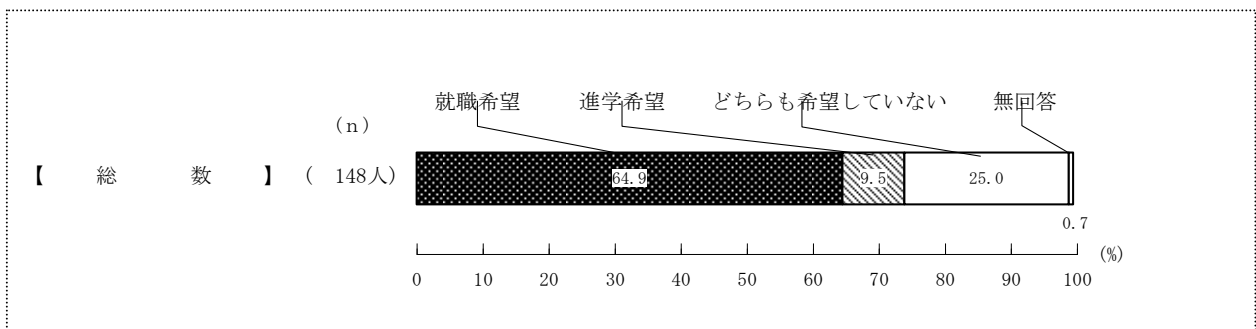


Q12で「5. 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」、「6. 専業主婦・主夫」、「7. 家事手伝い」、「8. 無職」と答えた者に、現在、就職又は進学を希望しているか聞いたところ、広義のひきこもり群では、「就職希望」34.8%、「どちらも希望していない」60.9%、広義のひきこもり群以外では、「就職希望」19.5%、「どちらも希望していない」79.4%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査



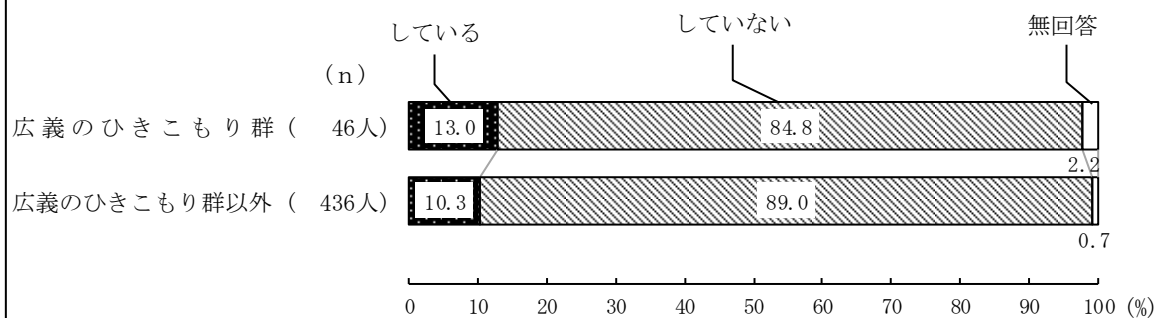
参考：前々回（平成21年度）調査



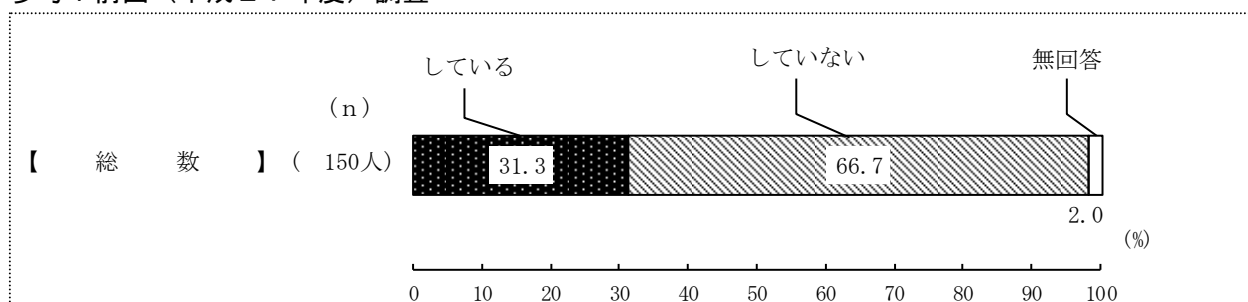
15 【本人票】就職活動

【Q12で「5～8」に○をつけた方のみ、Q13～Q15にお答えください。】

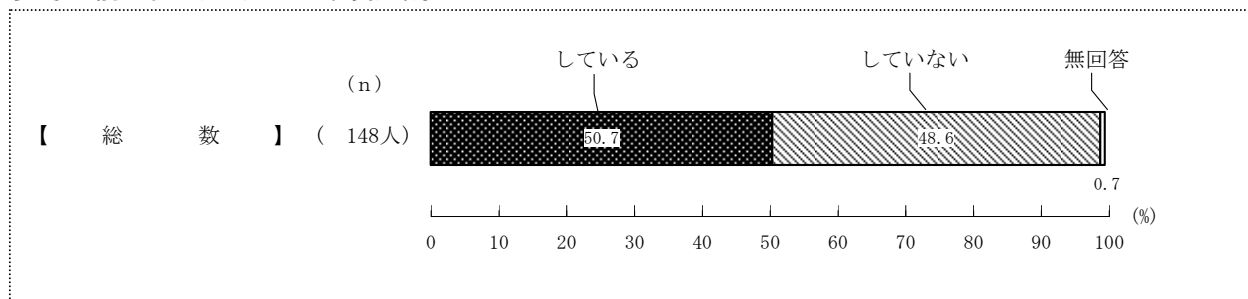
本人票Q15 現在、就職活動をしていますか。(○はひとつだけ)



参考：前回（平成27年度）調査



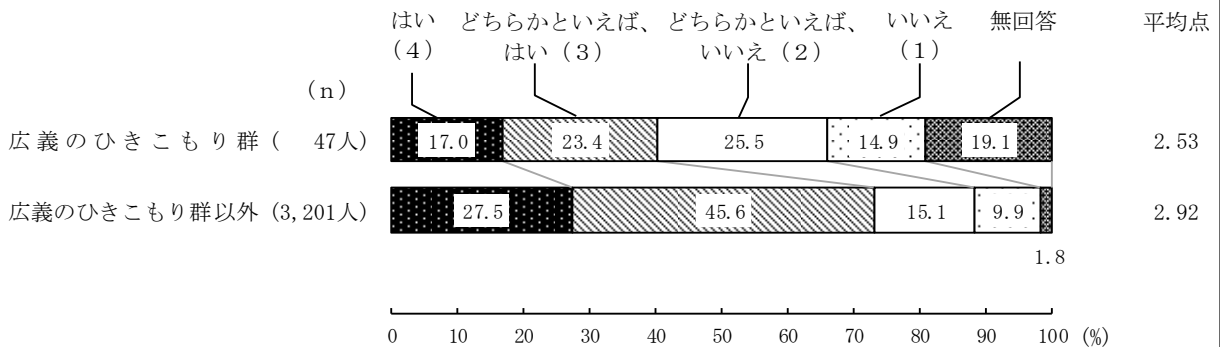
参考：前々回（平成21年度）調査



16 【本人票】職業に関する考え方

本人票Q16 次に挙げられた職業に関する意見の中で、あなたの考えにあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつの項目につき、ひとつ)

1. 自分にふさわしい仕事がどこかにあると思う

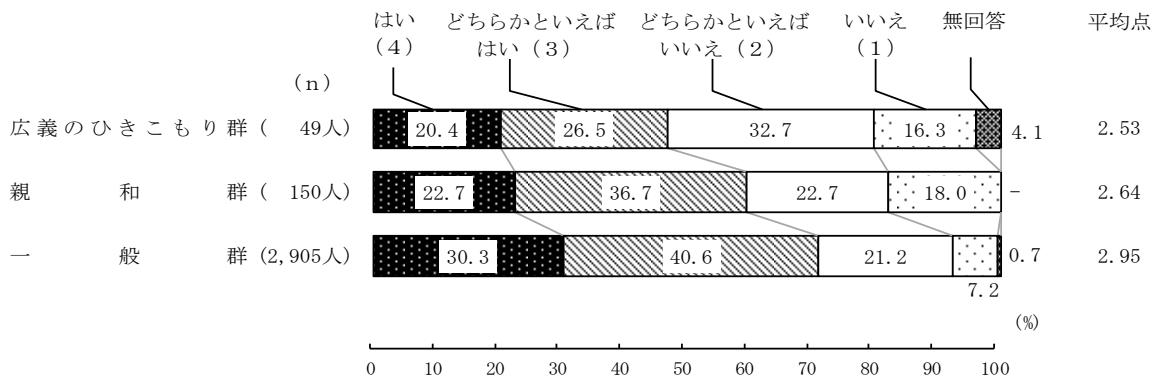


職業に関する4つの意見について、自分の考えにあてはまるか聞いた。

『自分にふさわしい仕事がどこかにあると思う』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）40.4%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）40.4%、広義のひきこもり群以外では、『はい』73.1%、『いいえ』25.1%となっている。

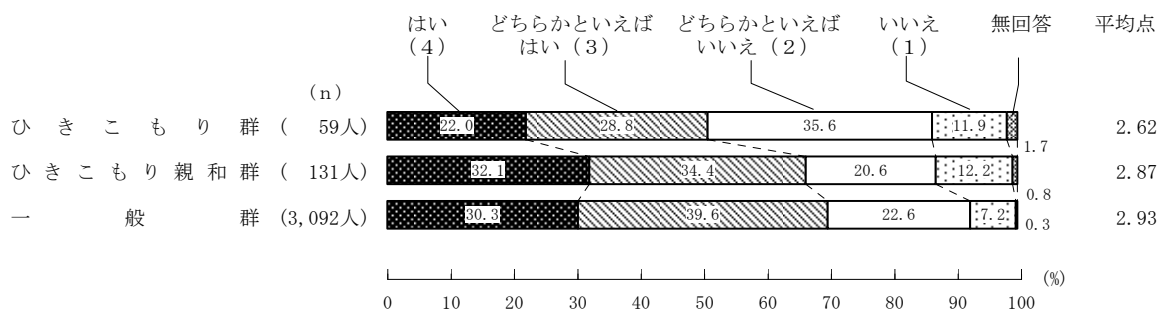
参考：前回（平成27年度）調査

Q17 1. いつか必ず自分にふさわしい仕事が見つかると思う

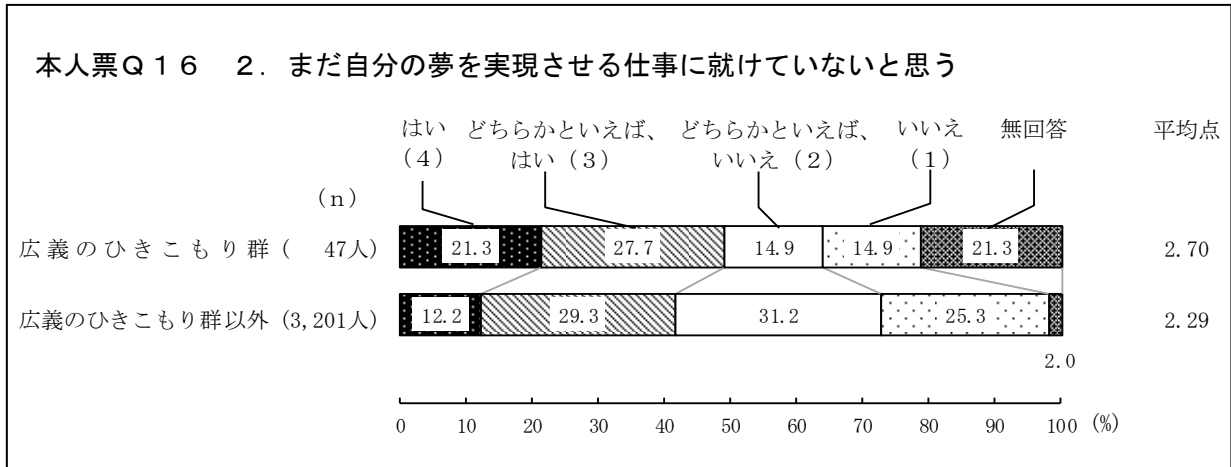


参考：前々回（平成21年度）調査

Q17 1. いつか必ず自分にふさわしい仕事が見つかると思う

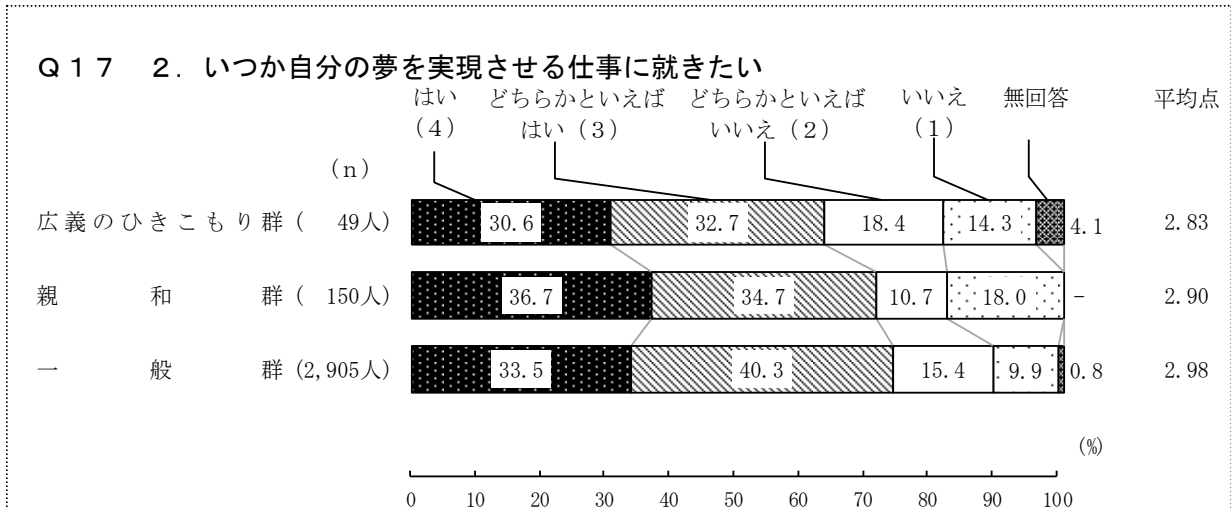


【本人票】

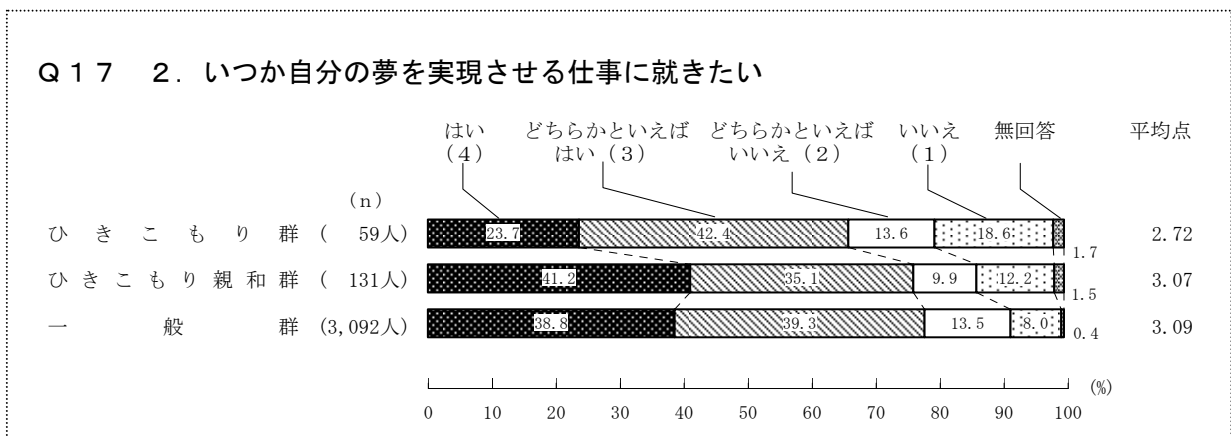


『まだ自分の夢を実現させる仕事に就けていないと思う』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）29.8%、広義のひきこもり群以外では、『いいえ』56.5%となっている。

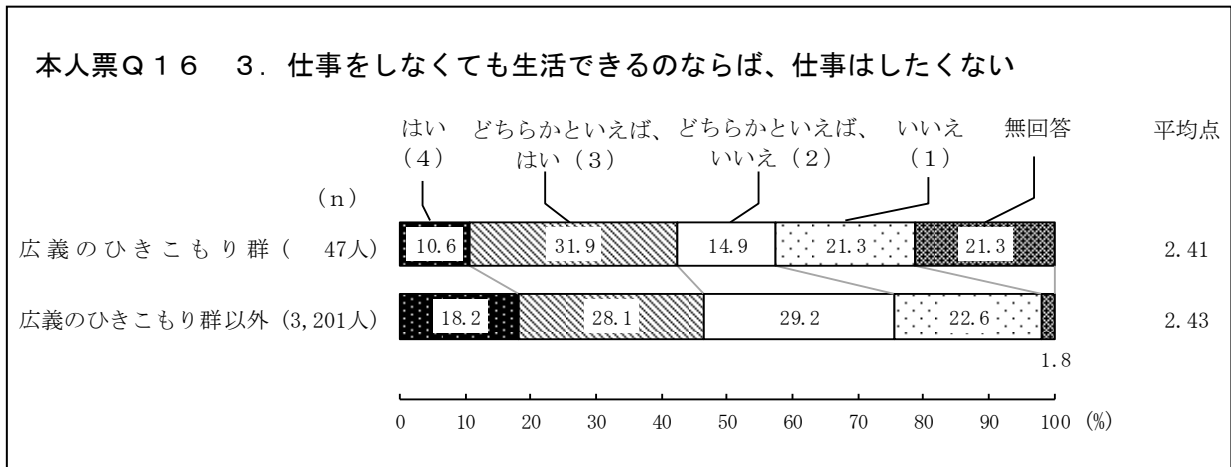
参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査

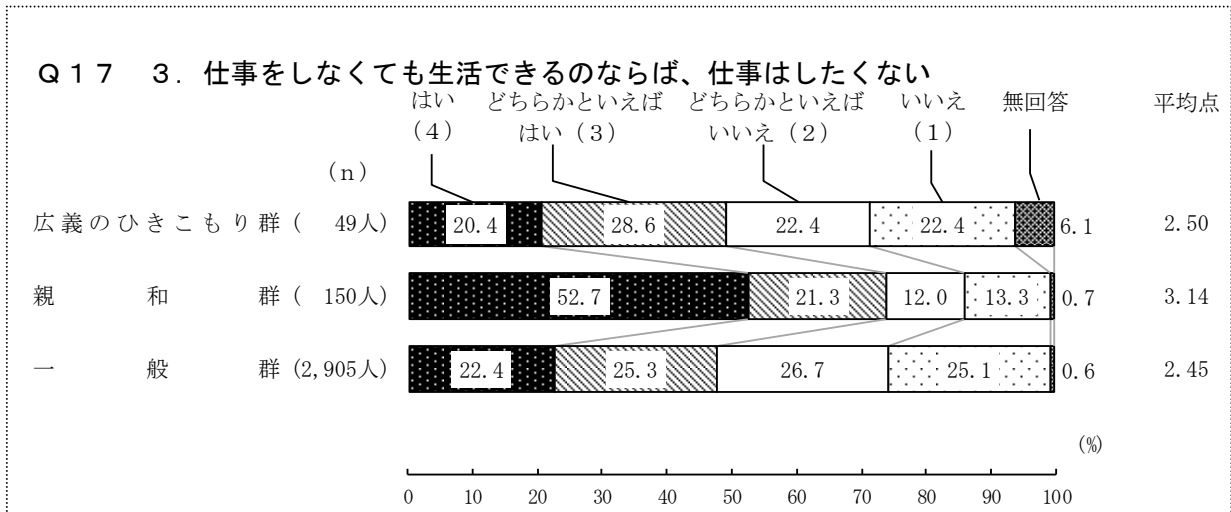


【本人票】

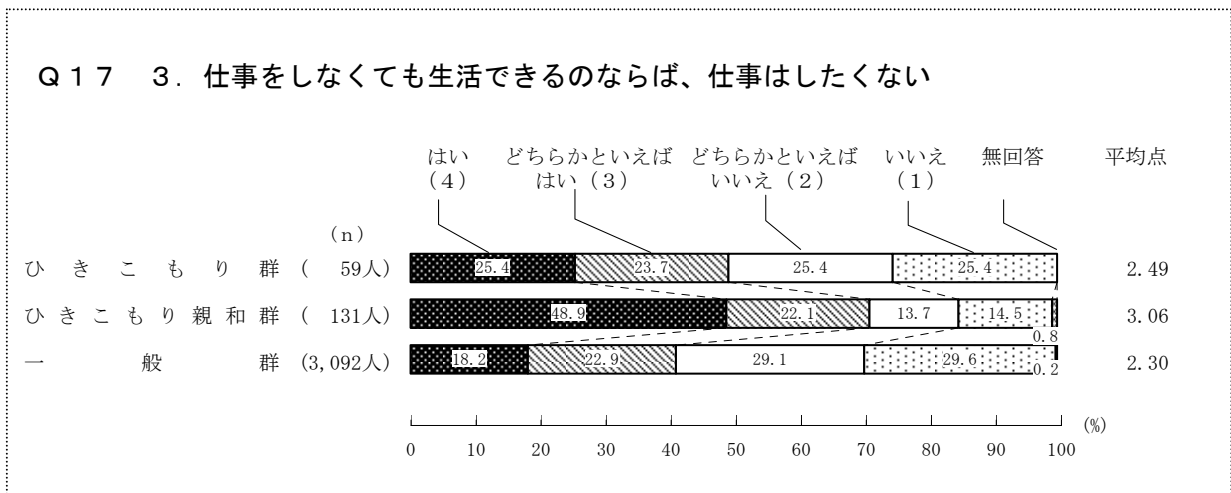


『仕事をしなくても生活できるのならば、仕事はしたくない』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）36.2%、広義のひきこもり群以外では、『いいえ』51.9%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査

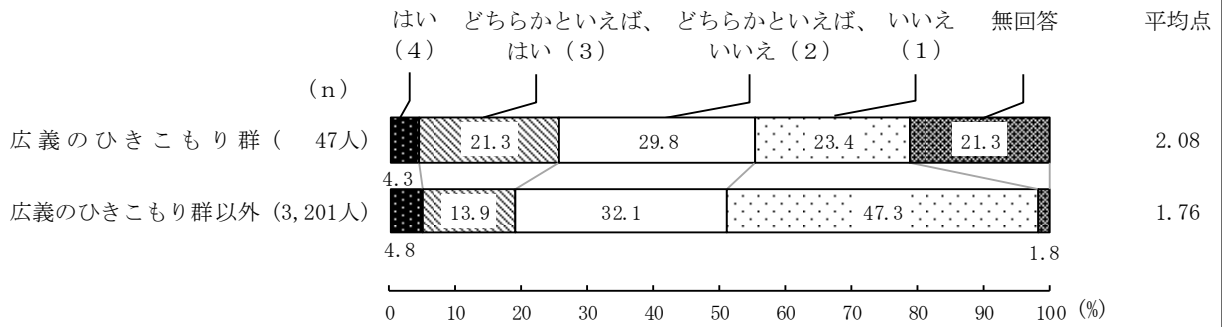


参考：前々回（平成21年度）調査



【本人票】

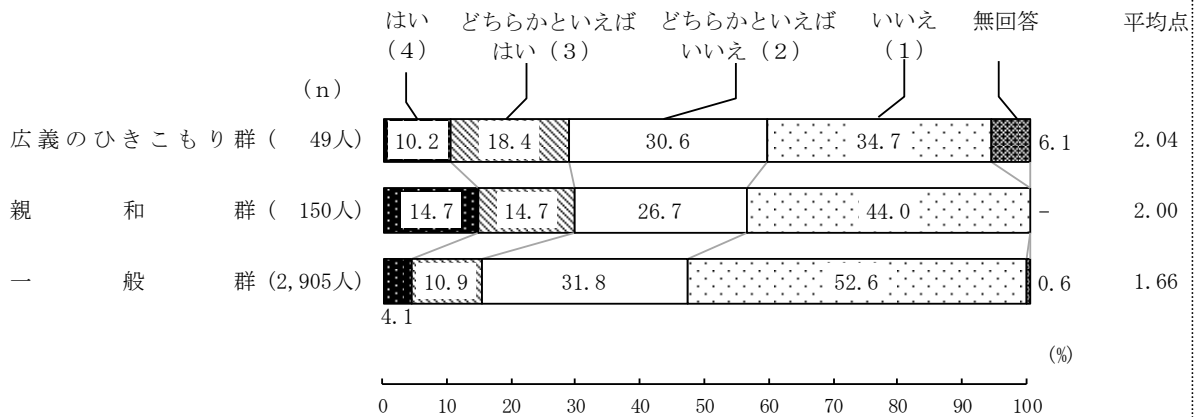
本人票Q16 4. 定職に就かない方が自由でいいと思う



『定職に就かない方が自由でいいと思う』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）53.2%、広義のひきこもり群以外では、『いいえ』79.4%となっている。

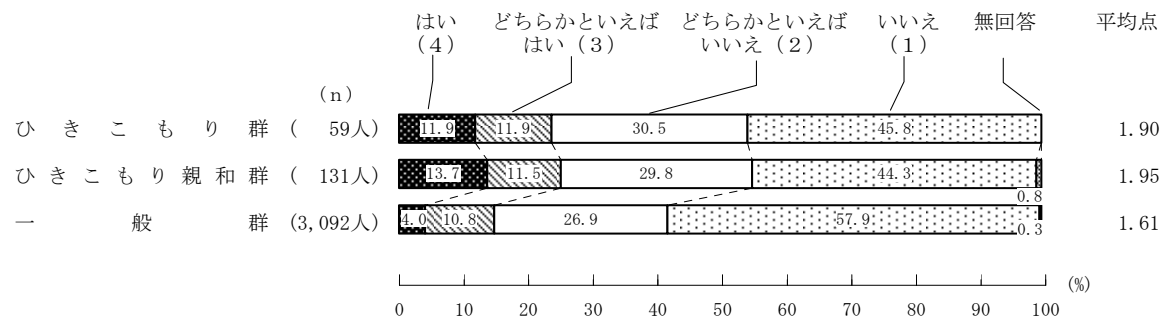
参考：前回（平成27年度）調査

Q17 4. 定職に就かない方が自由でいいと思う



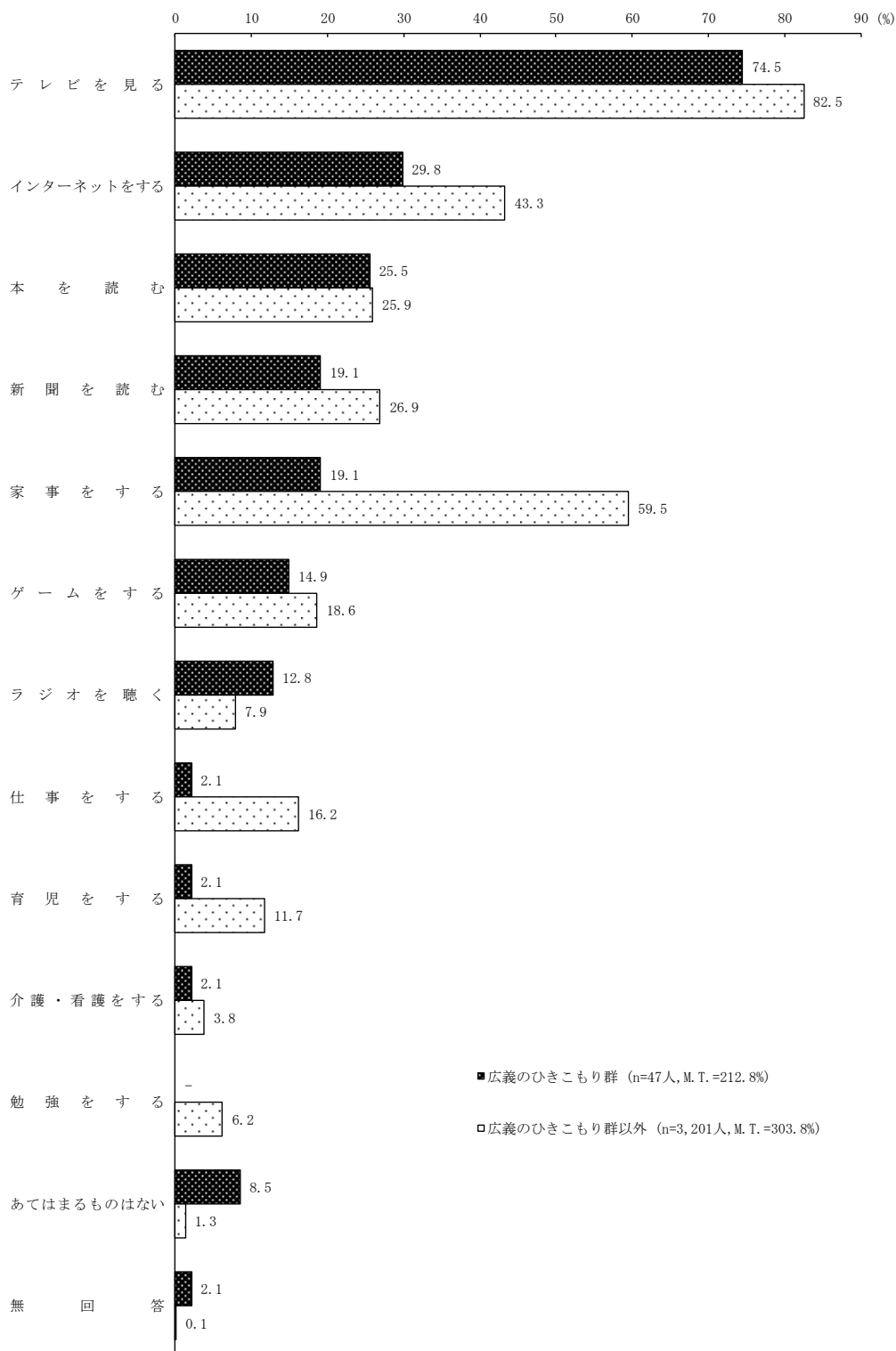
参考：前々回（平成21年度）調査

Q17 4. 定職に就かない方が自由でいいと思う



17 【本人票】ふだん自宅でよくしていること

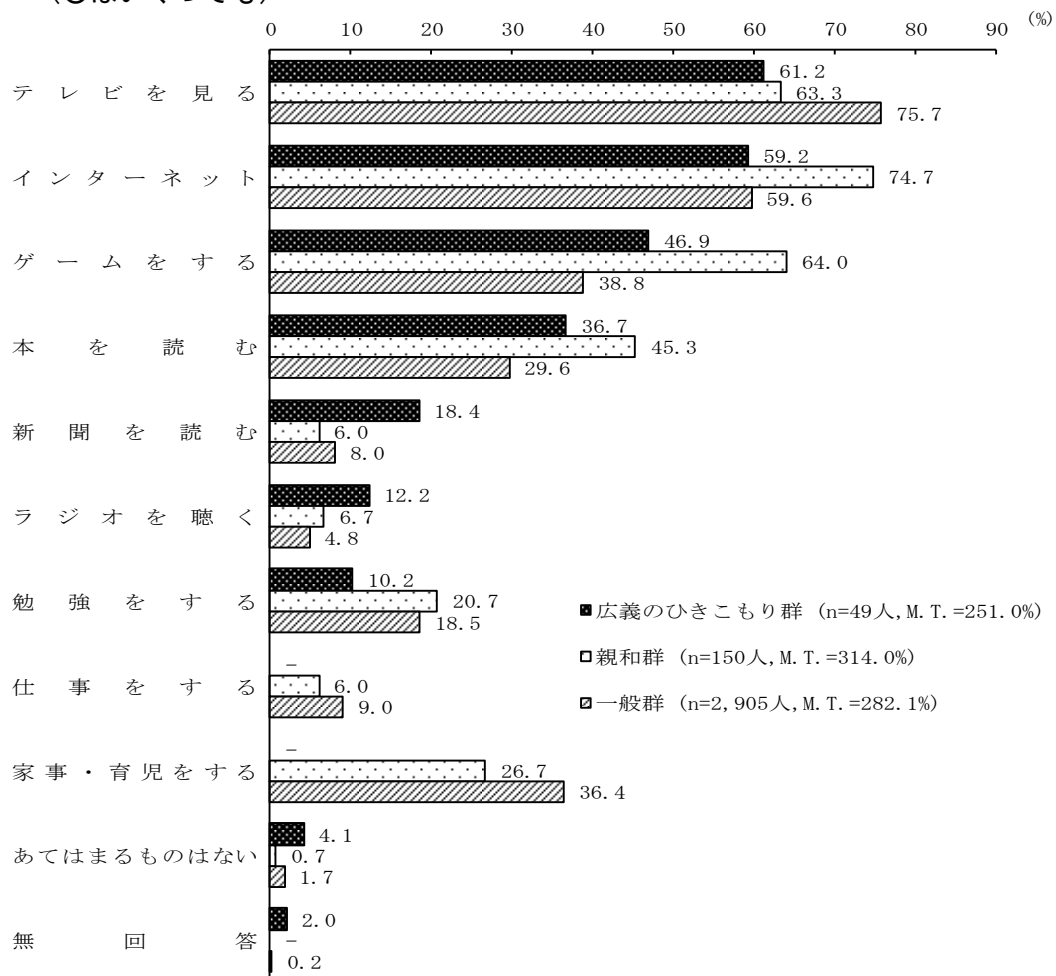
本人票Q17 ふだんご自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。
(○はいくつでも)



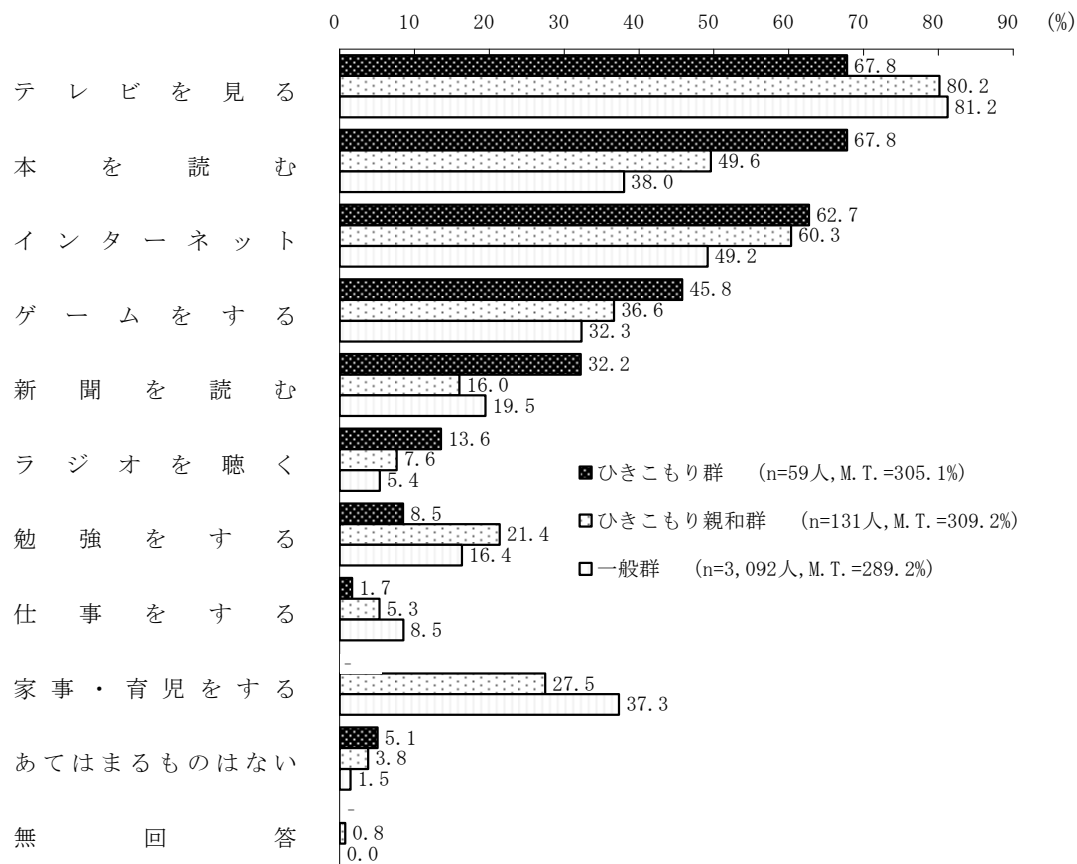
ふだん自宅でよくしていることについて聞いたところ、「家事をする」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で19.1%、広義のひきこもり群以外で59.5%、「仕事をする」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で2.1%、広義のひきこもり群以外で16.2%、「育児をする」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で2.1%、広義のひきこもり群以外で11.7%となっている。

また、「あてはまるものはない」と回答した者の割合は広義のひきこもり群で8.5%、広義のひきこもり群以外で1.3%となっている。

Q18 ふだんご自宅にいるときによくしていることすべてに○をつけてください。
 (○はいくつでも)

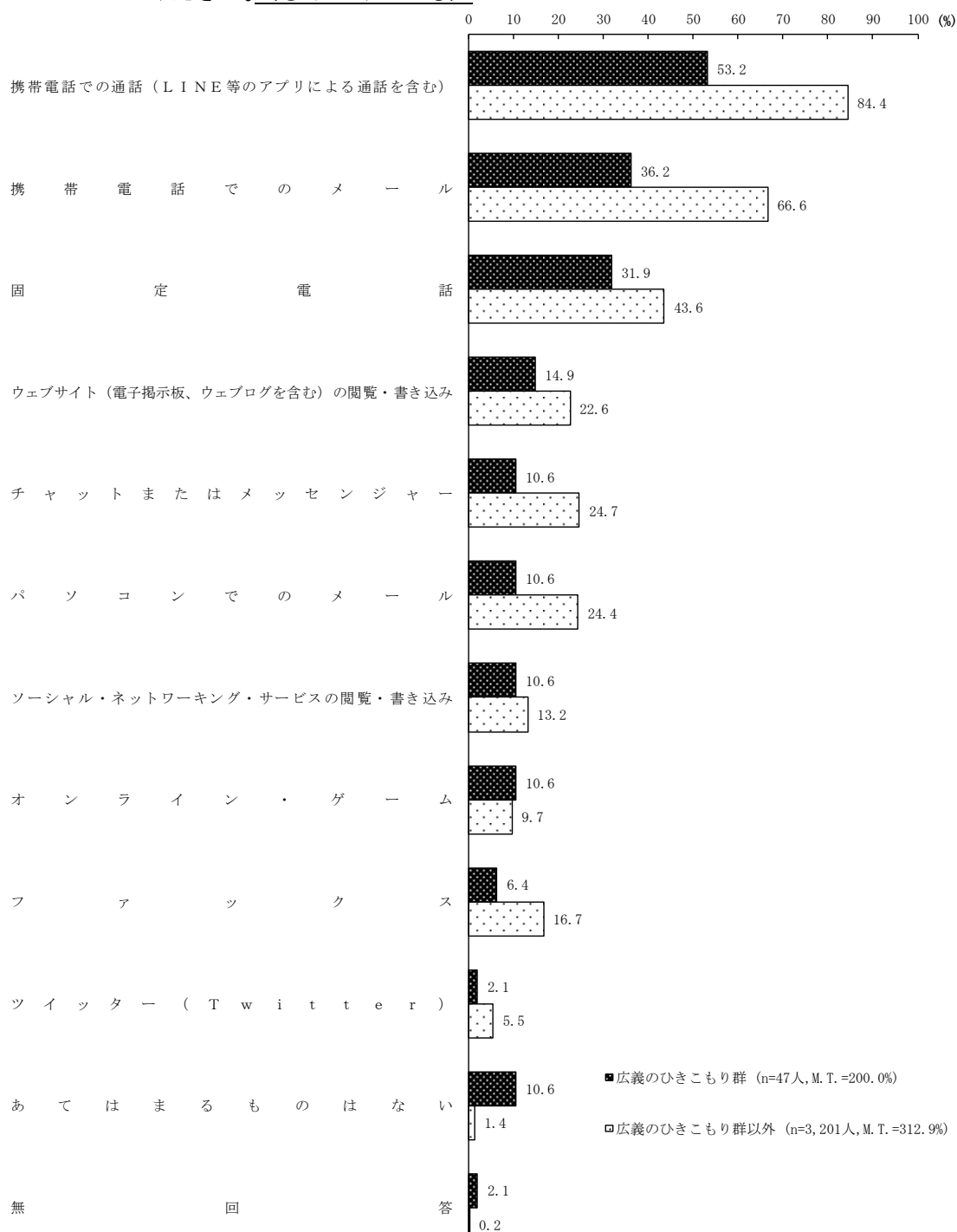


Q18 ふだんご自宅にいるときによくしていることすべてに○をつけてください。
 (○はいくつでも)



18 【本人票】通信手段でふだん利用しているもの

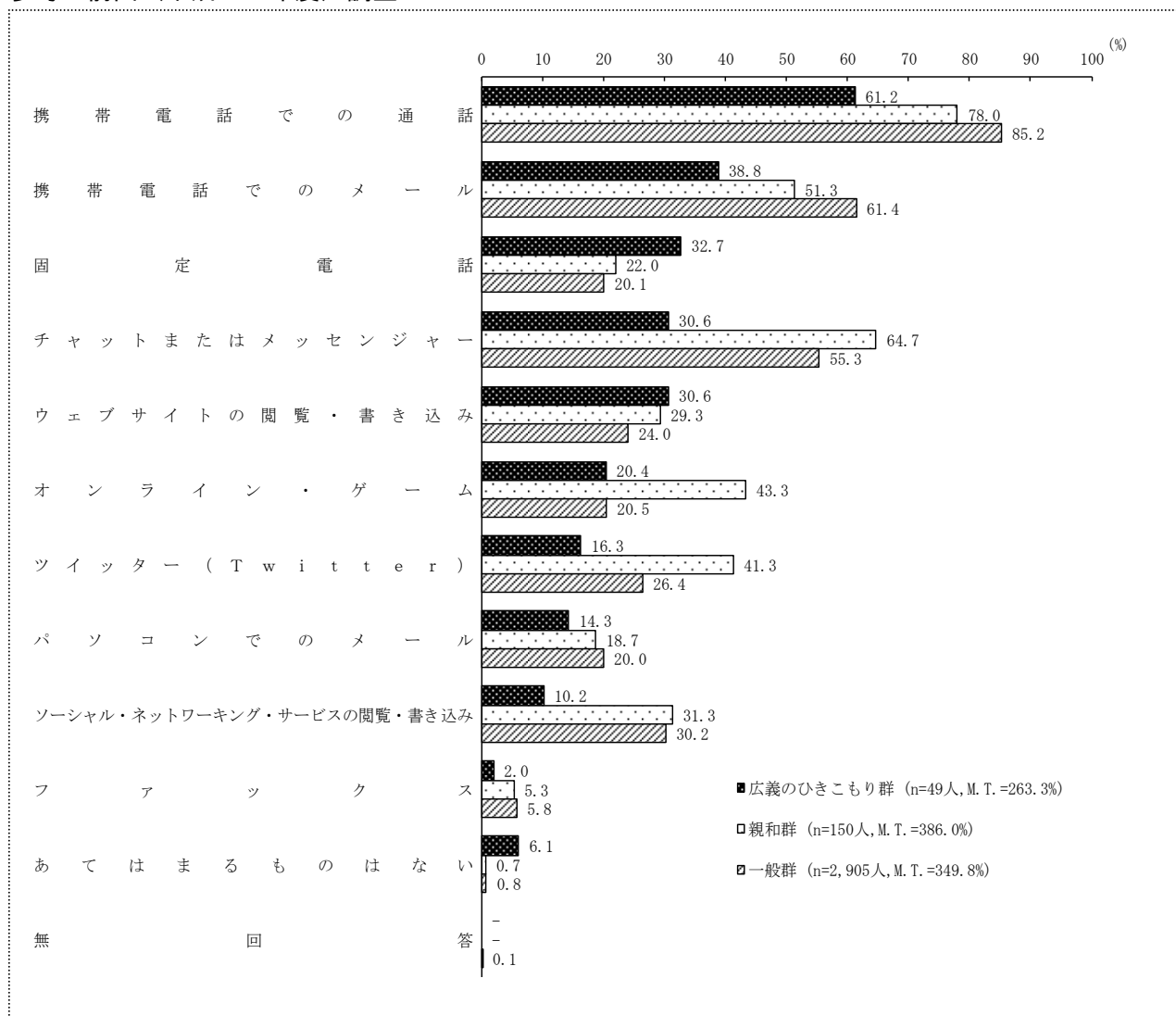
本人票Q18 以下に挙げられた通信手段の中で、ふだん利用しているものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)



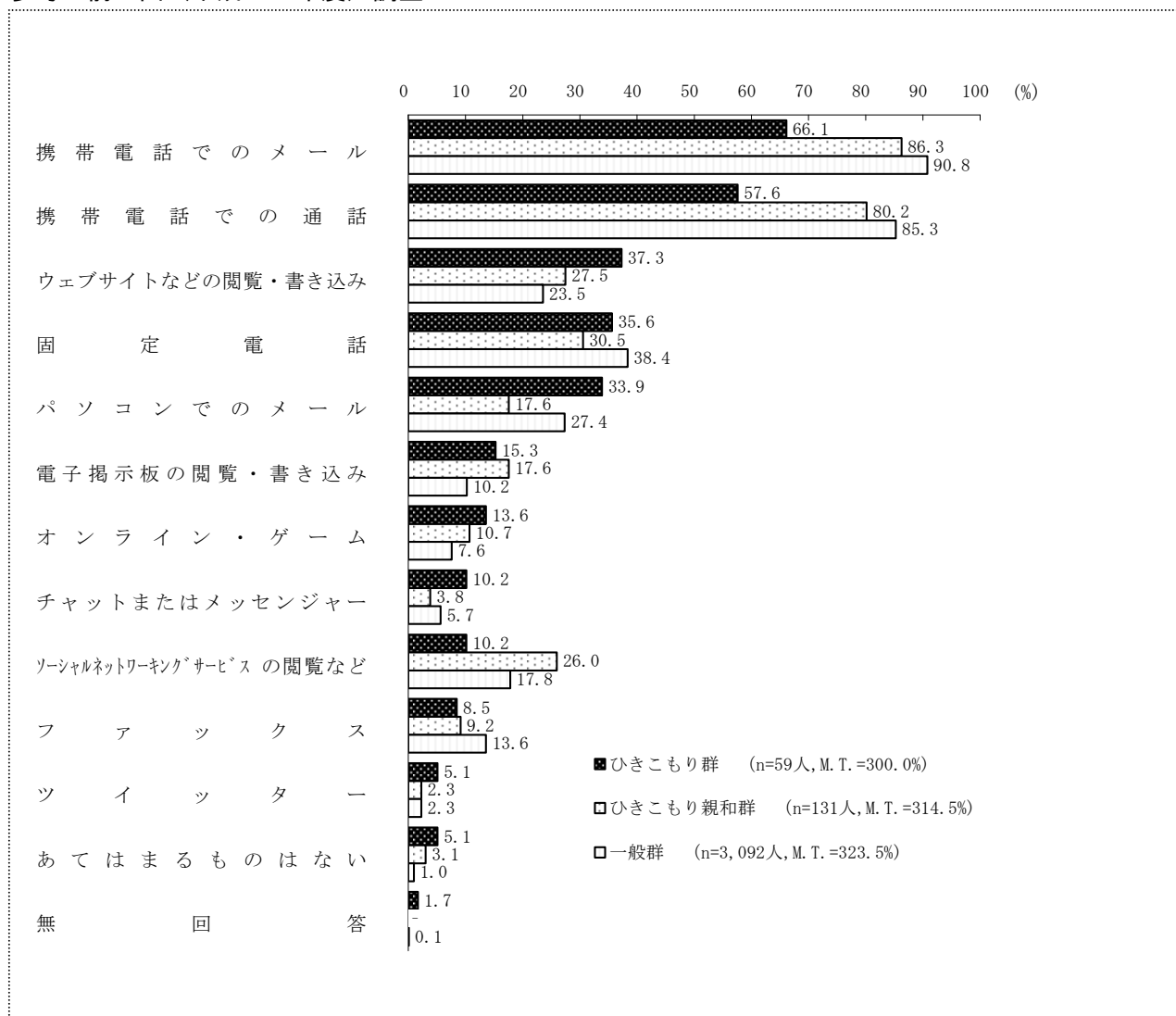
通信手段でふだん利用しているものについて聞いたところ、「携帯電話での通話 (LINE 等のアプリによる通話を含む)」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で 53.2%、広義のひきこもり群以外で 84.4%、「携帯電話でのメール」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で 36.2%、広義のひきこもり群以外で 66.6%、「チャットまたはメッセージ」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で 10.6%、広義のひきこもり群以外で 24.7%、「パソコンでのメール」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で 10.6%、広義のひきこもり群以外で 24.4%となっている。

また、「あてはまるものはない」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で 10.6%、広義のひきこもり群以外で 1.4%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査

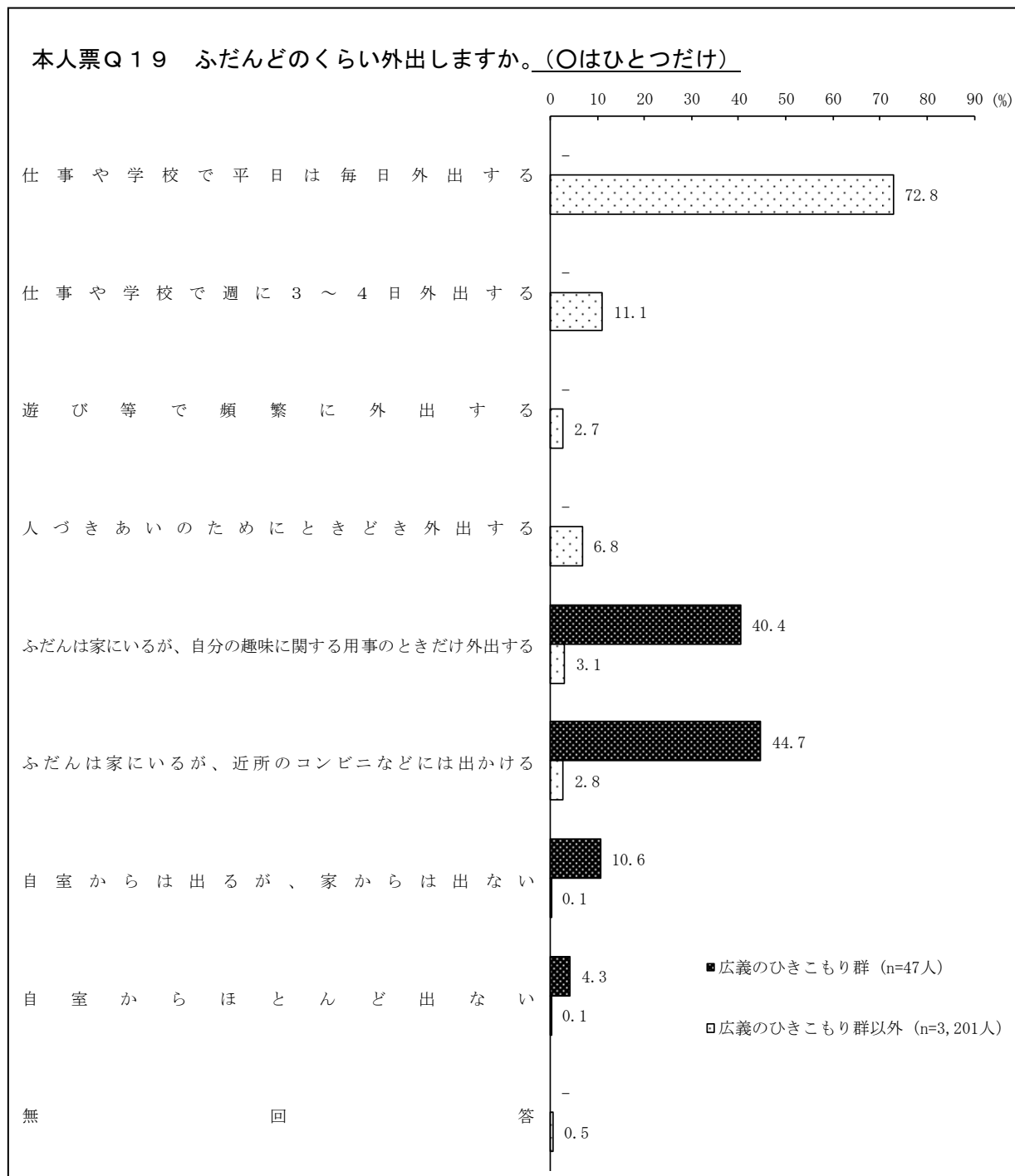


参考：前々回（平成21年度）調査

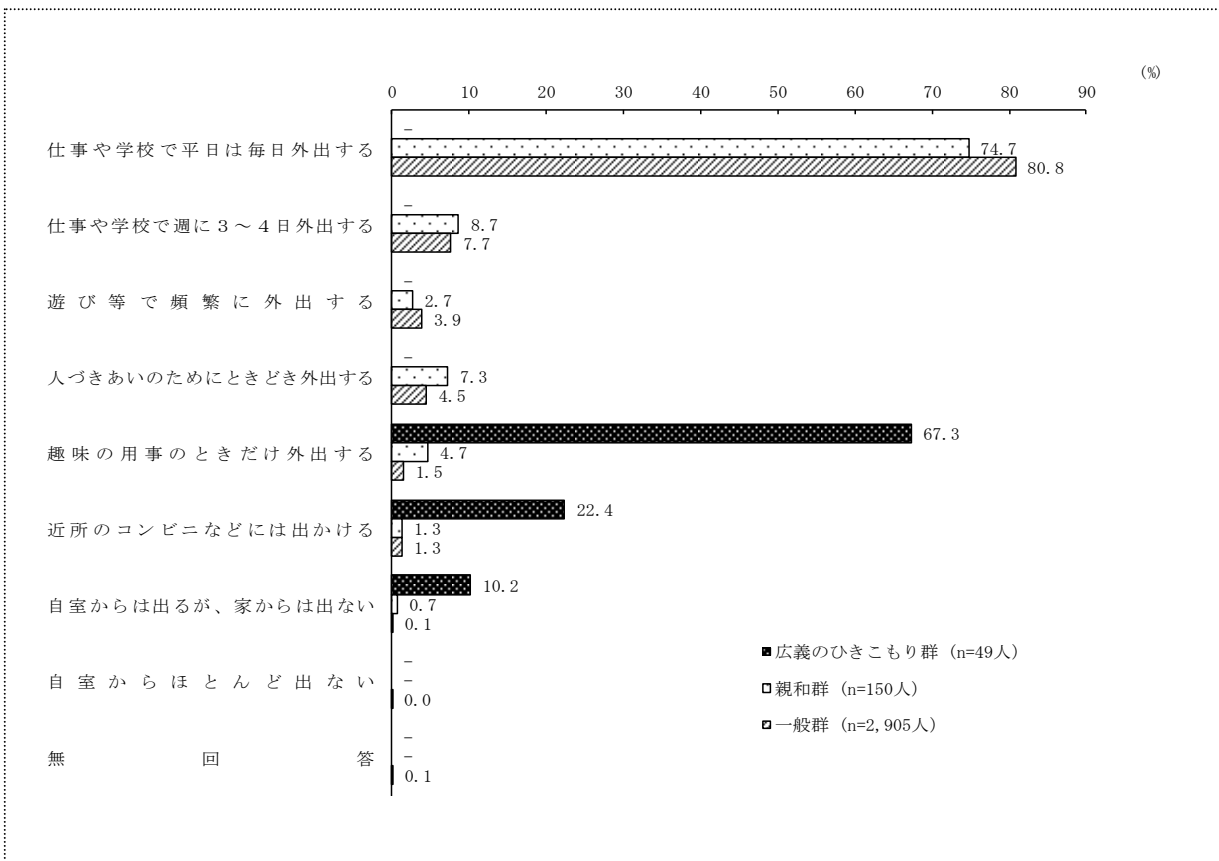


※Q19の設問は、広義のひきこもり群を定義するために使用している。

19 【本人票】ふだんの外出頻度



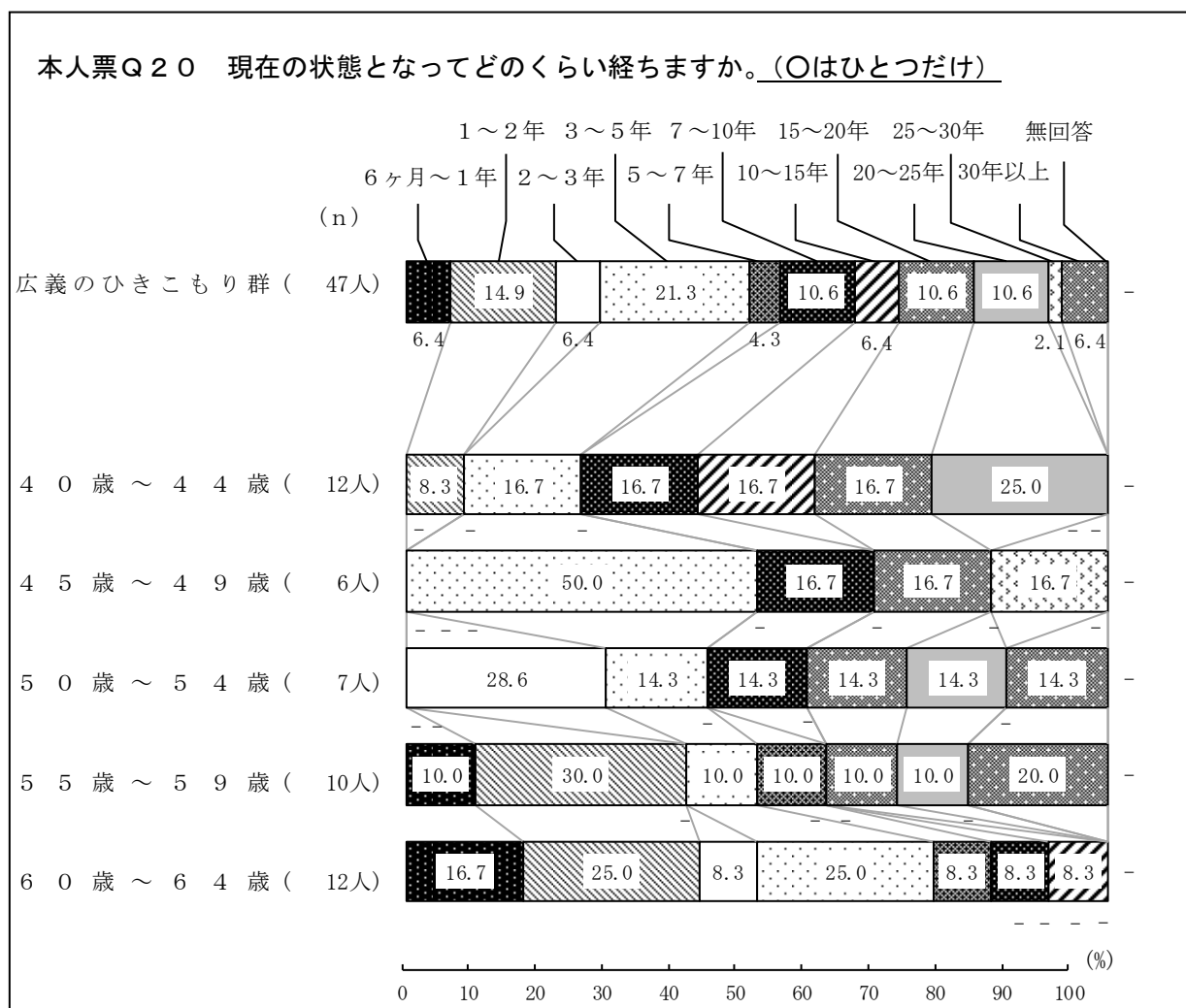
参考：前回（平成27年度）調査



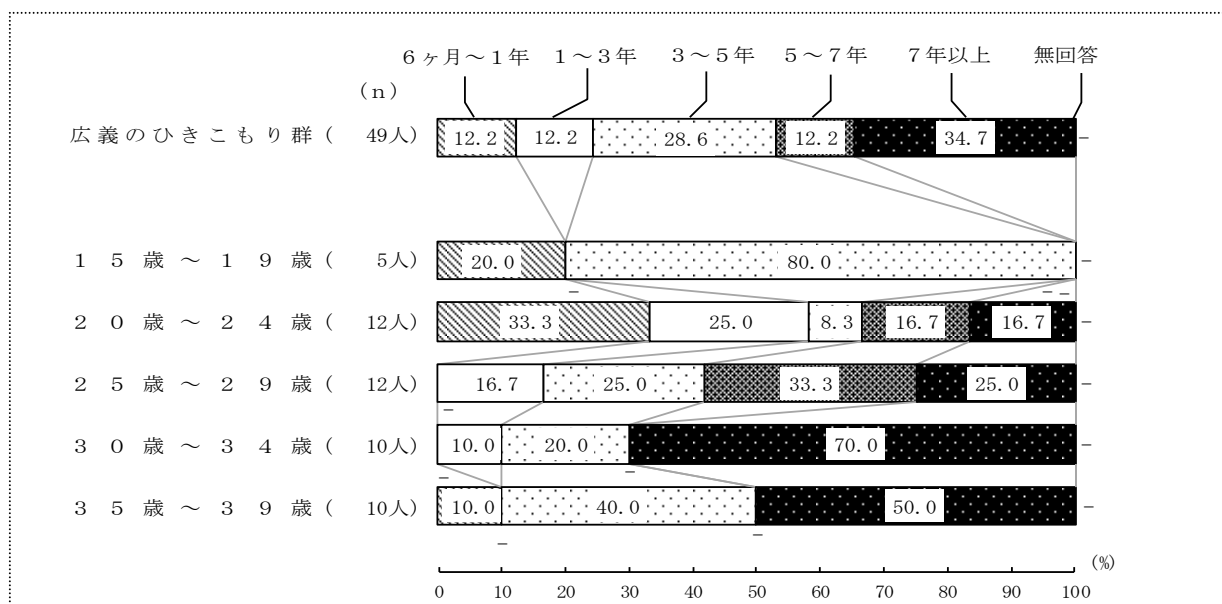
※本人票Q20～Q29は、本人票Q19において外出頻度が低かった者（本人票Q19において5～8を選択した者）のみが回答する項目となっている。

本報告書では、その中でも広義のひきこもり群に該当する者の結果について記載する。

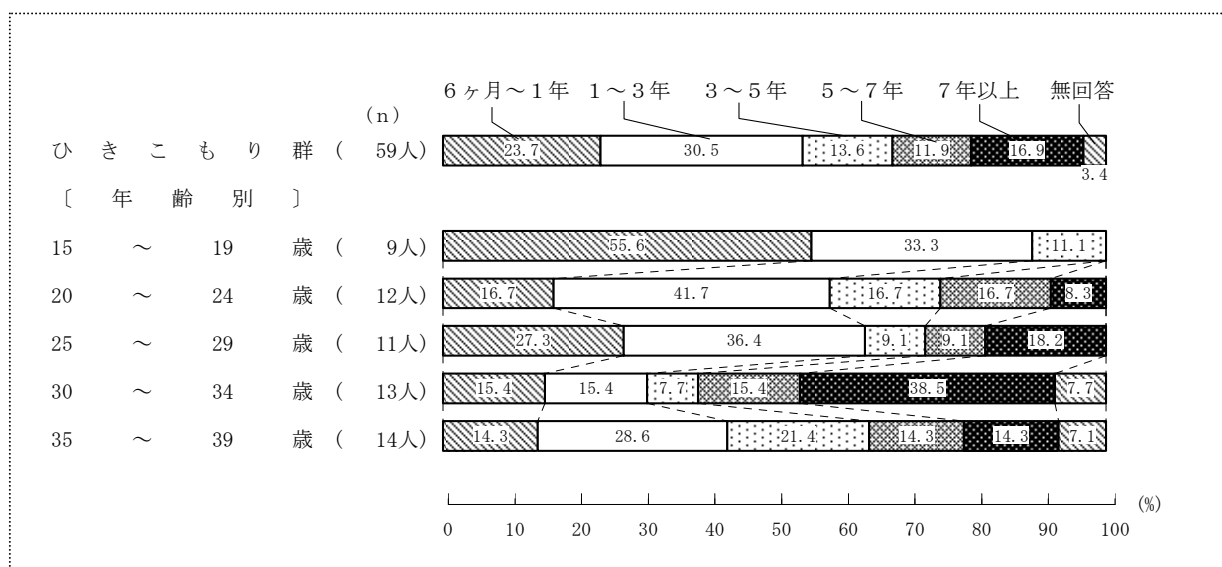
20 【本人票】ひきこもりの状態になってからの期間



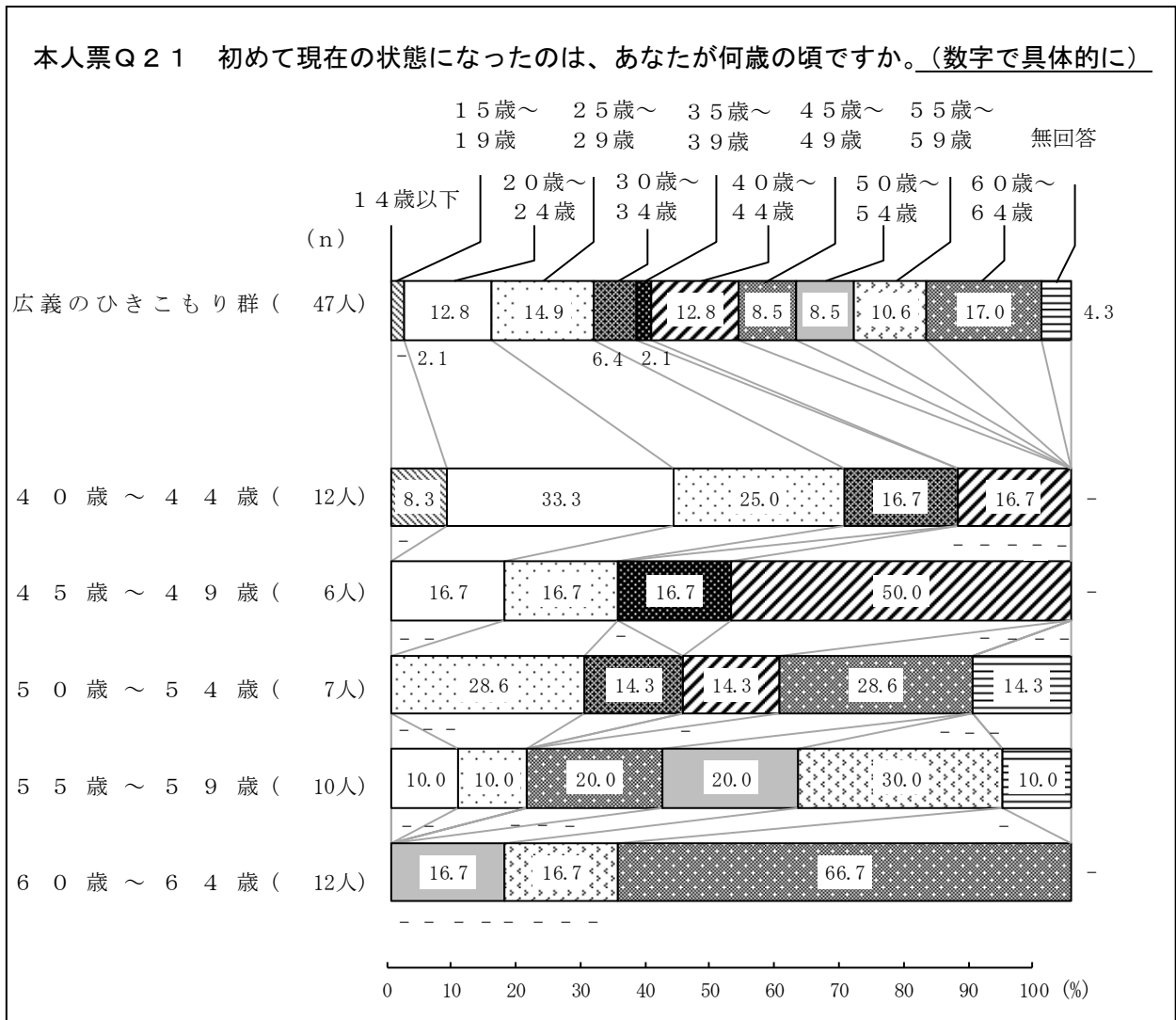
参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査

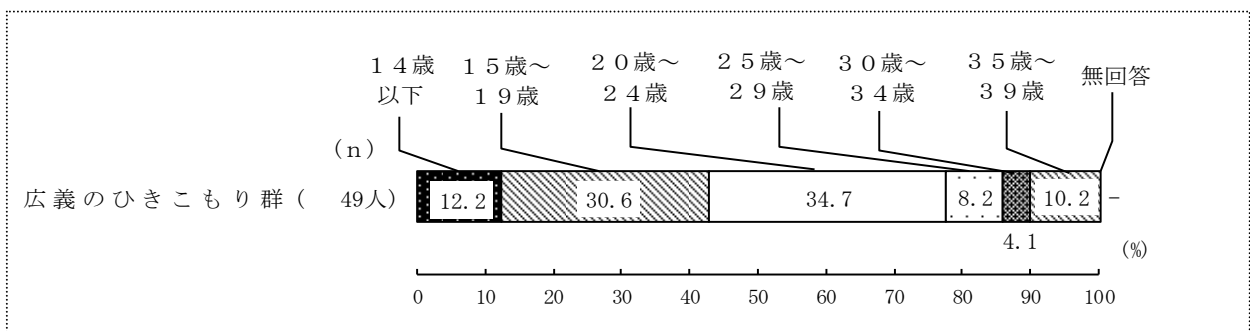


2.1 【本人票】初めてひきこもりの状態になった年齢

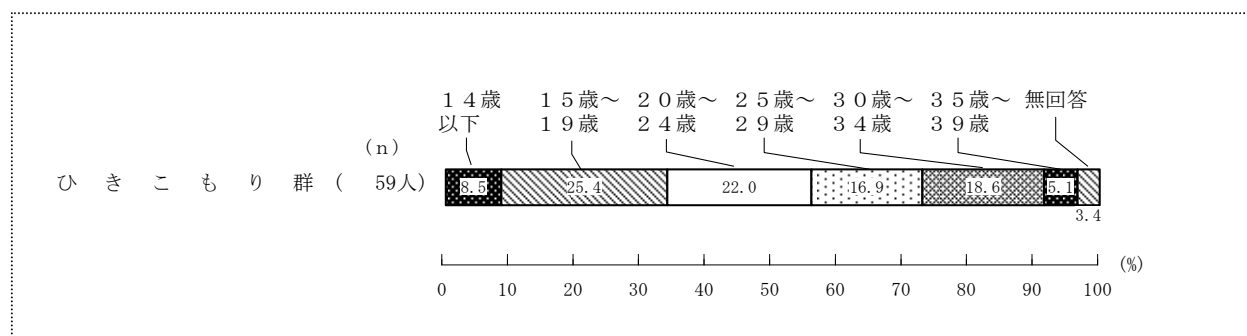


初めて現在の状態になったのは何歳の頃か聞いたところ、「20歳～24歳」と答えた者の割合が12.8%、「25歳～29歳」が14.9%、「40歳～44歳」が12.8%、「55歳～59歳」が10.6%、「60歳～64歳」が17.0%となっている。

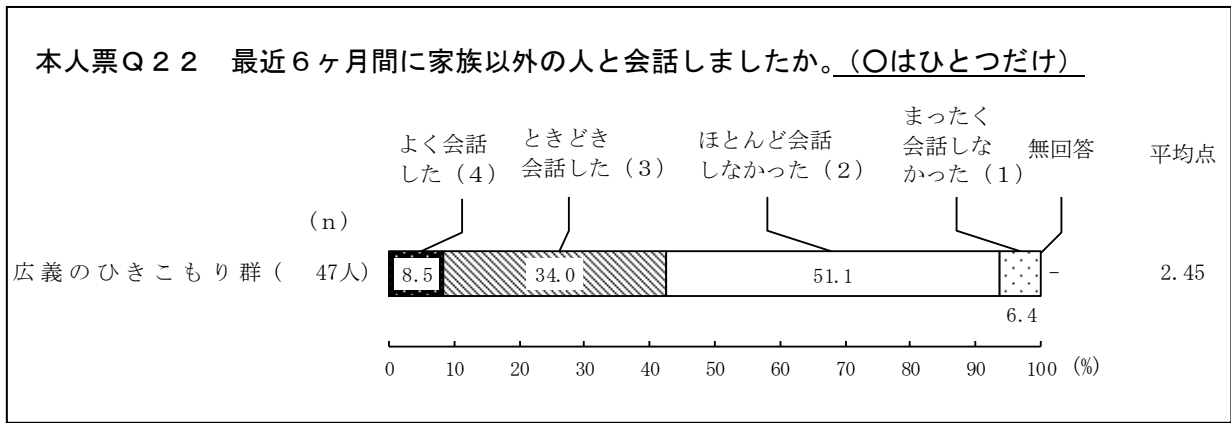
参考：前回（平成27年度）調査 ひきこもりの状態になった年齢



参考：前々回（平成21年度）調査

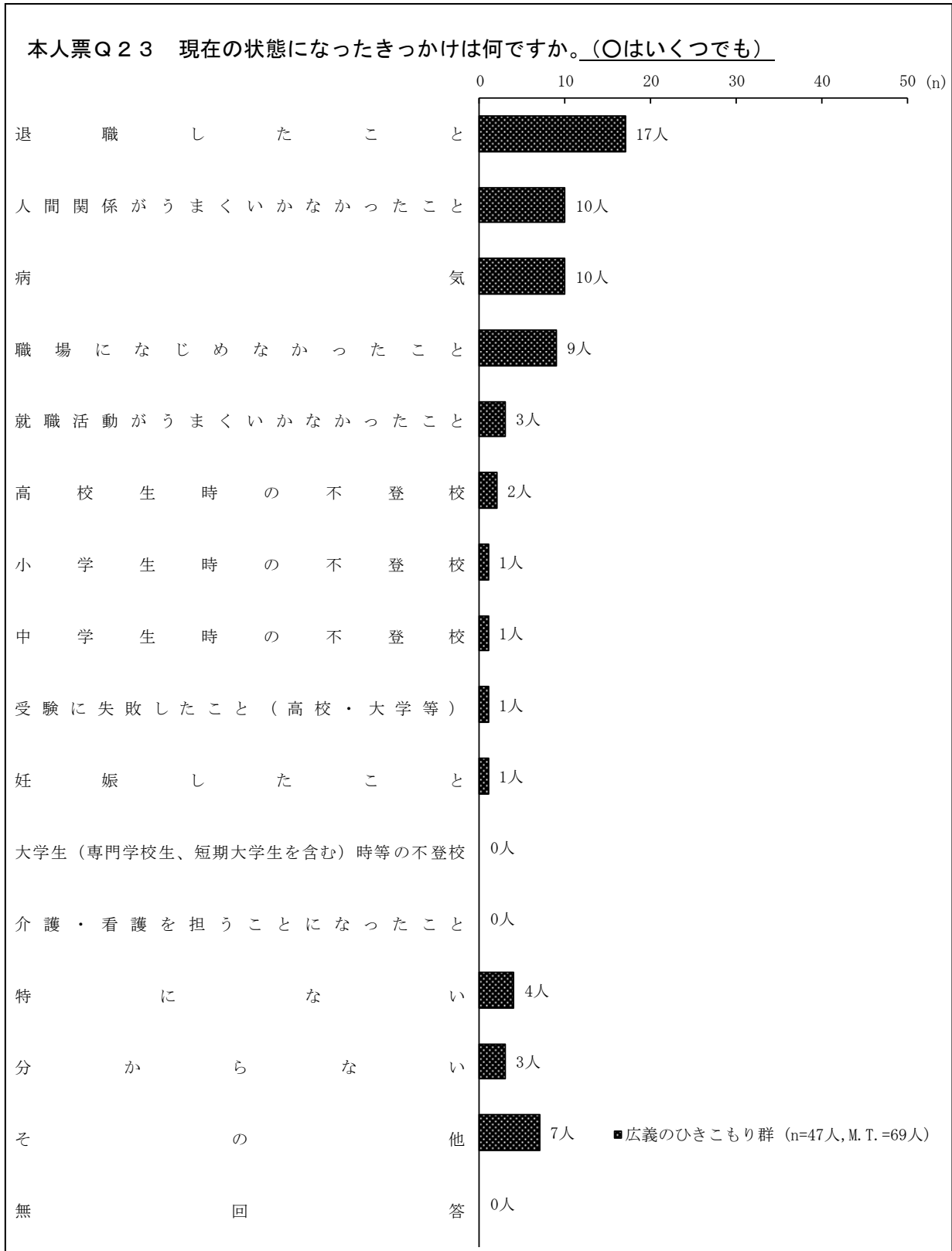


2 2 【本人票】 家族以外との会話の状況

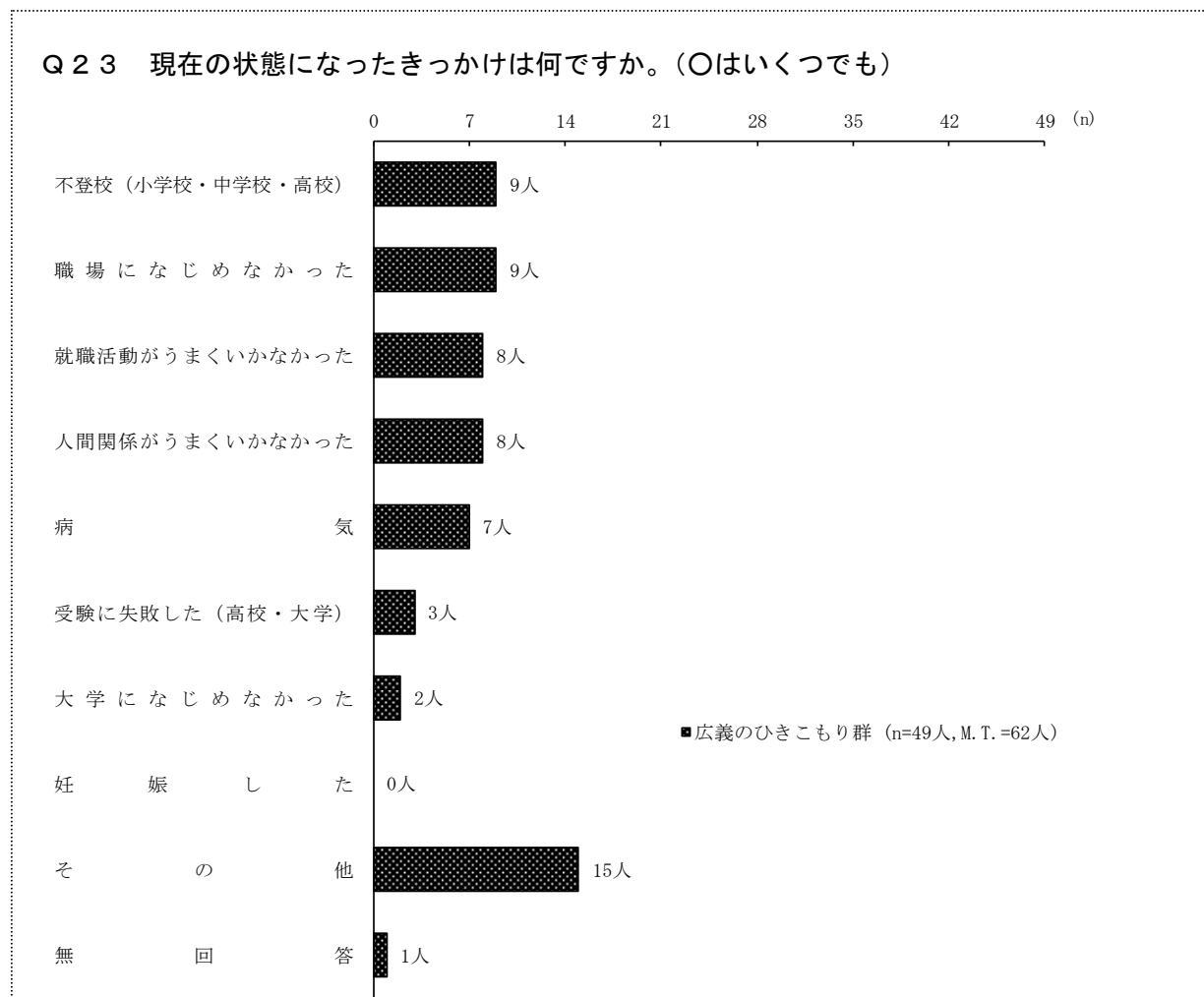


最近6ヶ月間に家族以外の人と会話したか聞いたところ、「よく会話した」と答えた者の割合は8.5%、「ときどき会話した」は34.0%、「ほとんど会話しなかった」は51.1%、「まったく会話しなかった」は6.4%となっている。

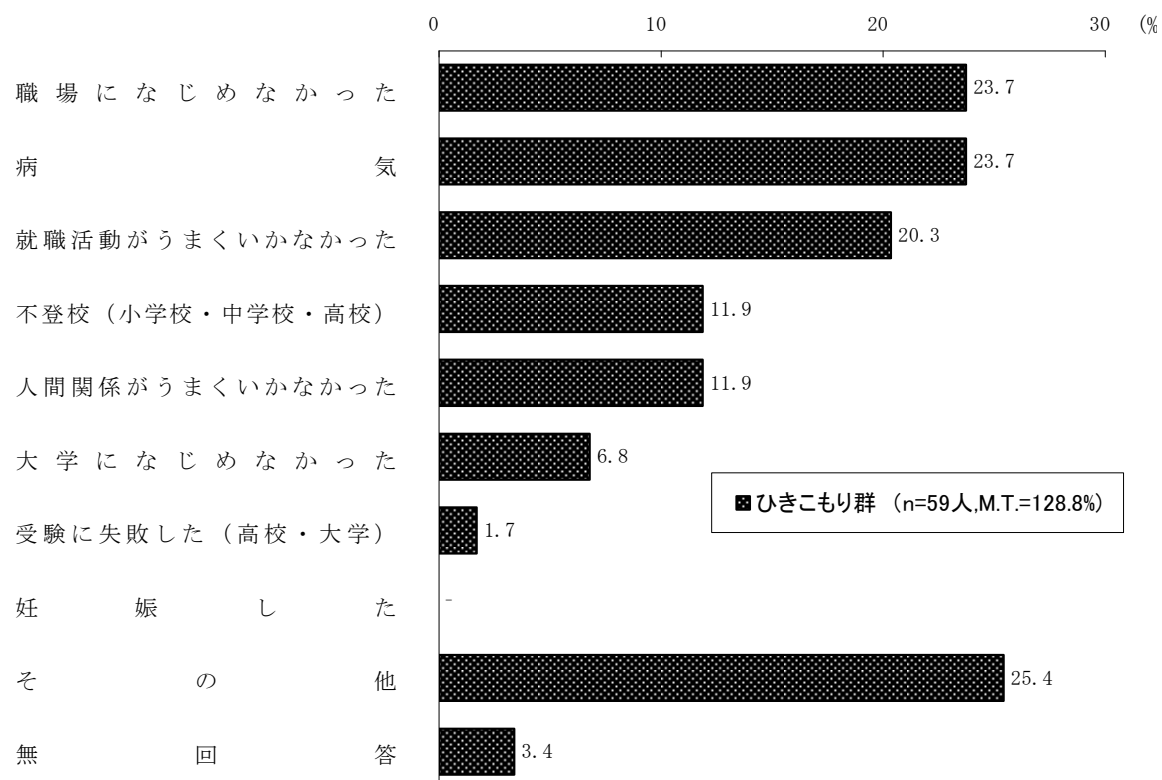
2.3 【本人票】ひきこもりの状態になったきっかけ



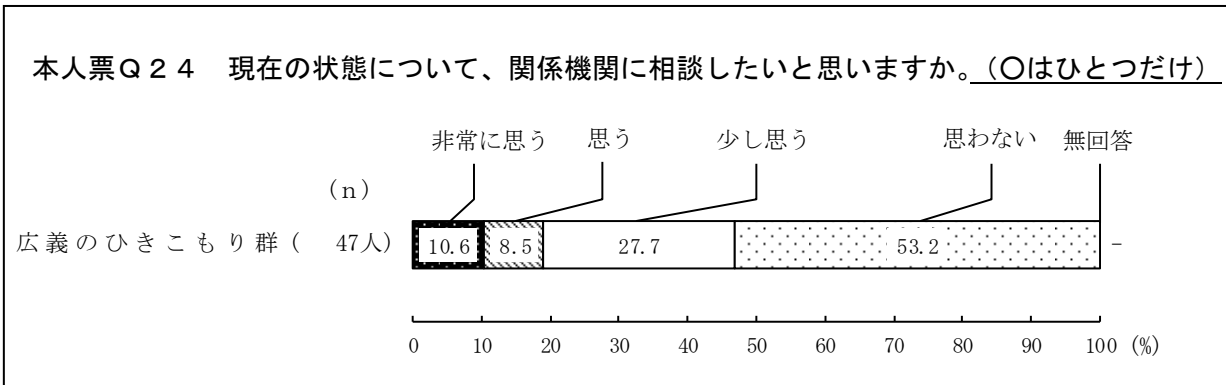
現在の状態になったきっかけを47人に聞いたところ、「退職したこと」をあげた者が17人、以下、「人間関係がうまくいかなかったこと」、「病気」(それぞれ10人)、「職場になじめなかったこと」(9人)、「特にない」(4人)となっている。



Q23 現在の状態になったきっかけは何ですか。（〇はいくつでも）

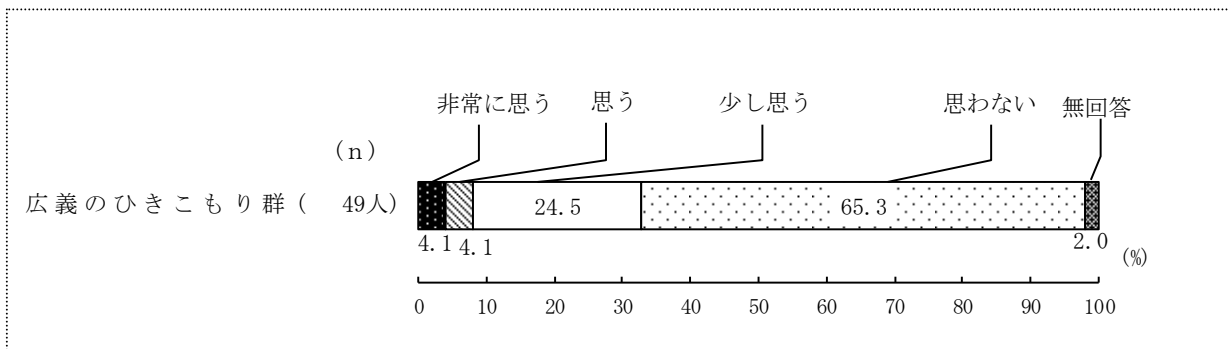


2.4 【本人票】ひきこもりの状態について、関係機関に相談したいか

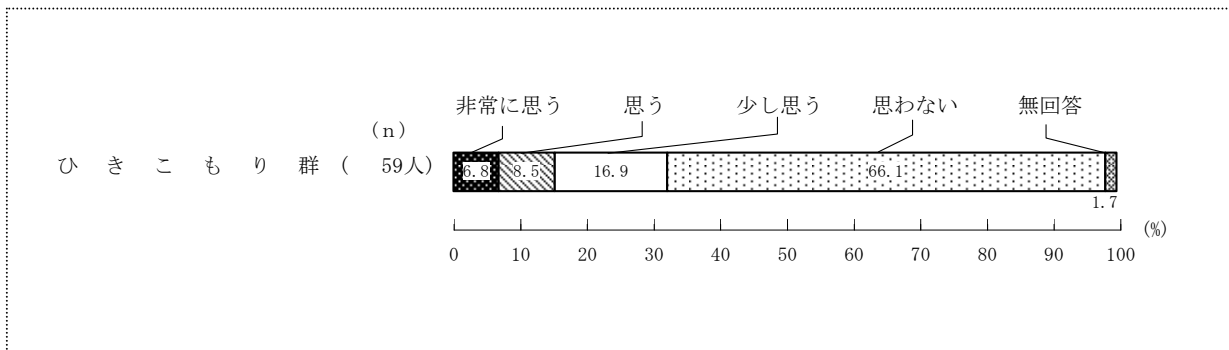


現在の状態について、関係機関に相談したいか聞いたところ、「非常に思う」と答えた者の割合は10.6%、「思う」は8.5%、「少し思う」は27.7%、「思わない」は53.2%となっている。

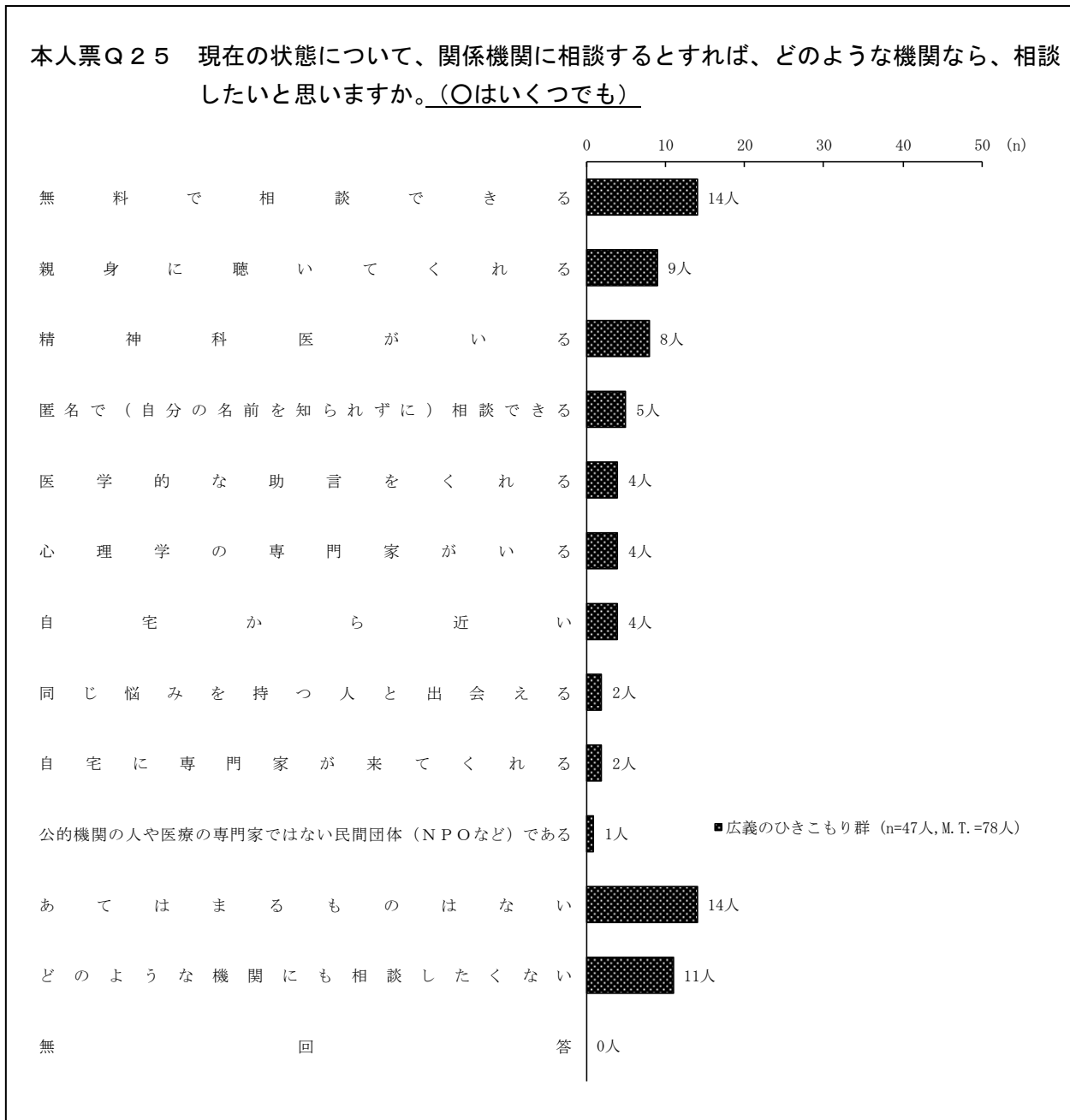
参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査



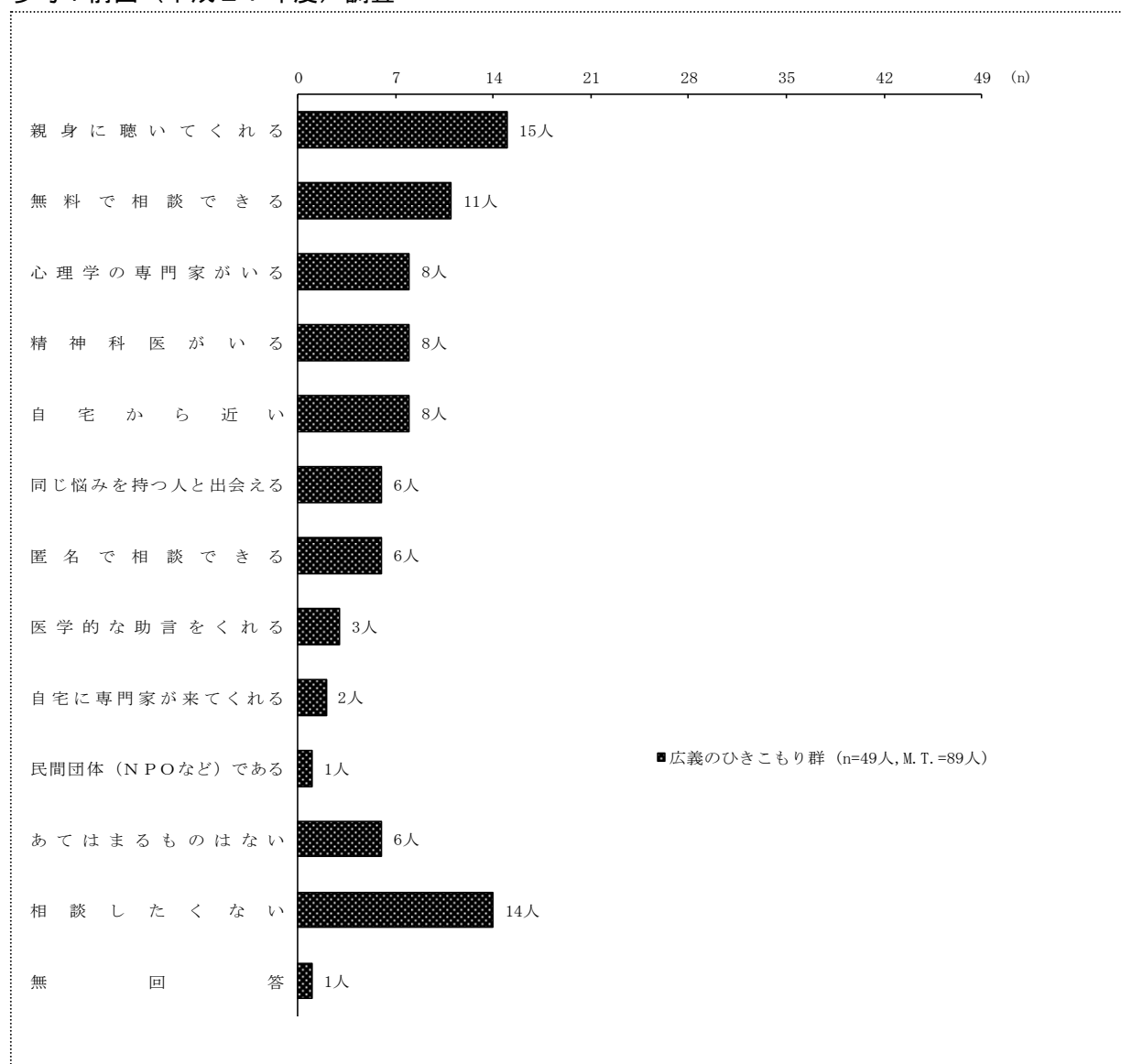
25 【本人票】ひきこもりの状態をどのような機関なら相談したいか



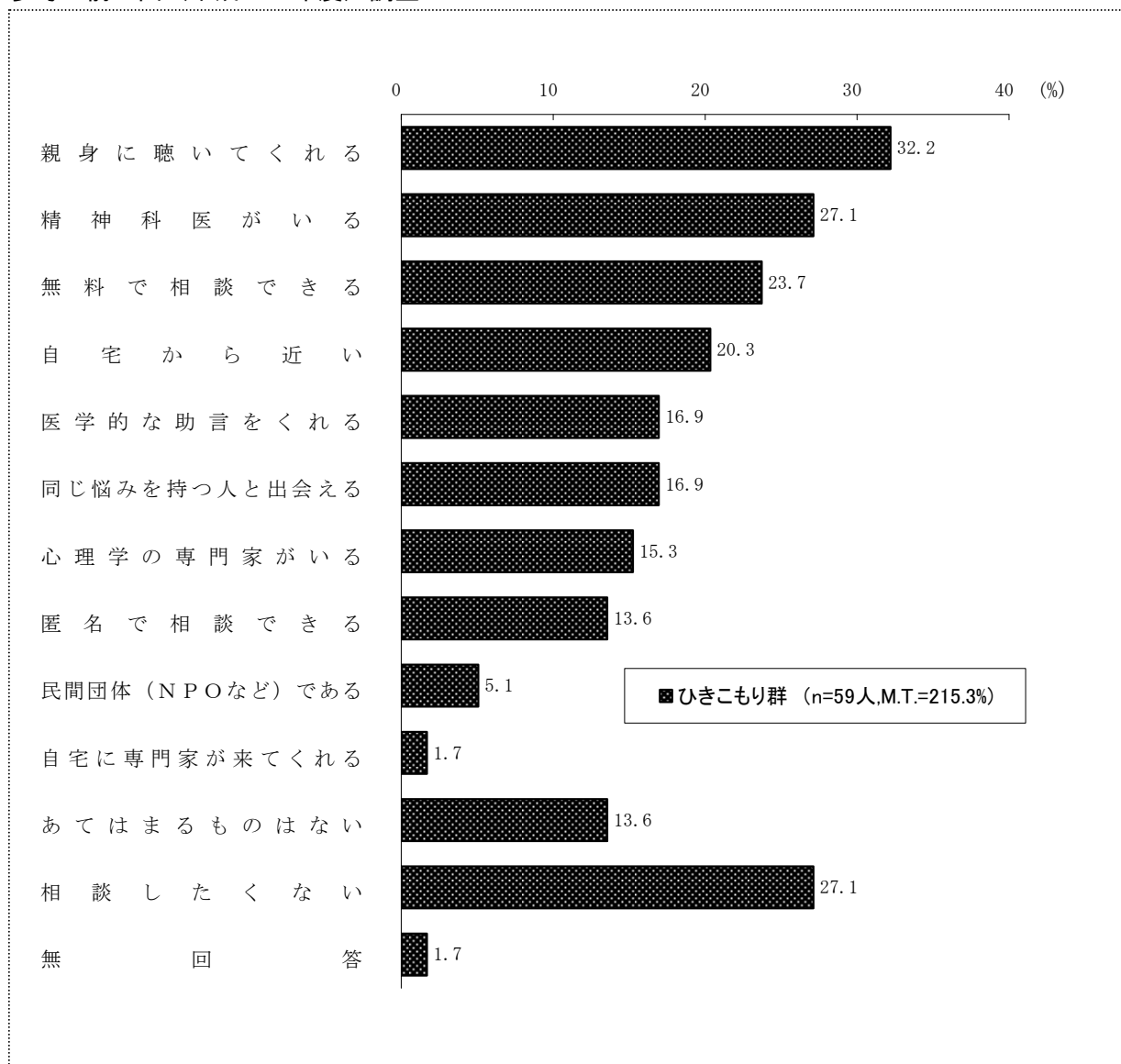
現在の状態を関係機関に相談するとすればどのような機関なら相談したいか 47 人に聞いたところ、「無料で相談できる」をあげた者が 14 人、「親身に聴いてくれる」をあげた者が 9 人、「精神科医がいる」をあげた者が 8 人となっている。

また、「あてはまるものはない」と答えた者は 14 人、「どのような機関にも相談したくない」と答えた者は 11 人となっている。

参考：前回（平成27年度）調査



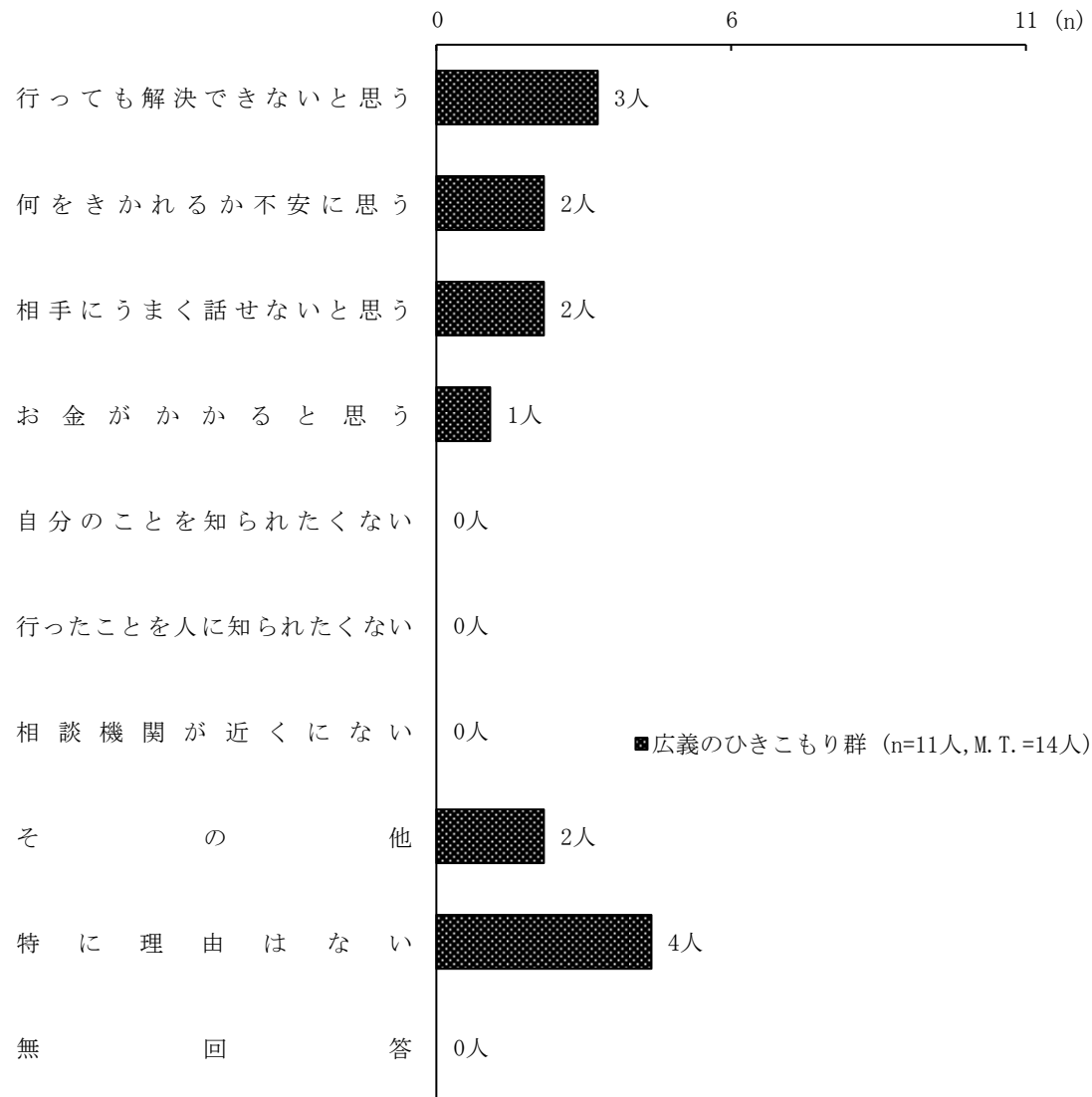
参考：前々回（平成21年度）調査



26 【本人票】相談したくない理由

【Q25で「12」に○をつけた方のみ、Q26にお答えください。】

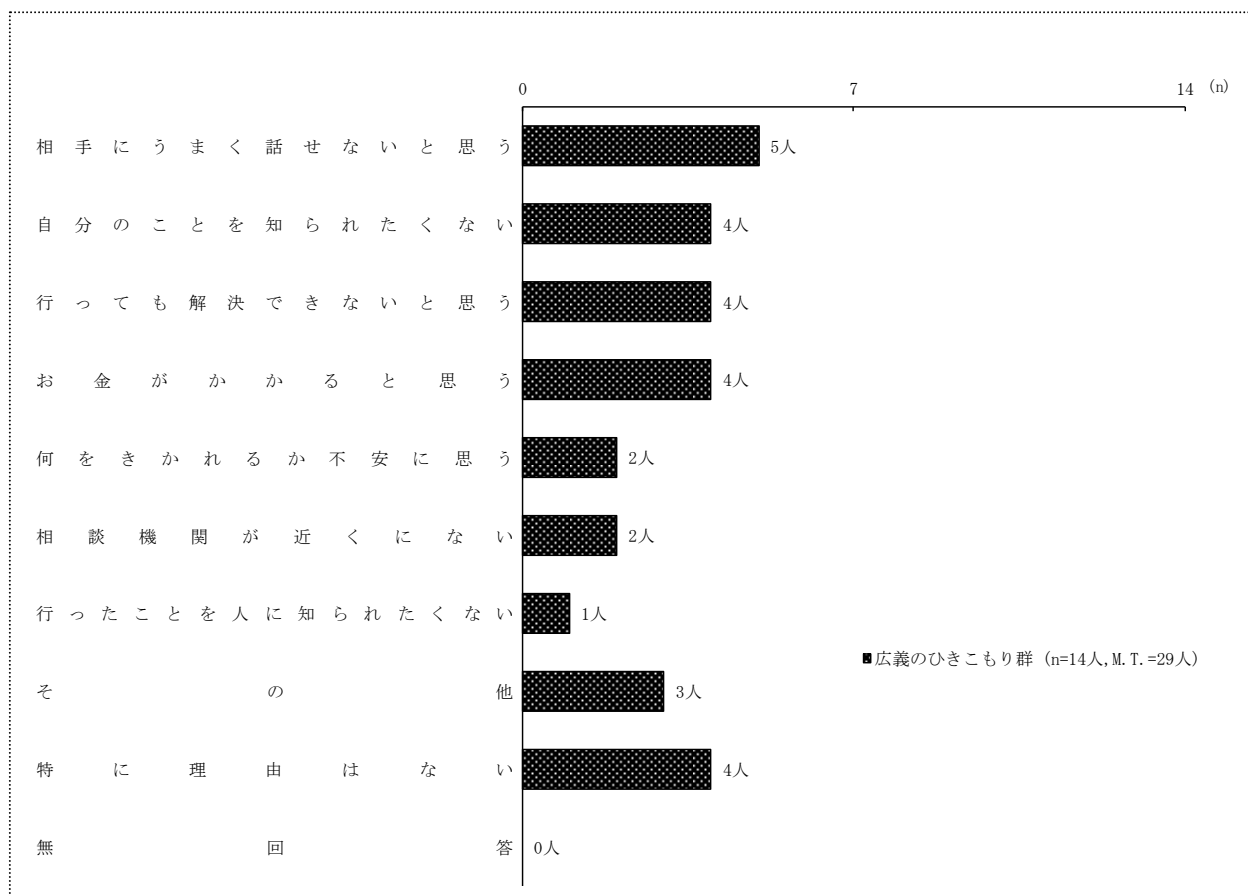
本人票Q26 相談したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)



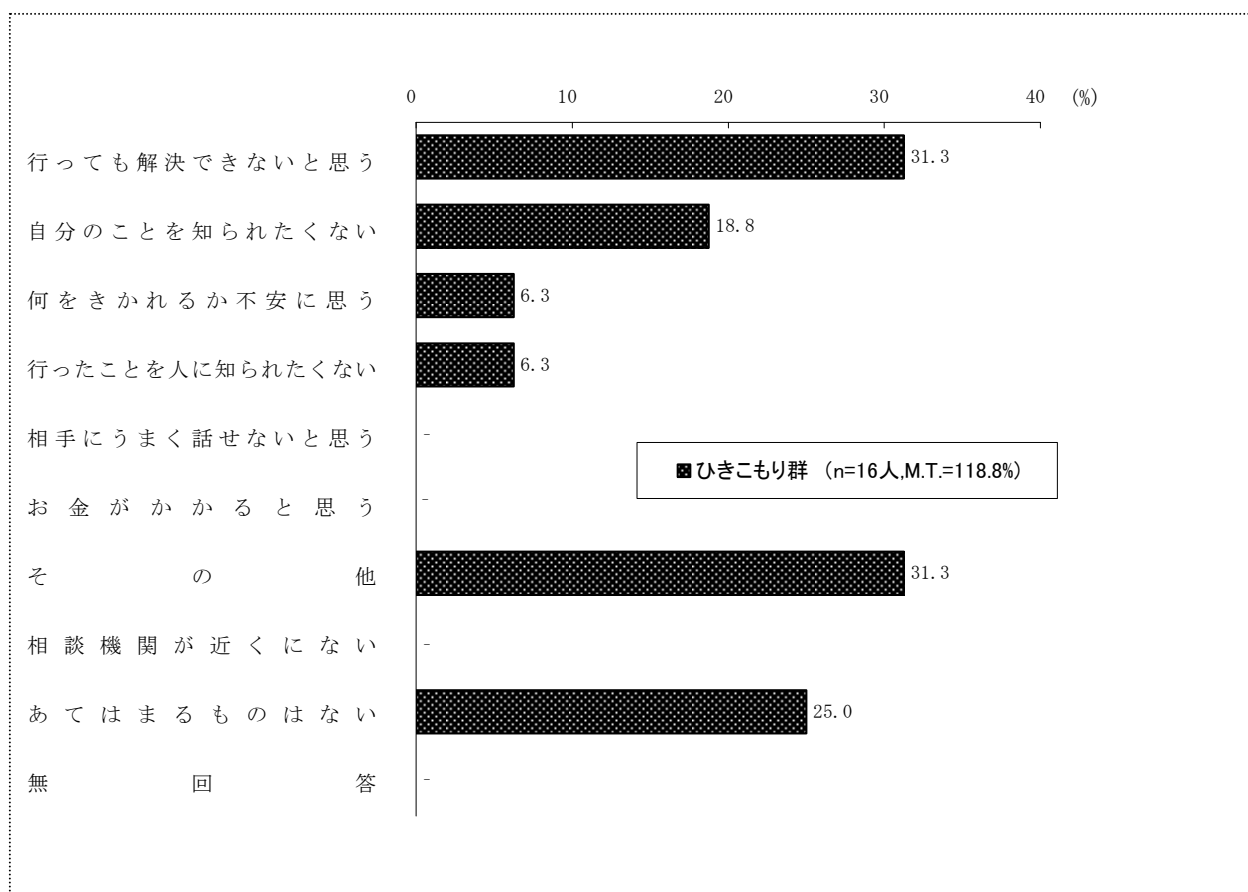
Q25で「相談したくない」と答えた者11人に、相談したくない理由を聞いたところ、「行っても解決できないと思う」をあげた者が3人、「何をきかれるか不安に思う」、「相手にうまく話せないと思う」をあげた者がそれぞれ2人、「お金がかかると思う」をあげた者が1人となっている。

また、「特に理由はない」と答えた者は4人となっている。

参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査

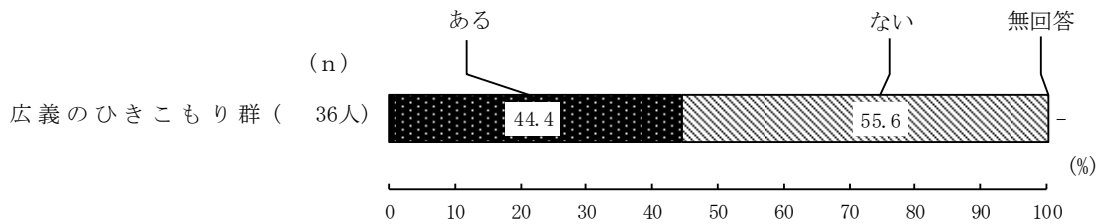


2.7 【本人票】関係機関に相談した経験

【Q25で1～11をあげた人に】

本人票Q27 現在の状態について、関係機関に相談したことはありますか。

(○はひとつだけ)

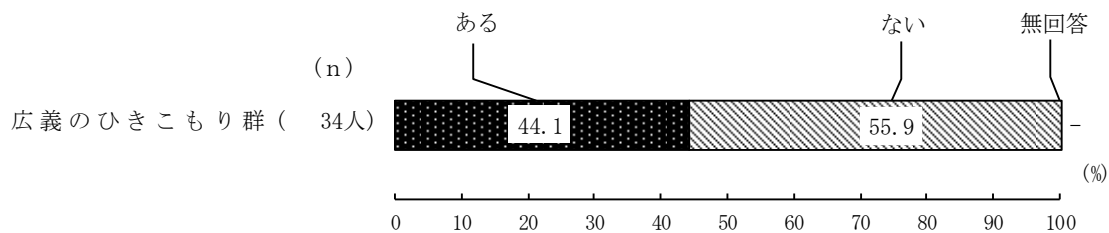


現在の状態について、関係機関に相談したことがあるか聞いたところ、「ある」と答えた者の割合が44.4%、「ない」と答えた者の割合が55.6%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査

【Q25で1～11をあげた人に】

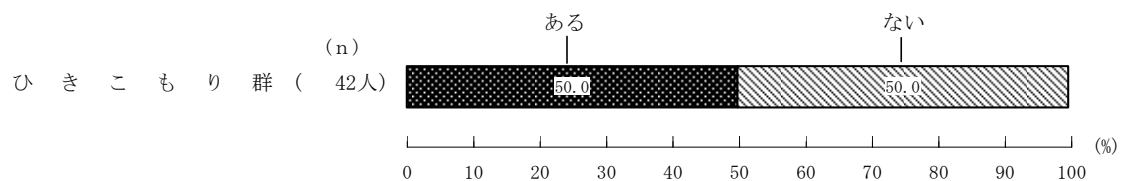
本人票Q26 現在の状態について、関係機関に相談したことはありますか。(○はひとつだけ)



参考：前々回（平成21年度）調査

【Q25で1～11をあげた人に】

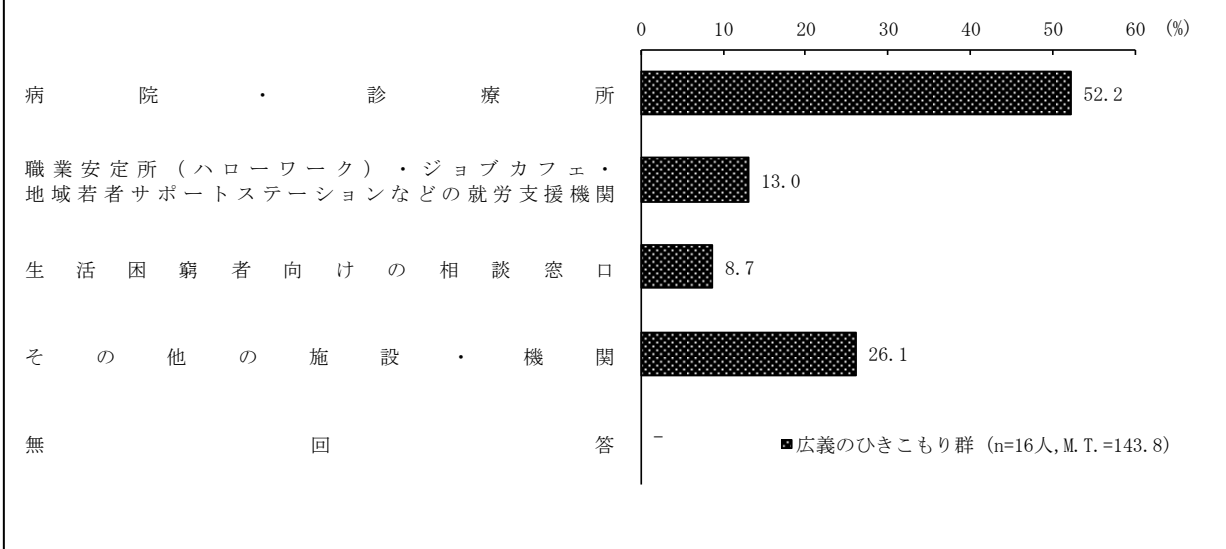
本人票Q26 現在の状態について、関係機関に相談したことはありますか。(○はひとつだけ)



28 【本人票】相談した機関

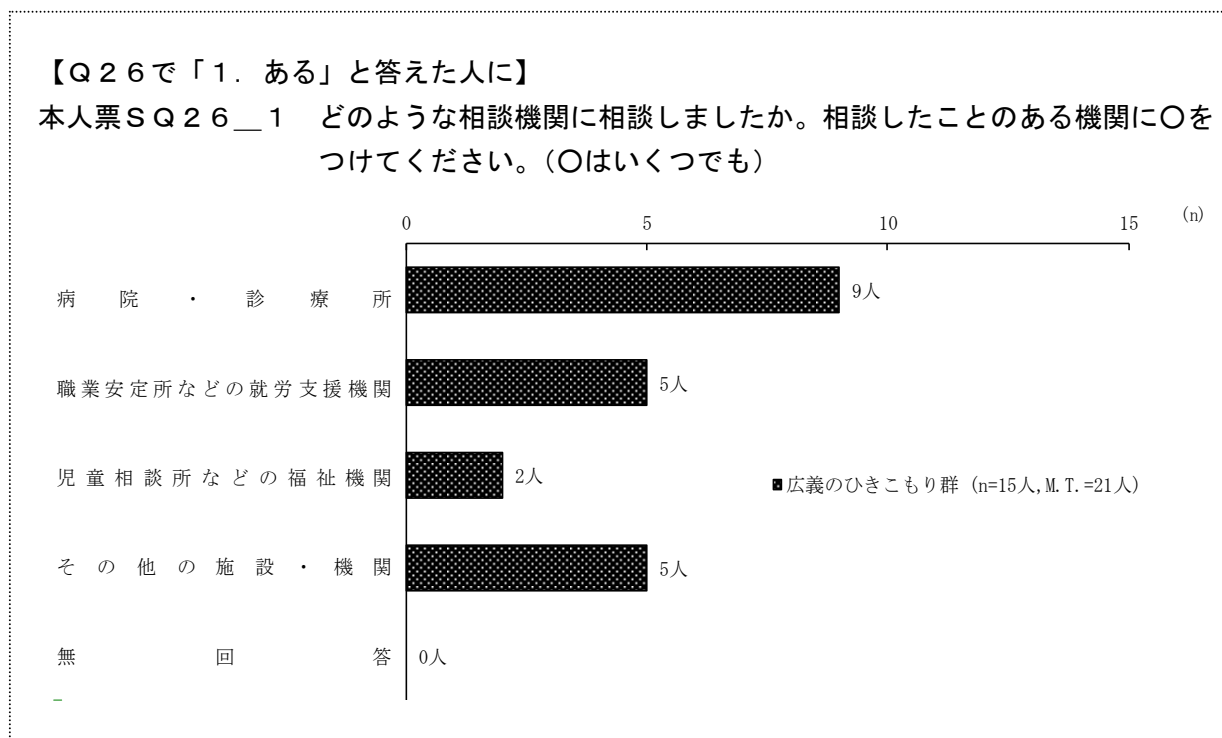
【Q27で「1」に○をつけた方のみ、Q28～Q29にお答えください。】

本人票Q28 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことがある機関に○をつけてください。(○はいくつでも)

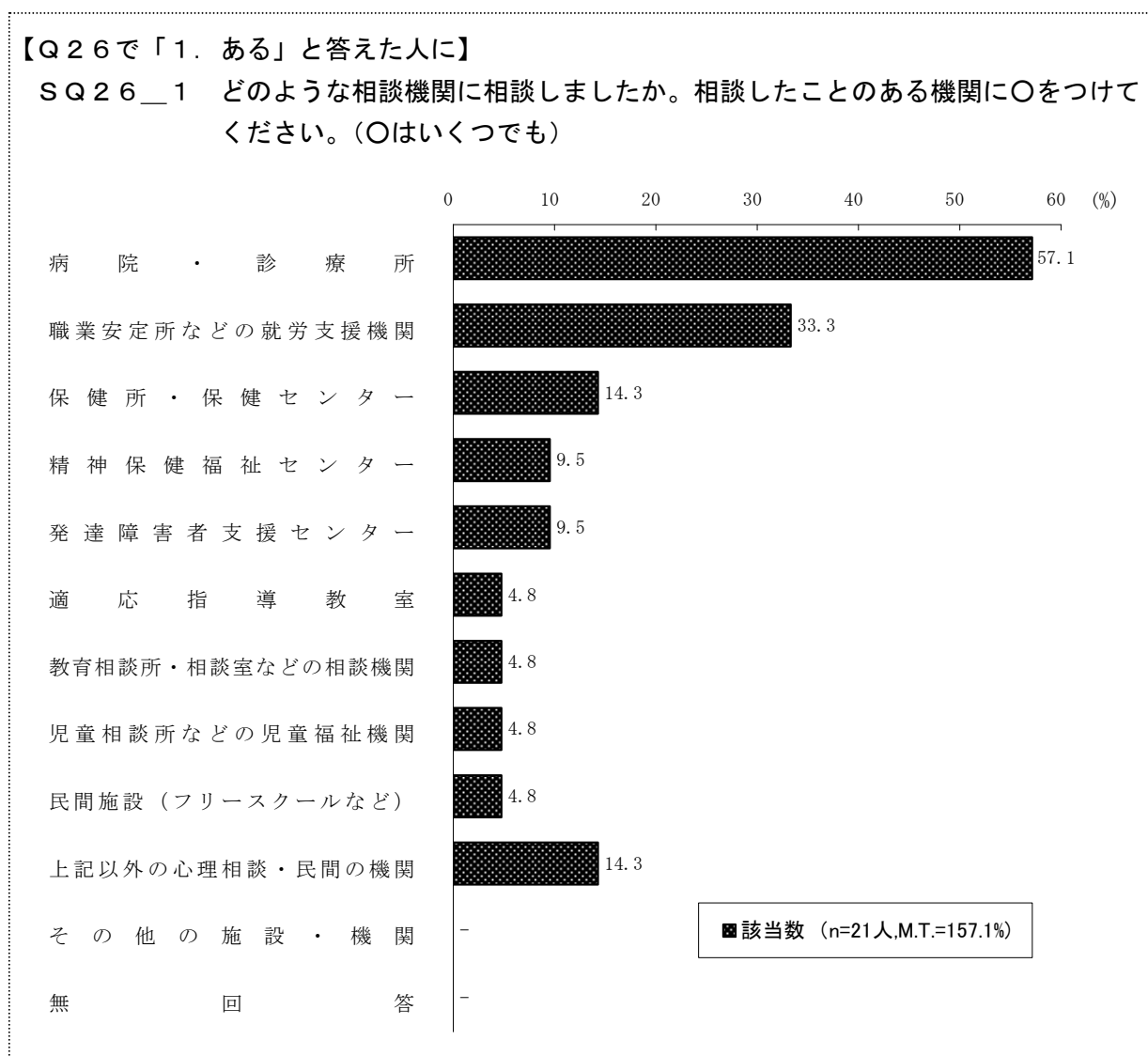


Q27で相談したことが「ある」と答えた者16人に、どのような相談機関に相談したか聞いたところ、「病院・診療所」の割合が52.2%、以下、「職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」(13.0%)、「生活困窮者向けの相談窓口」(8.7%)、その他の施設・機関（「ひきこもり地域支援センター」、「精神保健福祉センター」、「当事者の会・家族会」など）(26.1%)となっている。

参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査



29 【本人票】相談した結果

【Q27で「1」に○をつけた方のみ、Q28～Q29にお答えください。】

本人票Q29 相談機関に相談した結果について、どのようにお考えですか。
ご自由にお書きください。

以下では回答の一部を抜粋した。なお、回答からは個人が特定できないよう加工している。

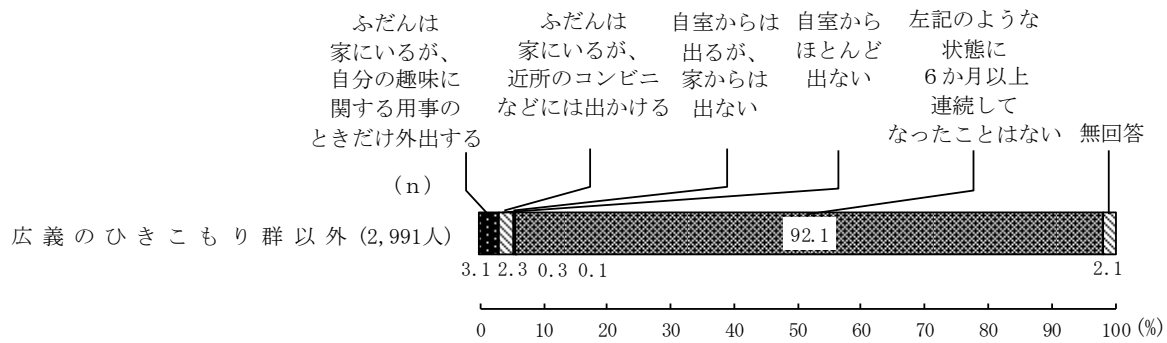
カウンセラーとの相性が悪く、かえってこういう機関に不信感を持ってしまった。ただ野球などをして運動ができたのはよかった。その後もいろいろ体験はしたけど、変わる意欲や治療意欲が乏しく、勝手にこの機関をやめてしまってから、どこにも相談したことはない。
足が不自由で年令も高め。なかなか出来る仕事はみつかりません。
良かったと思います。精神科に今も通っていますが、少しずつ普通のことが出来るようになってきたので。
人間関係の難しさに、病気を患ったのだが、精神科医からだされた薬や、診療内容があわず、行くのをやめてしまった。その後どこへ相談していいかわからず、とりあえず、心の問題と自分で思い、自力でなんとかしようとして動いてみるも、上手くいっていない。ただ、「Q28」のようなところに相談ができるのがあると知ったので、聞いてみようと思う。
適切な投薬治療を受けていると思います。
少しずつ良くなりましたが、先生が替わり合わないと思いやめました。

※Q30の設問は、過去に広義のひきこもり群であったと思われる人の群を定義するために使用した。

30 【本人票】過去の外出頻度

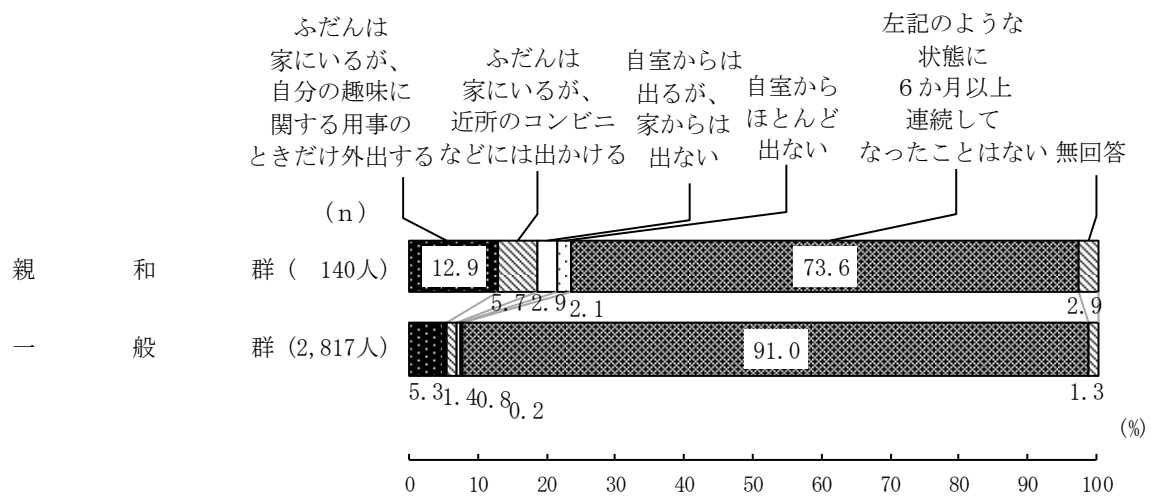
【Q19で「1～4」に○をつけた方のみ、Q30にお答えください。】

本人票Q30 あなたは今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。(○はひとつだけ)



参考：前回（平成27年度）調査

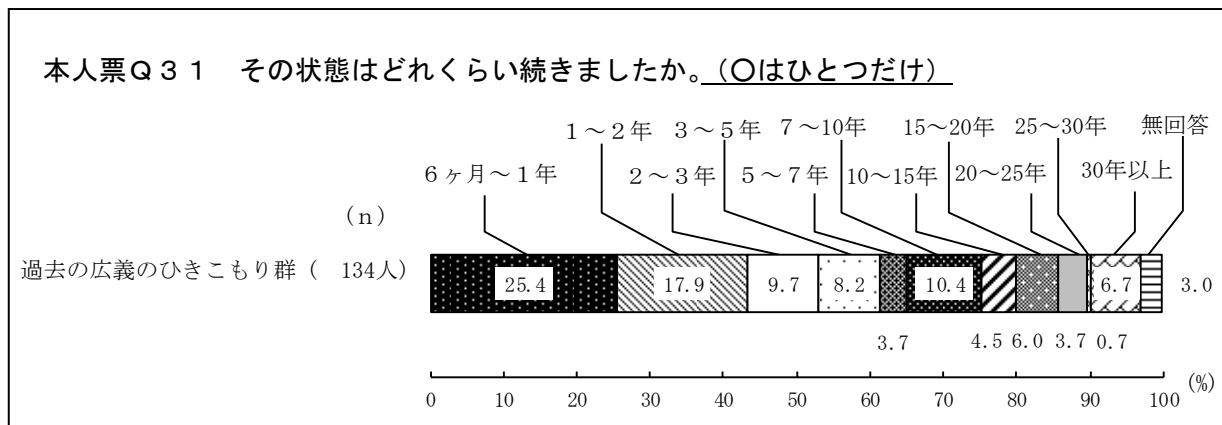
本人票Q27 あなたは今までに6ヶ月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。(○はひとつだけ)



※本人票Q31～Q34は、本人票Q19において外出頻度が高かった者（本人票Q19において1～4を選択した者）のみが回答する項目となっている。

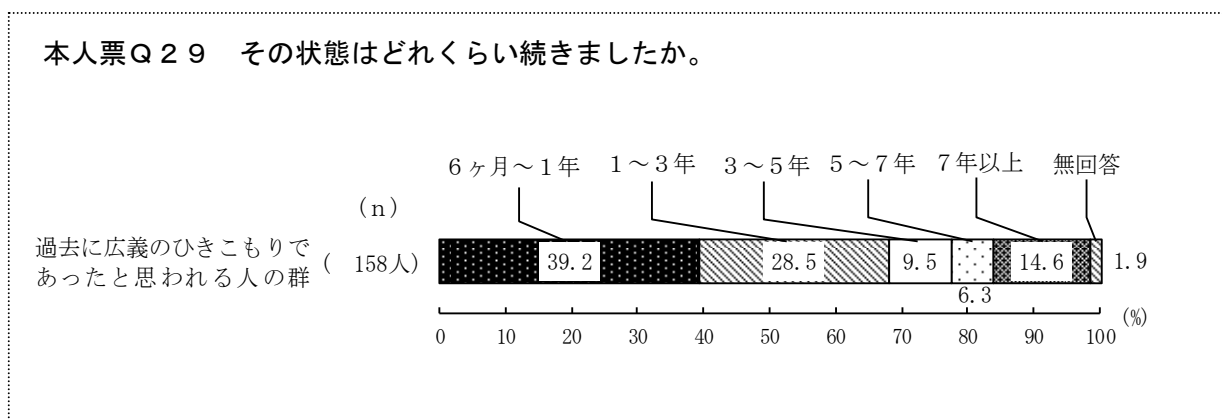
本報告書ではその中でも過去に広義のひきこもり群であったと思われる人の群に該当する者の結果について記載する。

3.1 【本人票】過去にひきこもりの状態だった期間

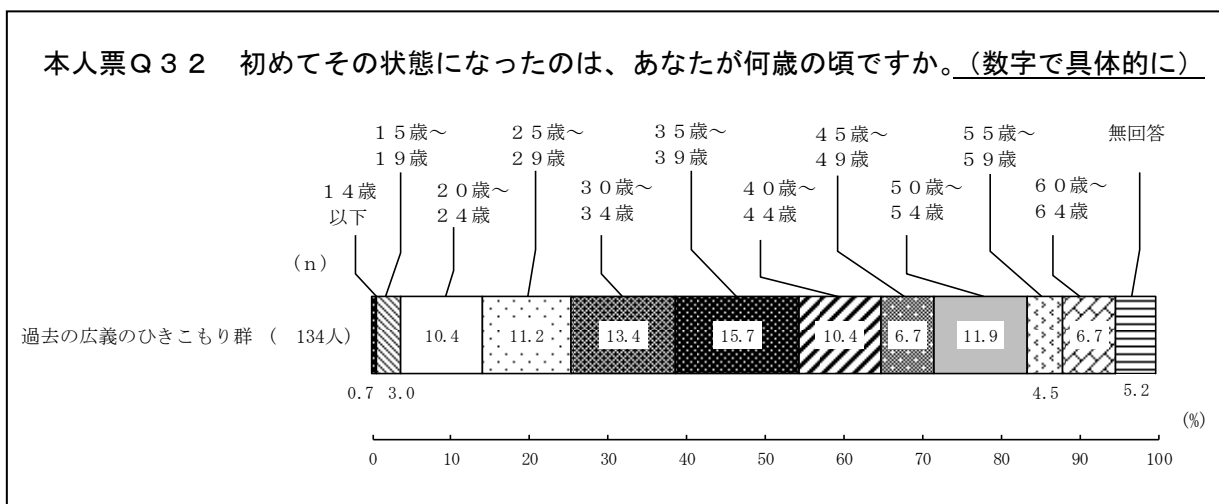


過去のひきこもり状態の継続期間について聞いたところ、「6ヶ月～1年」と答えた者の割合が25.4%、「1～2年」が17.9%、「2～3年」が9.7%、「3～5年」が8.2%、「7～10年」が10.4%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査

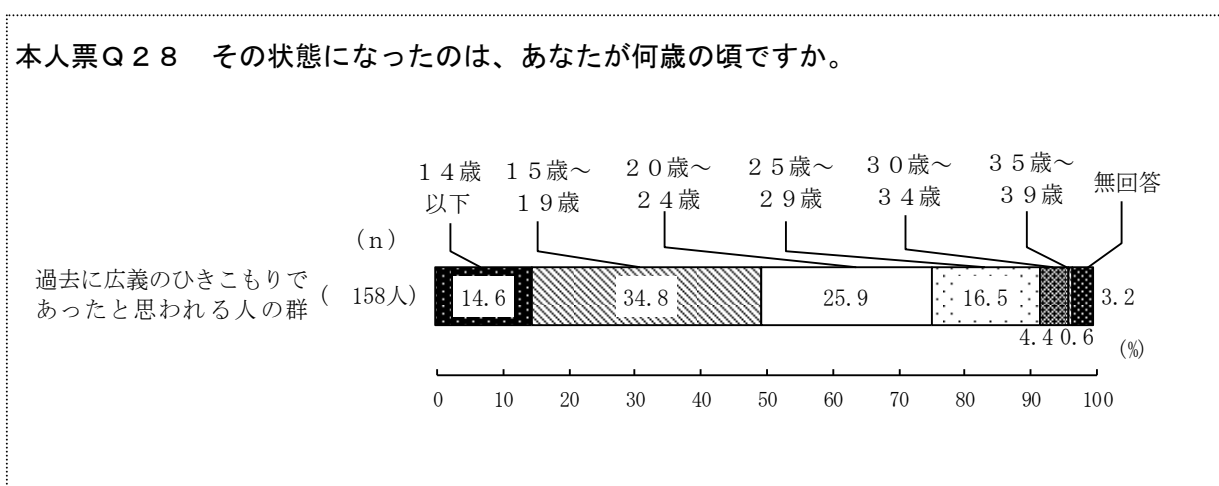


3 2 【本人票】過去に初めてひきこもりの状態になった年齢

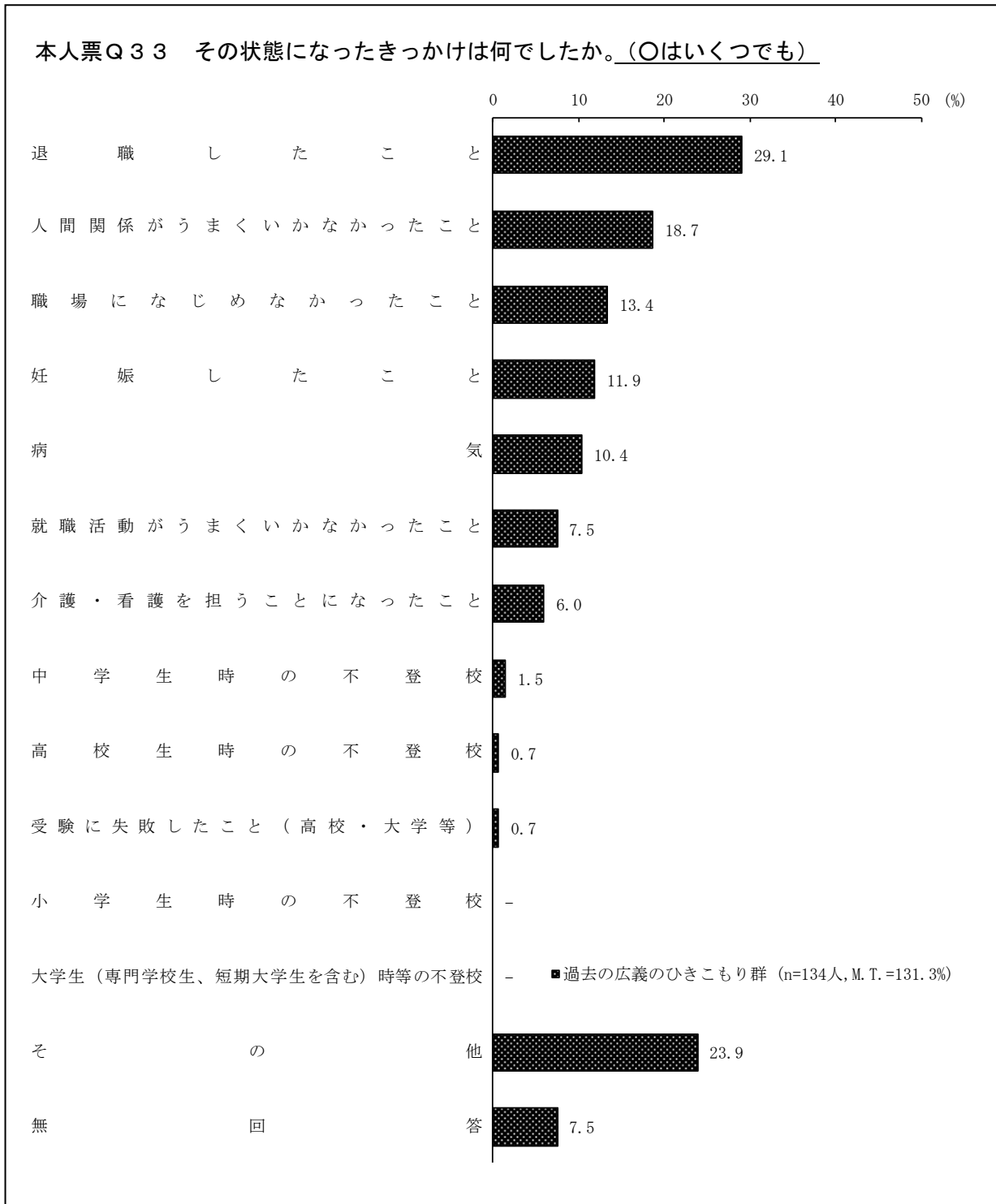


初めてひきこもりの状態になった年齢について聞いたところ、「20歳～24歳」と答えた者の割合が10.4%、「25歳～29歳」が11.2%、「30歳～34歳」が13.4%、「35歳～39歳」が15.7%、「40歳～44歳」が10.4%、「50歳～54歳」が11.9%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査 過去にひきこもりの状態になった年齢

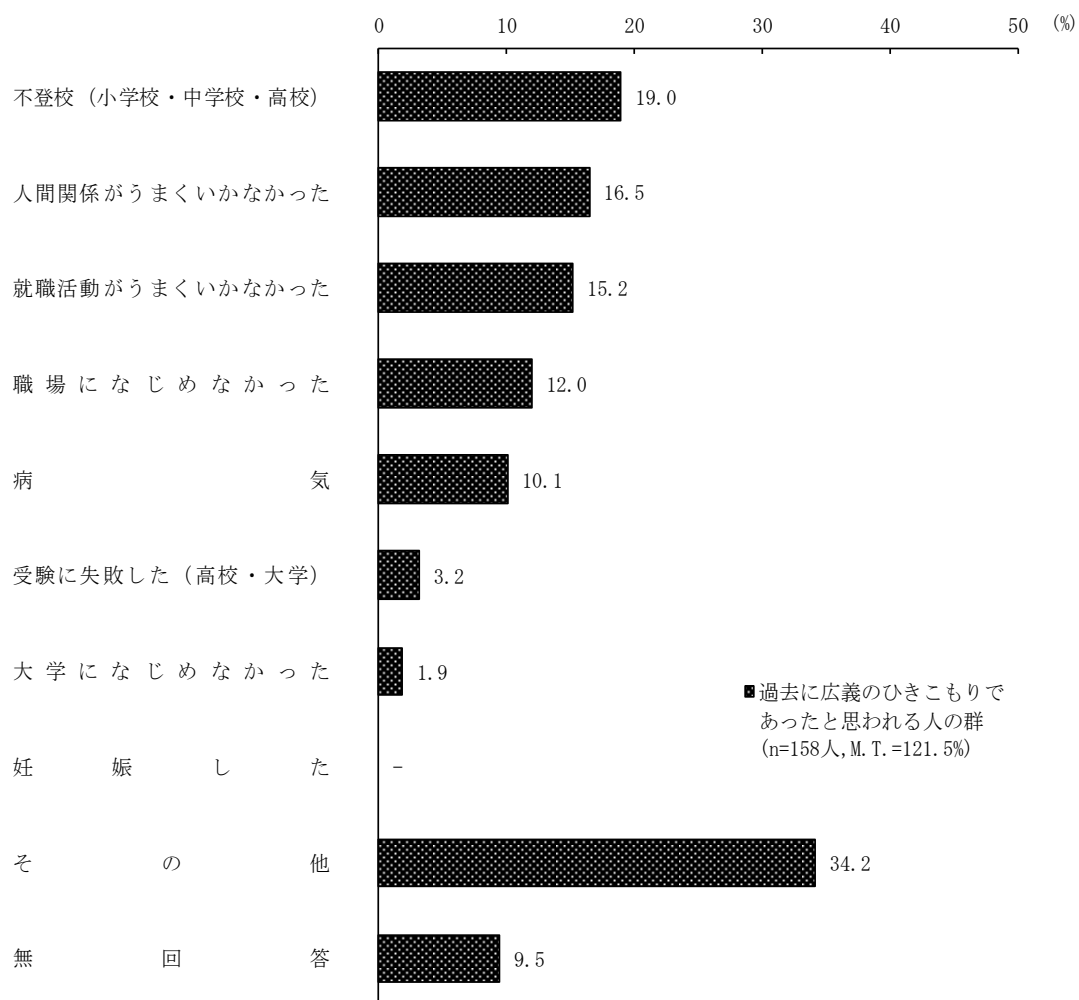


3.3 【本人票】過去にひきこもりの状態になったきっかけ



過去にひきこもりの状態になったきっかけについて聞いたところ、「退職したこと」をあげた者の割合は29.1%、「人間関係がうまくいかなかったこと」は18.7%、「職場になじめなかったこと」は13.4%、「妊娠したこと」は11.9%、「病気」は10.4%となっている。

本人票Q30 その状態になったきっかけは何でしたか。（〇はいくつでも）



34 【本人票】ひきこもりの状態ではなくなったきっかけや役立ったこと

本人票Q34 その状態から、Q19で回答した現在の状態になったきっかけや役立ったことは何だと思いますか。ご自由にお書きください。

以下では回答の一部を抜粋し、きっかけや役立ったこと別に分類した。なお、回答からは個人が特定できないよう加工している。

<就職・転職>

就職したこと
粘り強く職安で自分が出来そうな仕事を探したからだと思う。
原因となった会社を退職したこと。また、退職した結果他社から自分を必要としていた事。退職等を受け入れてくれた家族
資格を取得し、就職をした。
新たな業種でもトライして就活をした。
雇用促進機関（ハローワーク等）に通った。
再就職したため
自分に向いてる仕事を探した
地元に戻って就職した。近所の人に仕事を紹介して頂いた。
違う仕事につき資格をとろうとして
20才になって年金の支払い等のお金を必要とするようになりアルバイトをするようになった事。正社員ではなかったが働くようになった事

<家族・友人>

友達や家族のたすけ
同じ境遇にあった人（今では親友）と出会い、自分1人だけじゃないと思えたこと。
家族とのコミュニケーションが増えた。
職場でのプレッシャーからうつ病になった。家族の協力で少しずつ社会になじめるようになり自分が親になった事で立ち直れた様に思う。家族に感謝しかない。
娘が食事や買物など、外出する時、よく誘ってくれる。
役に立ったことは、お金のありがたみ+仕事仲間等、人のやさしさ。
家庭を守るため
あせらないで時間をゆっくりすごせたこと。気にしてくれる家族、友だちが、ときどき声をかけてくれたこと。体調は悪かったが、気持ちは元気になったら、いろんなことをしようと思っていたこと。
きっかけは、結婚したから。

<医療>

病気が回復したから（治ってはいないが）。仕事が決まったから

<自身の変化>

離婚をし、働かなければ生きていけないので生きる事に対する意識が変わり今の状態になりました。病気が復活しないか心配しながら毎日暮らしていますが、自分自身の意識が変わったのでなんとかこなしています。

自分と向きあう（考える）・読書・ブログを読む

ひきこもっていてもつまらなかったから。

コンビニ、スーパーなどに出かけれるようになったら、レジのかたに、一言声を出して話しかけるように努力した。

就労支援事業所が引越して、少しなれてきて友達も出来たし、悩みも職員の人にいえていると思います。仕事は大好きです。

ただ家に居るのが退屈になったため。

人との交流で、回復した。

社会と関わりたいと思った。毎日が退くつに感じた。

退職し時間が自由になった事。会社外の人にふれ、いろんな人がいるんだなあ、と思った事。

特にない。自然と。

眠って、起きると回復する様に努める。自分を良い様にコントロールする事に馴れた。又年齢を重ねるたびにその期間が短くなった。又その様に働きかけてくれる人達が居た様な気がします。

<趣味>

友達に趣味に誘われて出かけるようになりました。

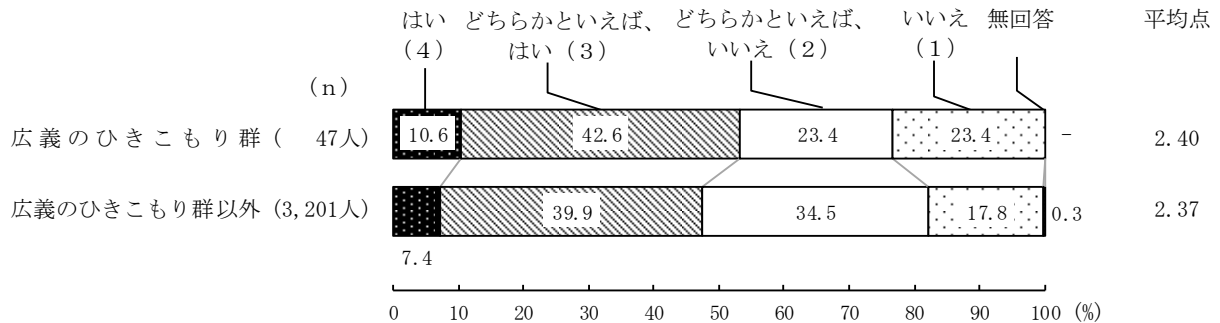
病院のデイケア、趣味（パソコンでのイラスト描き、ペーパークラフト）

35 【本人票】自身にあてはまること

あなた自身にあてはまるかどうか 16 項目について聞いた。

本人票Q35 次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまるものに○をつけてください。(○は各項目につき、ひとつ)

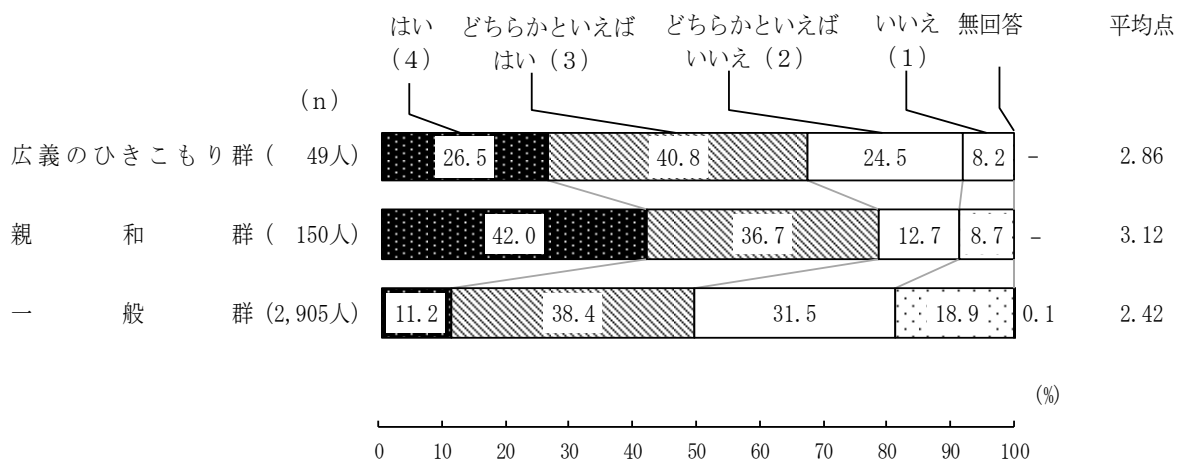
1. 自分の欠点や失敗を少しでも悪く言われると、ひどく動揺する



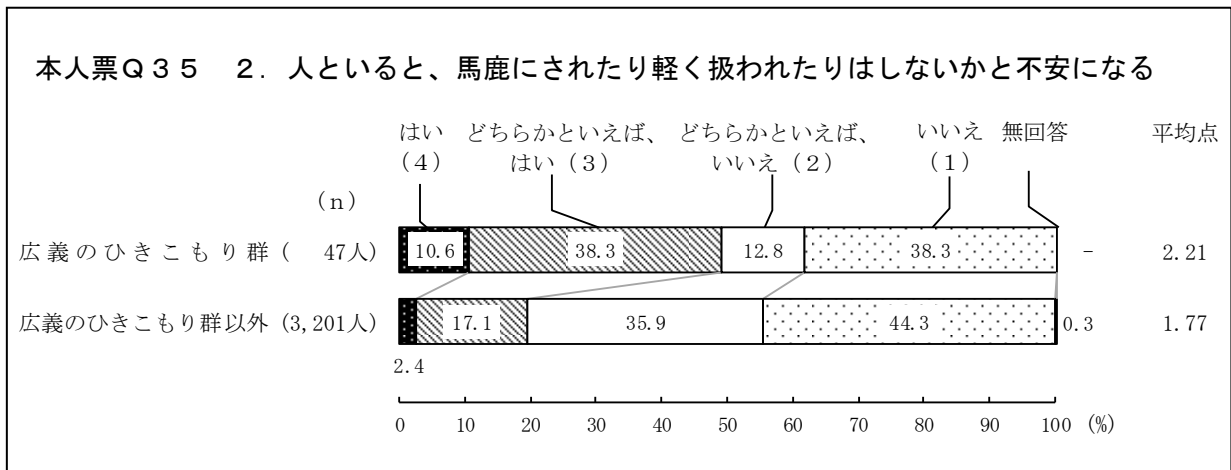
参考：前回（平成27年度）調査

本人票Q32 次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまる数字に○をつけてください。(○は各項目につきひとつ)

1. 自分の欠点や失敗を少しでも悪く言われると、ひどく動揺する

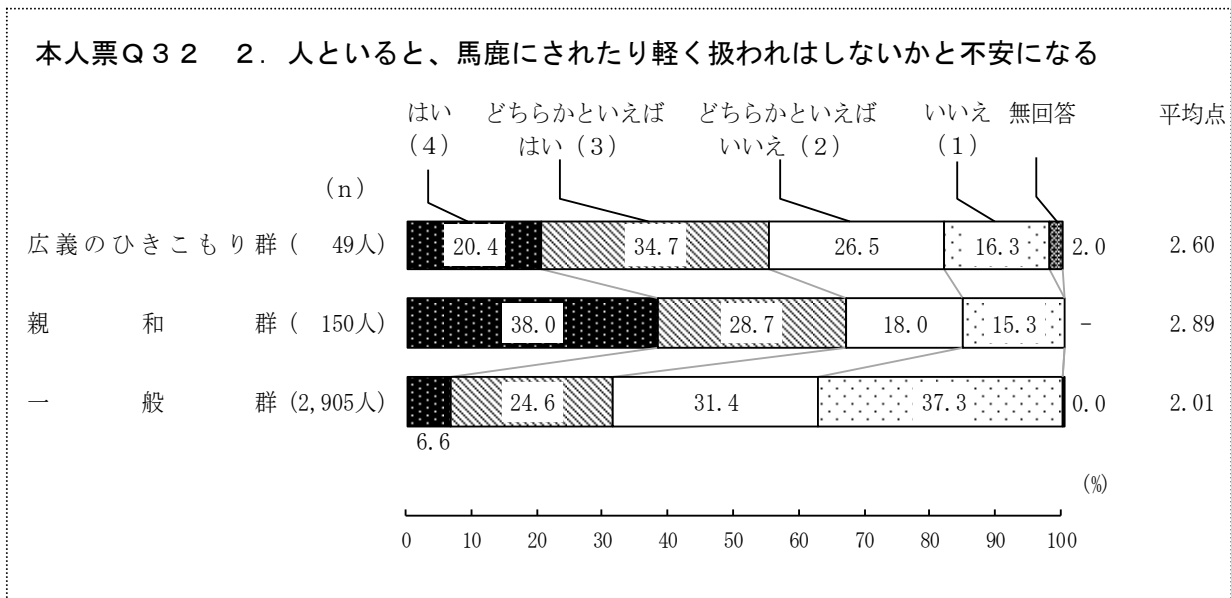


【本人票】

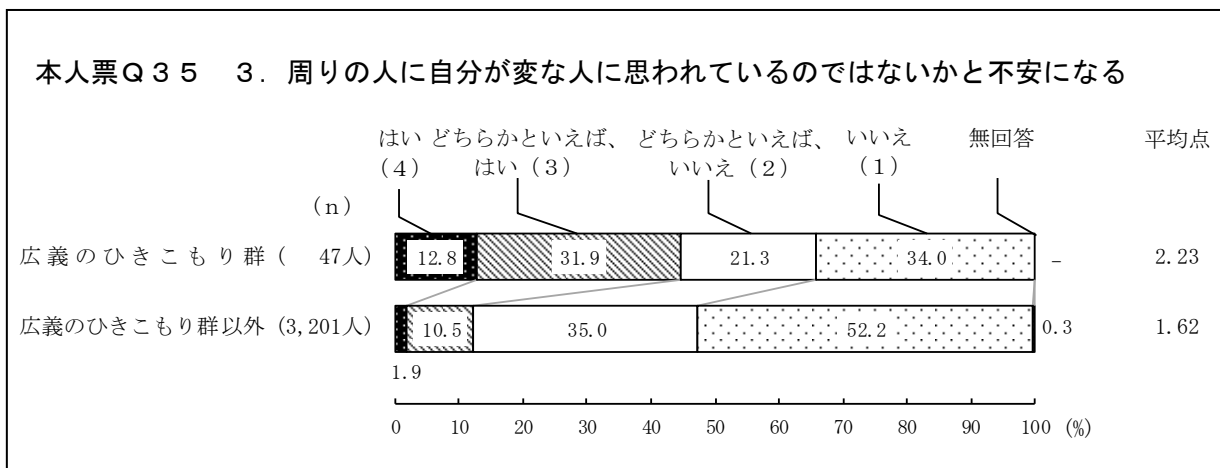


『人といると、馬鹿にされたり軽く扱われたりはしないかと不安になる』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）48.9%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）51.1%、広義のひきこもり群以外では、『はい』19.5%、『いいえ』80.2%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査

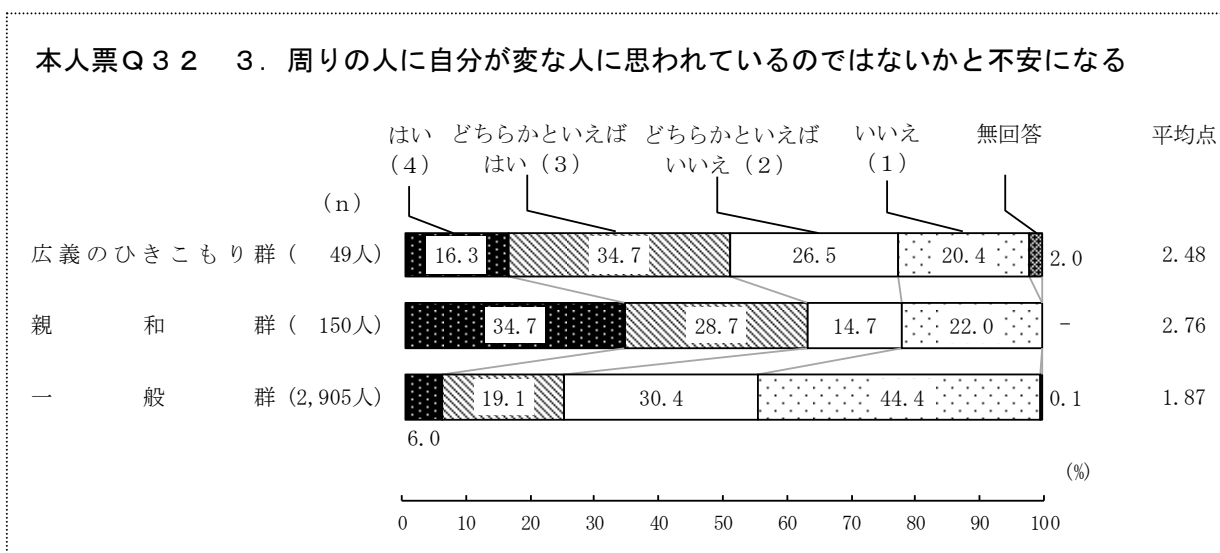


【本人票】

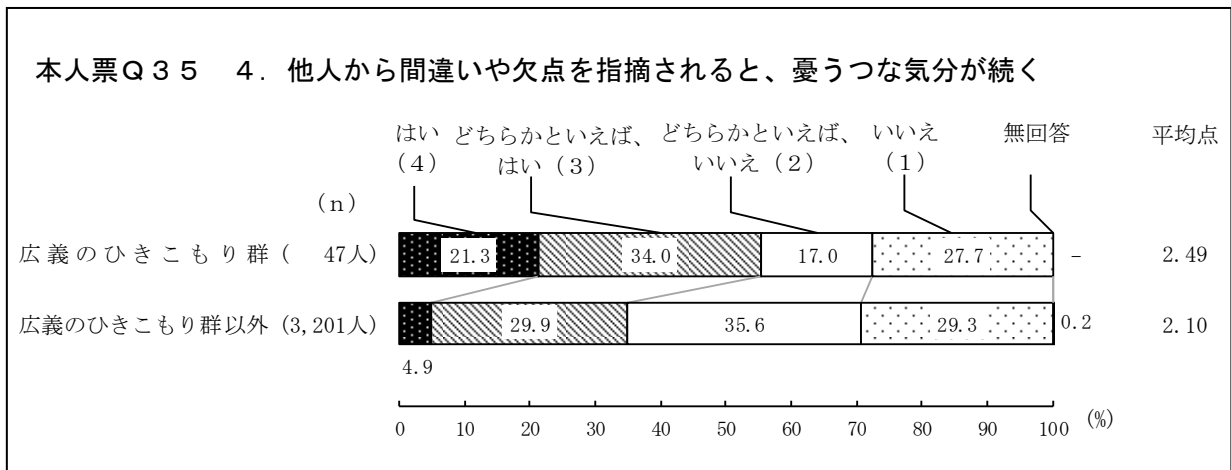


『周りの人に自分が変な人に思われているのではないかと不安になる』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）44.7%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）55.3%、広義のひきこもり群以外では、『はい』12.4%、『いいえ』87.2%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査

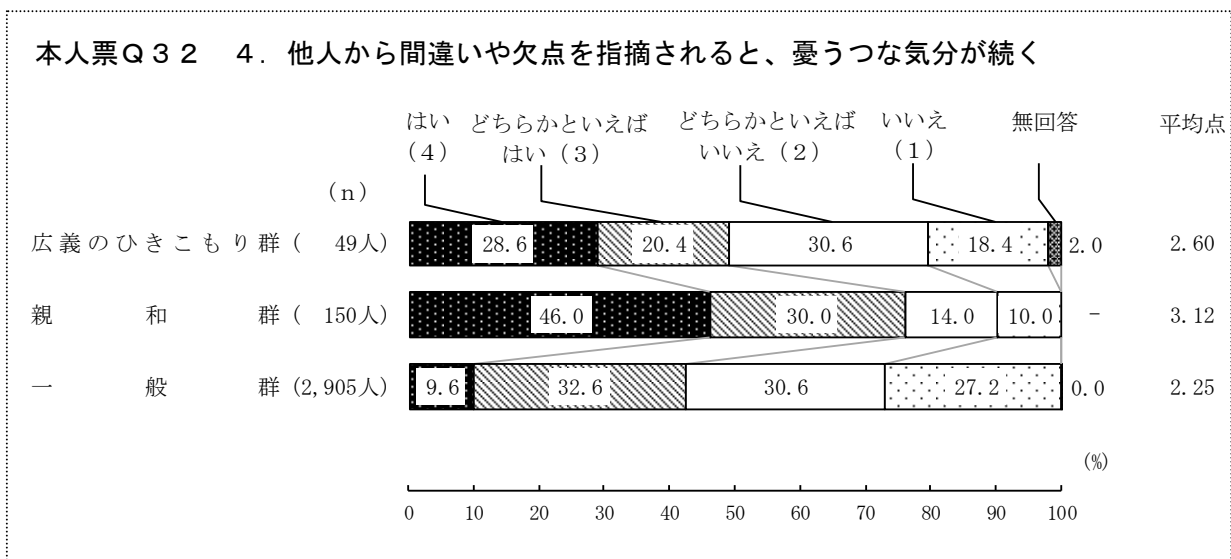


【本人票】



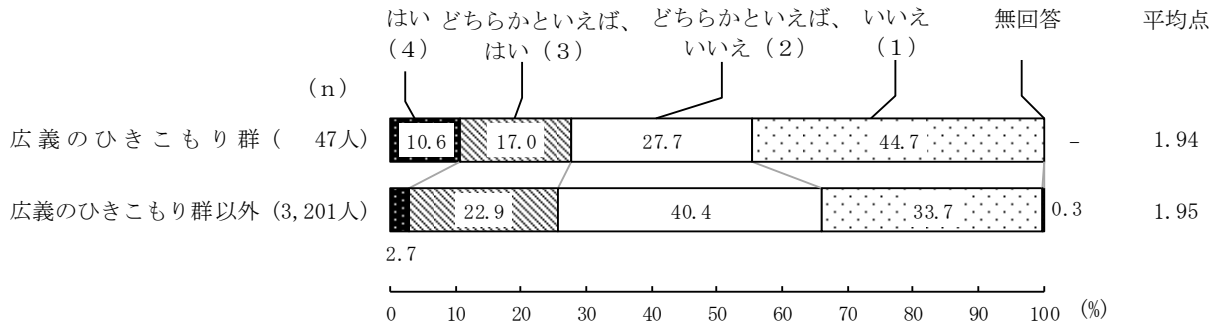
『他人から間違いや欠点を指摘されると、憂うつな気分が続く』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）55.3%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）44.7%、広義のひきこもり群以外では、『はい』34.9%、『いいえ』64.9%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査



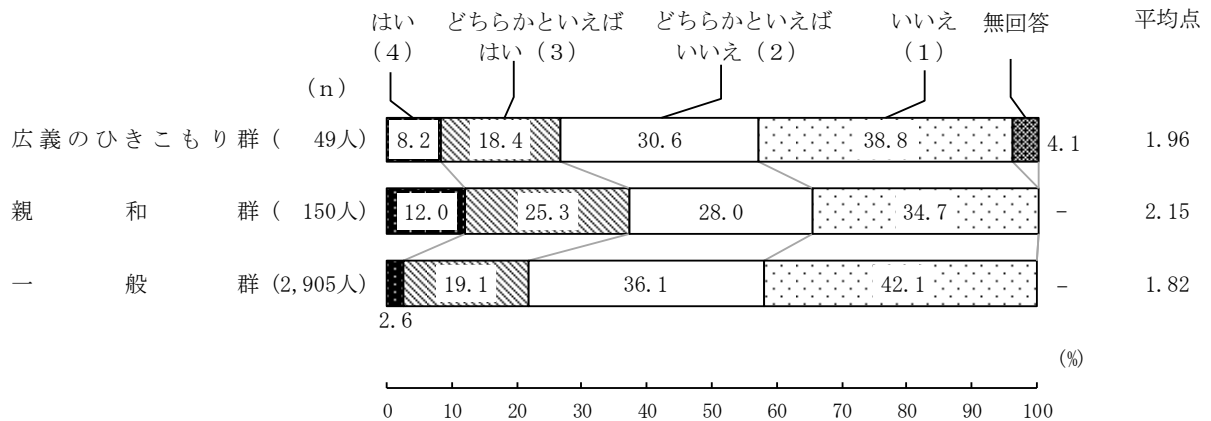
【本人票】

本人票Q35 5. 大事なことを決めるときは、家族や目上の人の言うことに従わないと不安だ



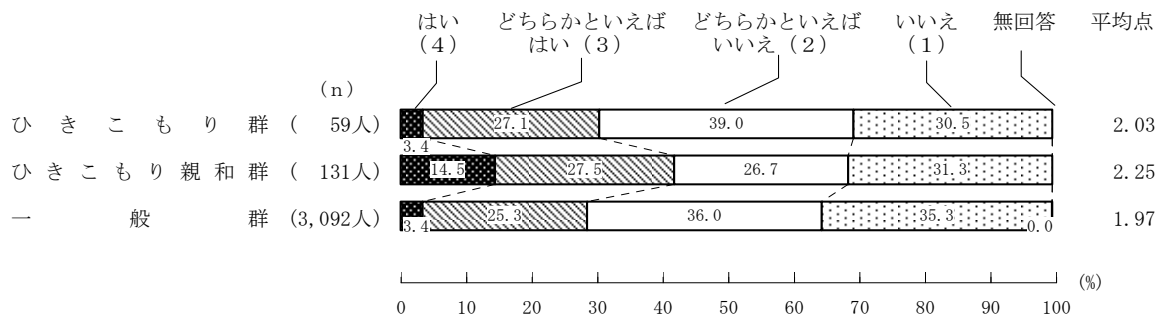
参考：前回（平成27年度）調査

Q32 5. 大事なことを決めるときは、親や教師の言うことに従わないと不安だ

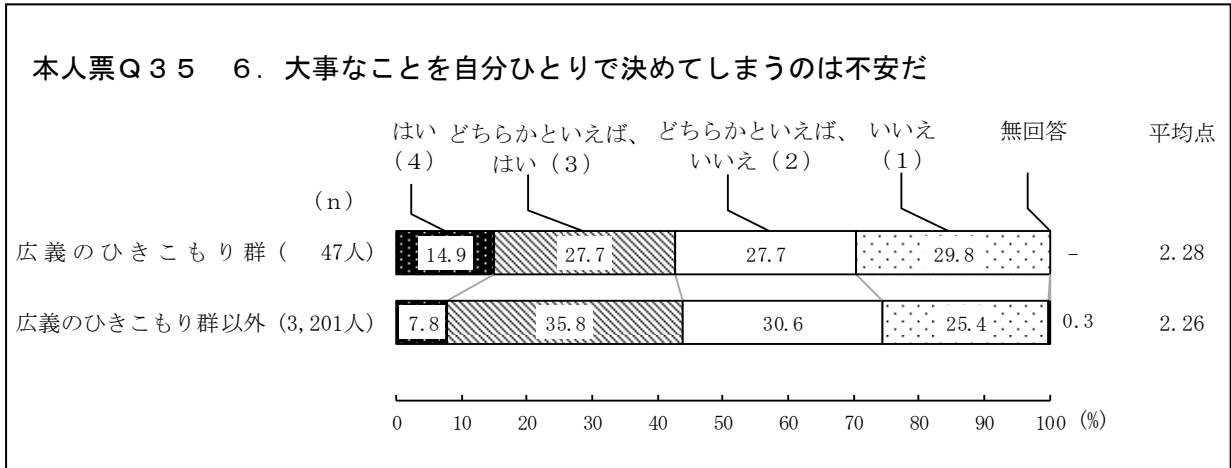


参考：前々回（平成21年度）調査

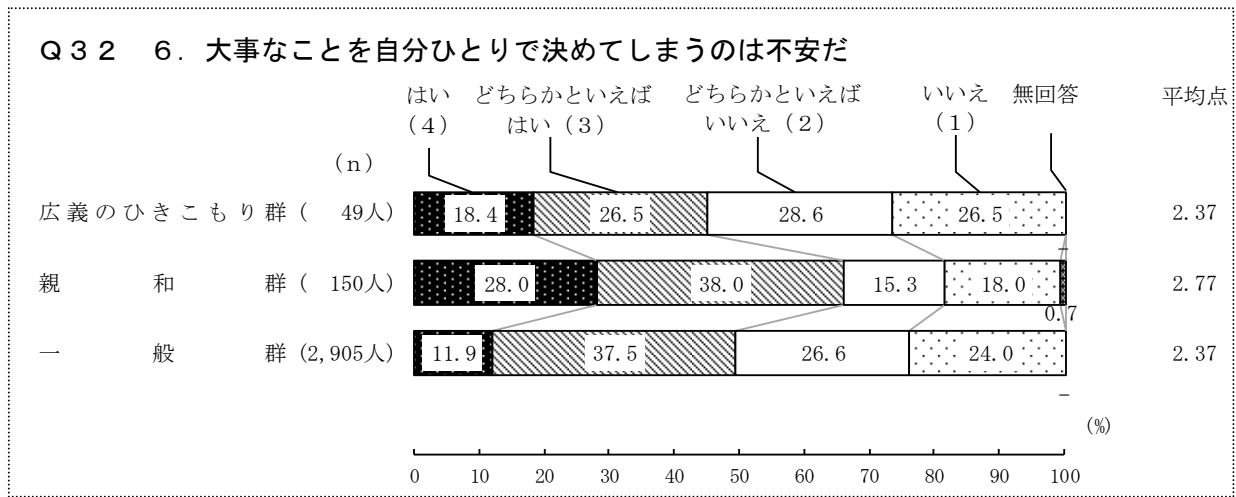
Q27 3. 大事なことを決めるときは、親や教師の言うことに従わないと不安だ



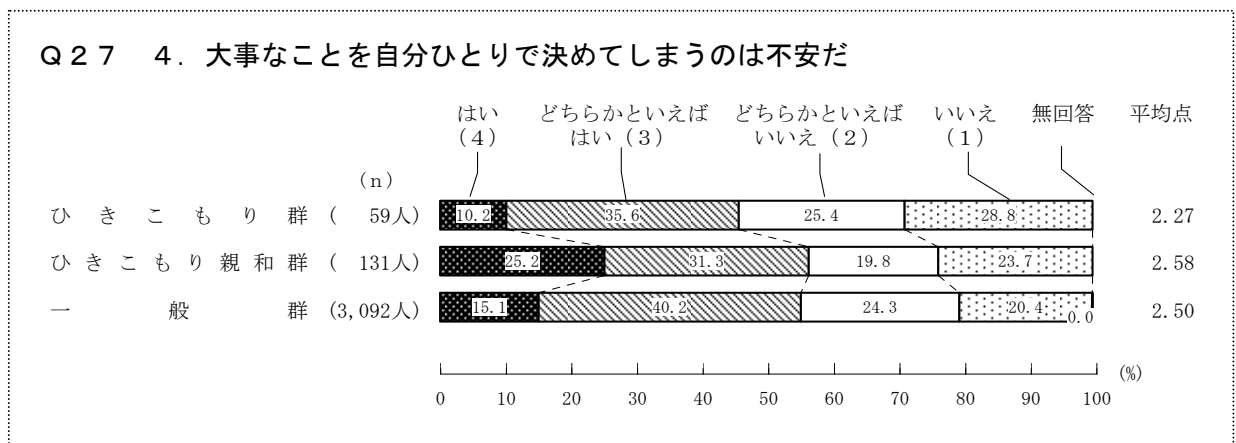
【本人票】



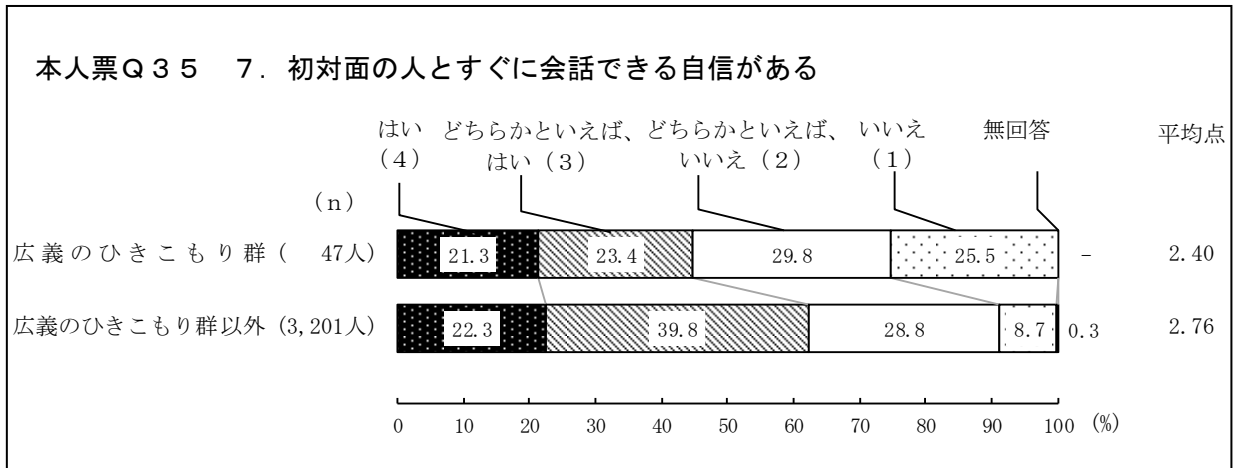
参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査

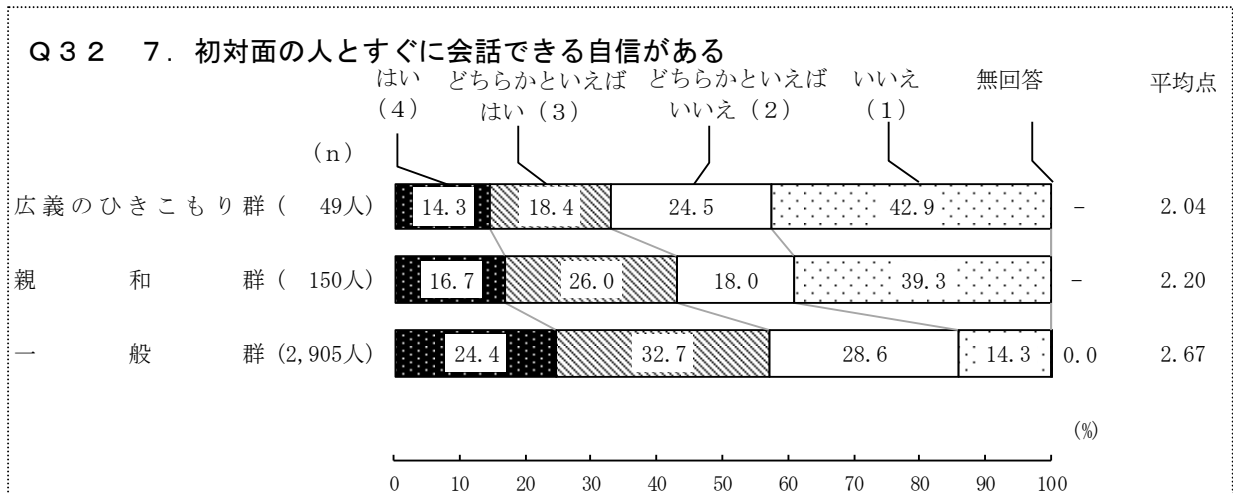


【本人票】

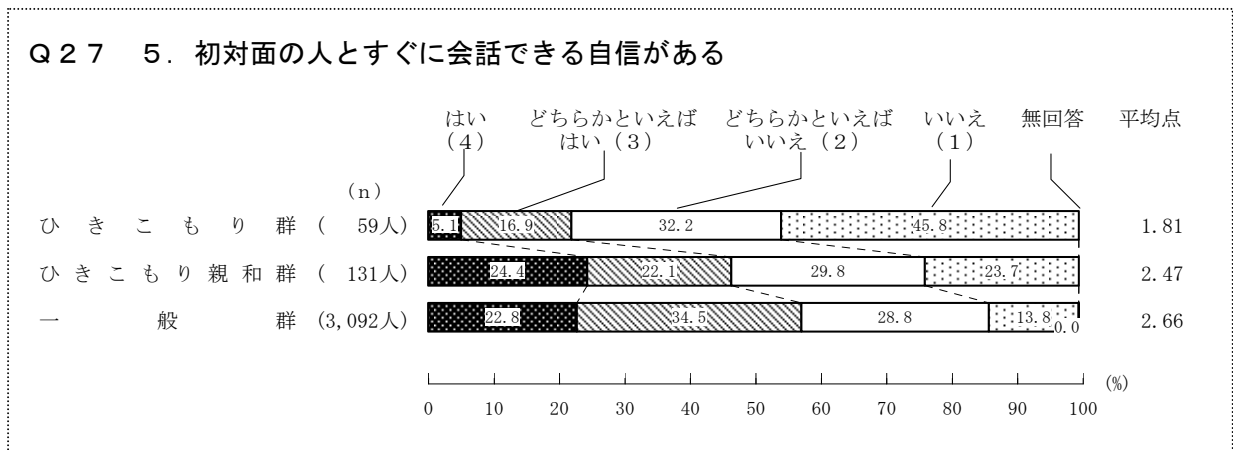


『初対面の人とすぐに会話できる自信がある』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）44.7%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）55.3%、広義のひきこもり群以外では、『はい』62.1%、『いいえ』37.6%となっている。

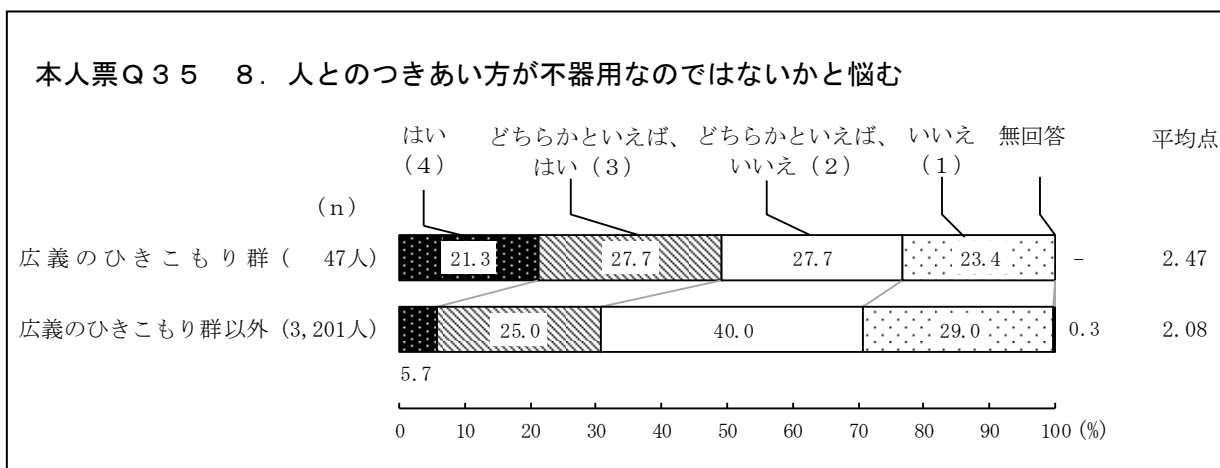
参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査

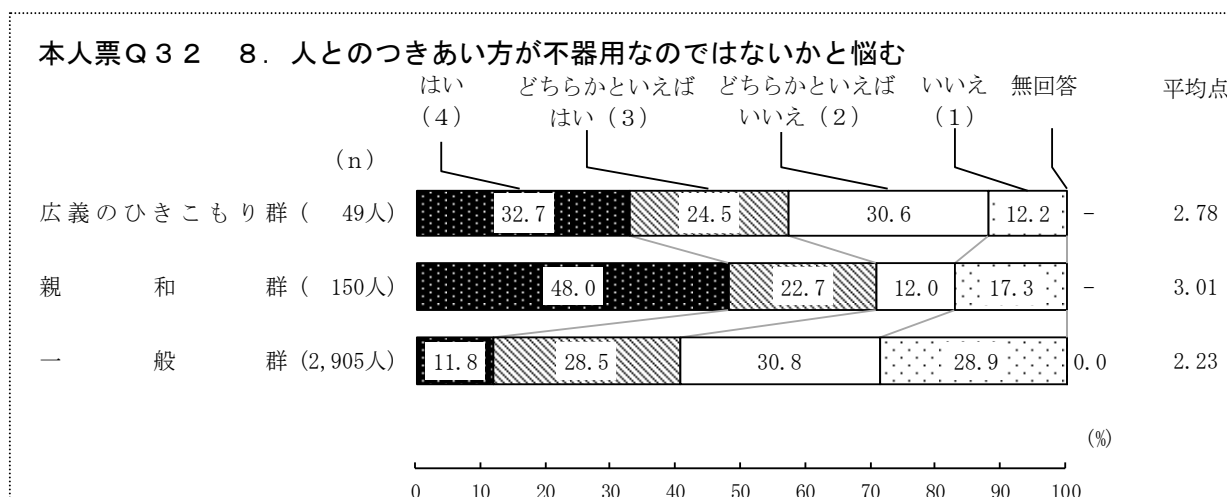


【本人票】

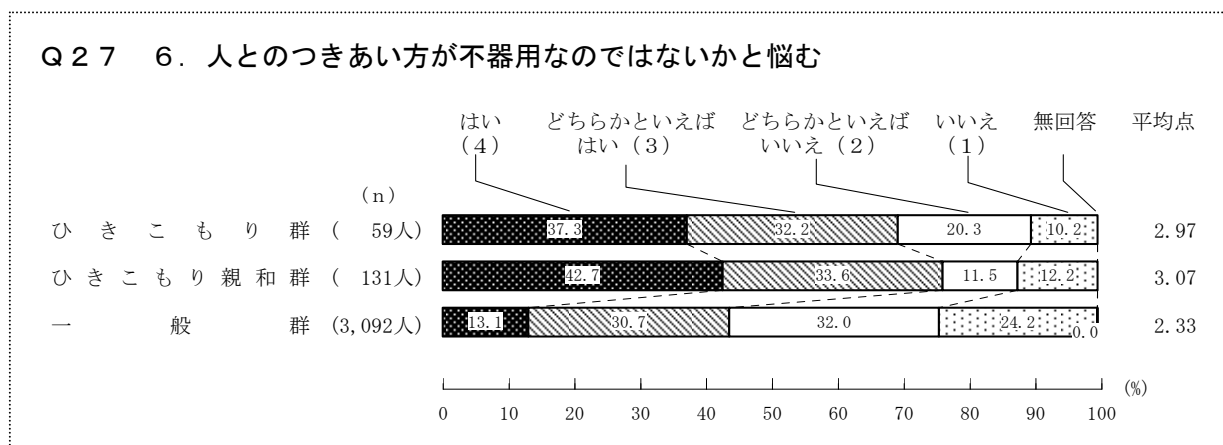


『人とのつきあい方が不器用なのではないかと悩む』について聞いたところ、広義のひきこもり群では『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）48.9%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）51.1%、広義のひきこもり群以外では、『はい』30.7%、『いいえ』69.0%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査

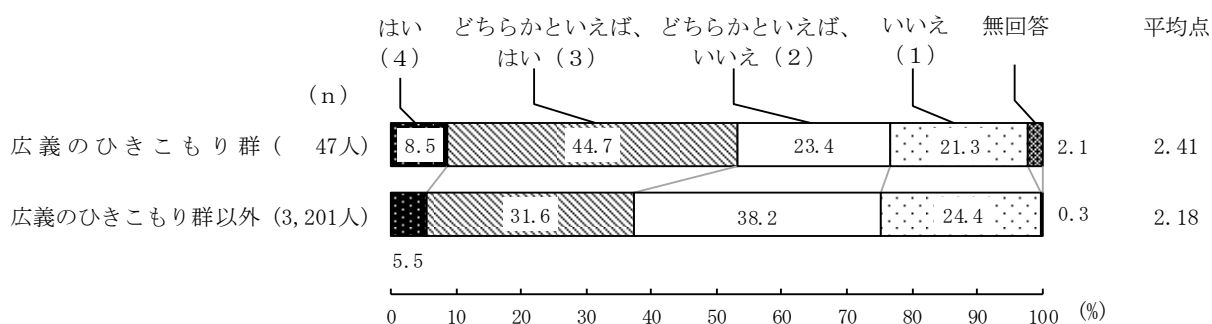


参考：前々回（平成21年度）調査



【本人票】

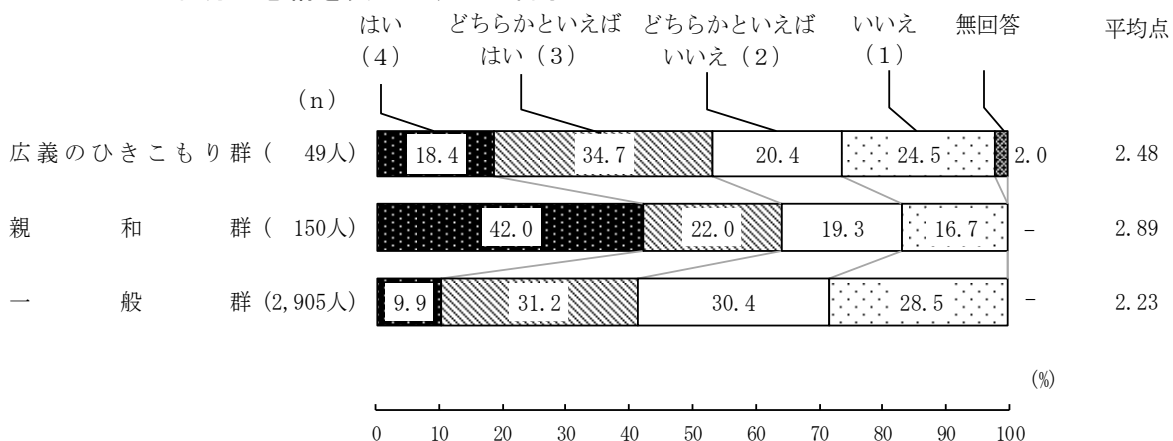
本人票Q35 9. 自分の感情を表に出すのが苦手だ



『自分の感情を表に出すのが苦手だ』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）53.2%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）44.7%、広義のひきこもり群以外では、『はい』37.1%、『いいえ』62.6%となっている。

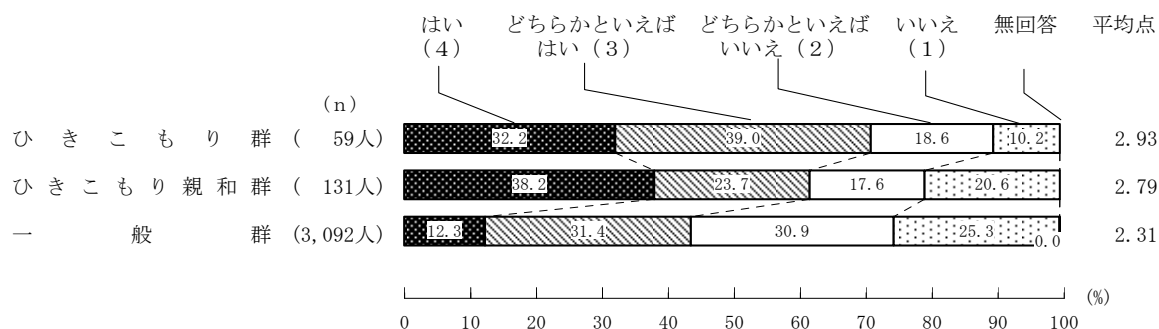
参考：前回（平成27年度）調査

Q32 9. 自分の感情を表に出すのが苦手だ



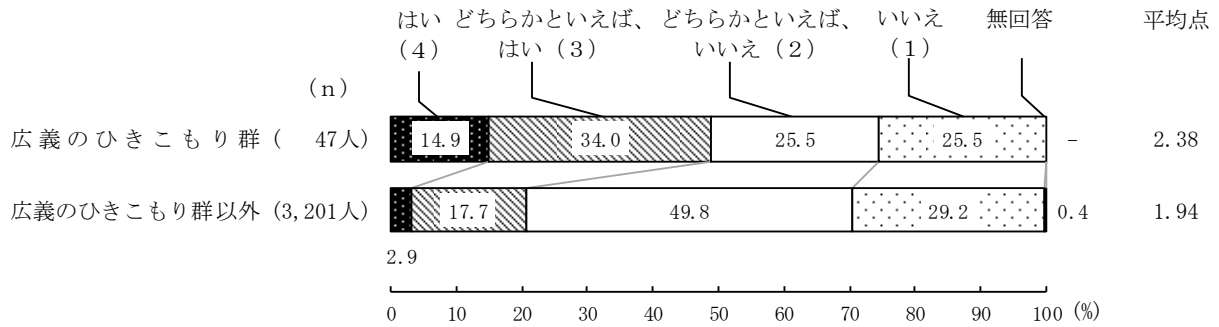
参考：前々回（平成21年度）調査

Q27 7. 自分の感情を表に出すのが苦手だ



【本人票】

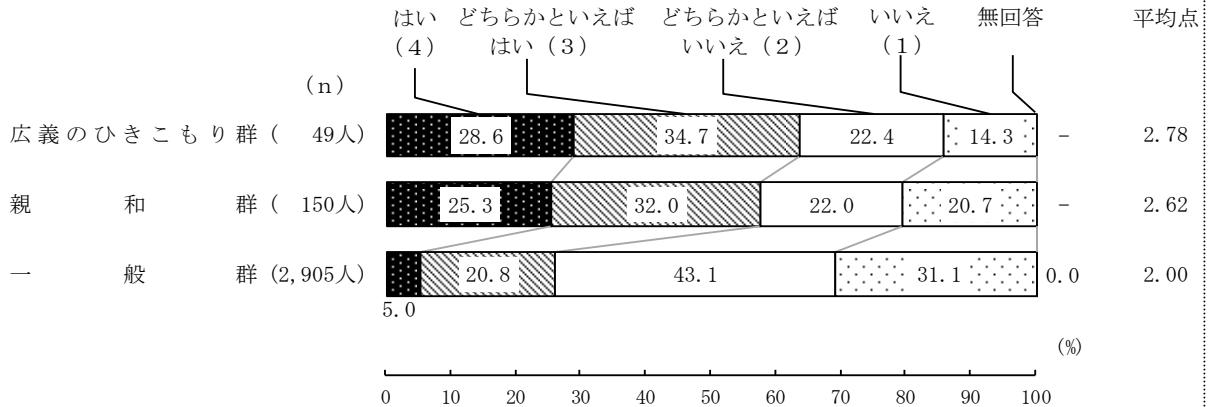
本人票Q35 10. 周りの人ともめごとが起こったとき、どうやって解決したらいいかわからない



『周りの人ともめごとが起こったとき、どうやって解決したらいいかわからない』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）48.9%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）51.1%、広義のひきこもり群以外では、『はい』20.6%、『いいえ』79.0%となっている。

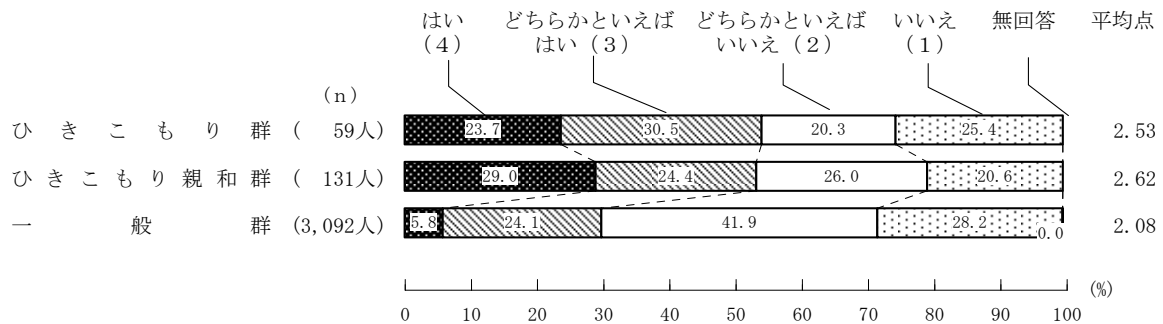
参考：前回（平成27年度）調査

Q32 10. 周りの人ともめごとが起こったとき、どうやって解決したらいいかわからない

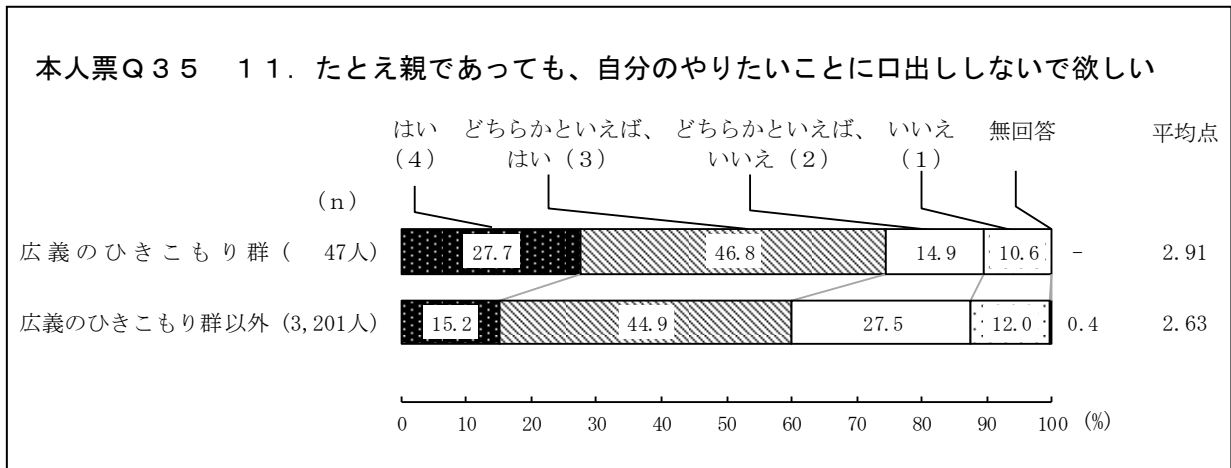


参考：前々回（平成21年度）調査

Q27 8. 周りの人ともめごとが起こったとき、どうやって解決したらいいかわからない

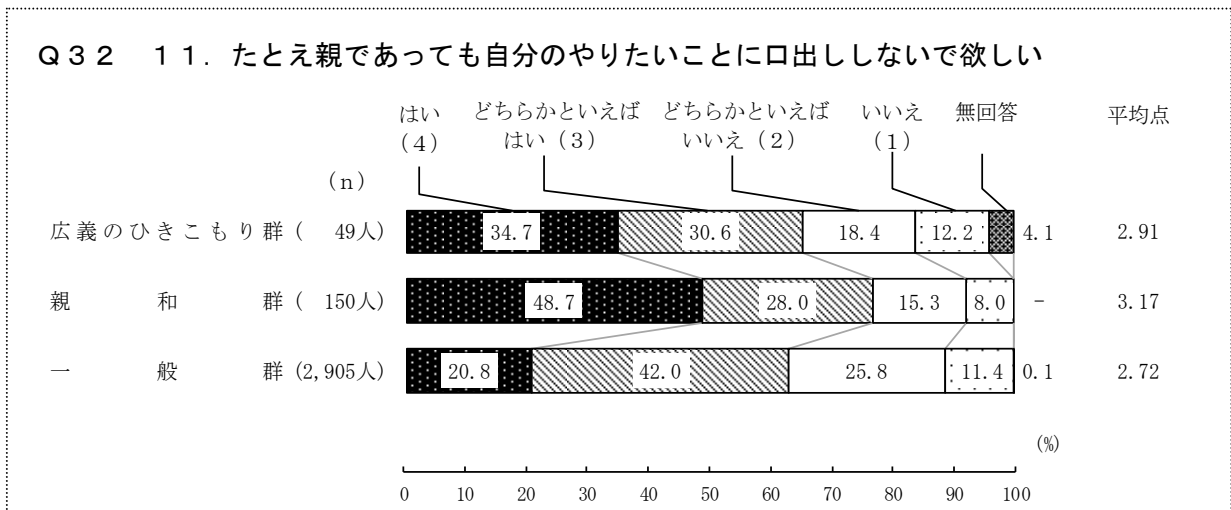


【本人票】

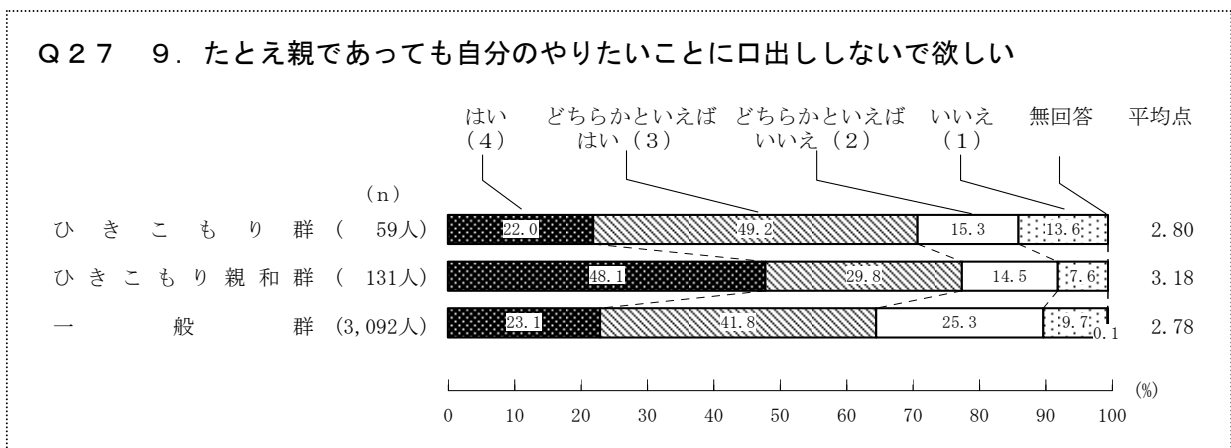


『たとえ親であっても、自分のやりたいことに口出ししないで欲しい』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）74.5%、広義のひきこもり群以外では、『はい』60.1%となっている。

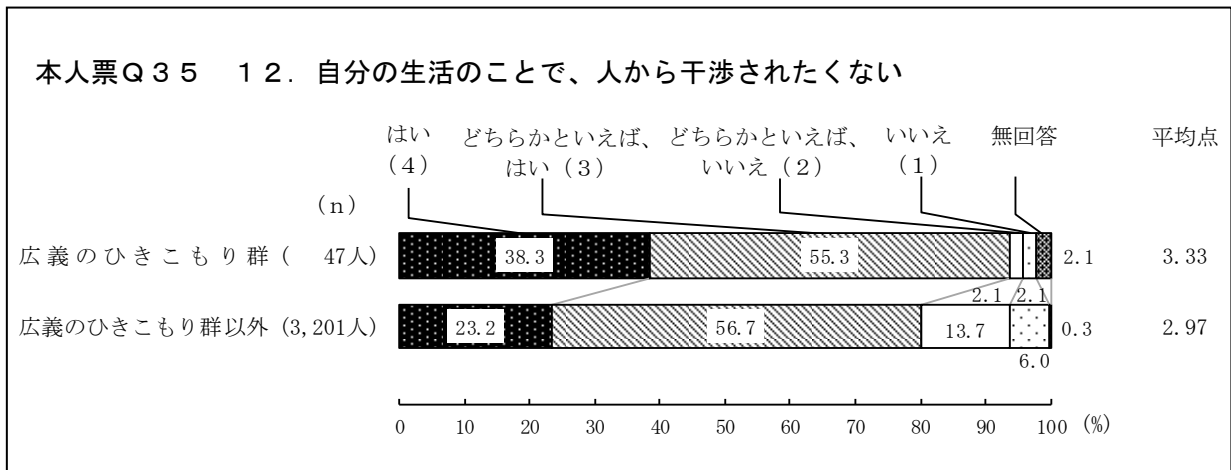
参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査

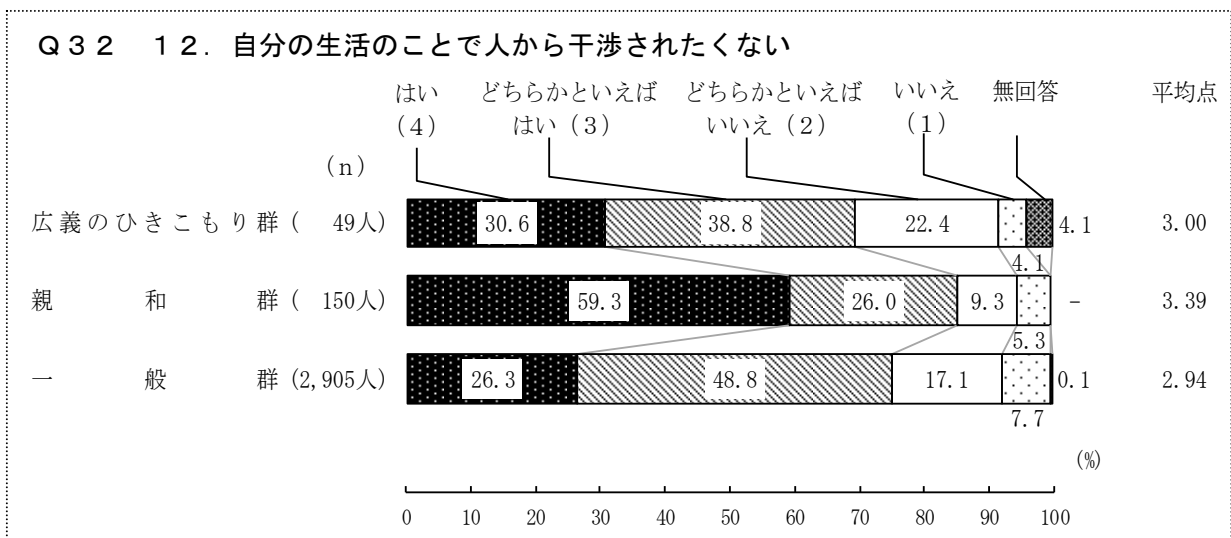


【本人票】

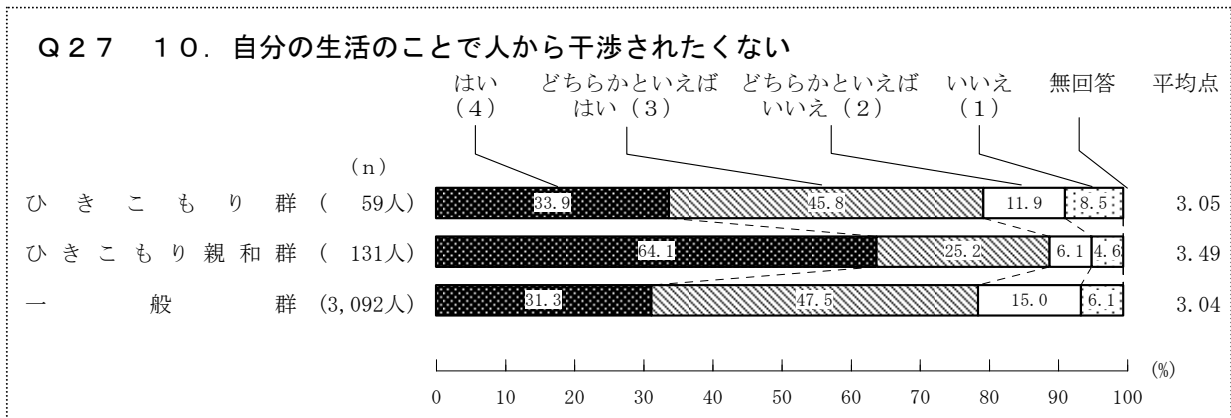


『自分の生活のことで、人から干渉されたくない』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）93.6%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）4.3%、広義のひきこもり群以外では、『はい』79.9%、『いいえ』19.7%となっている。

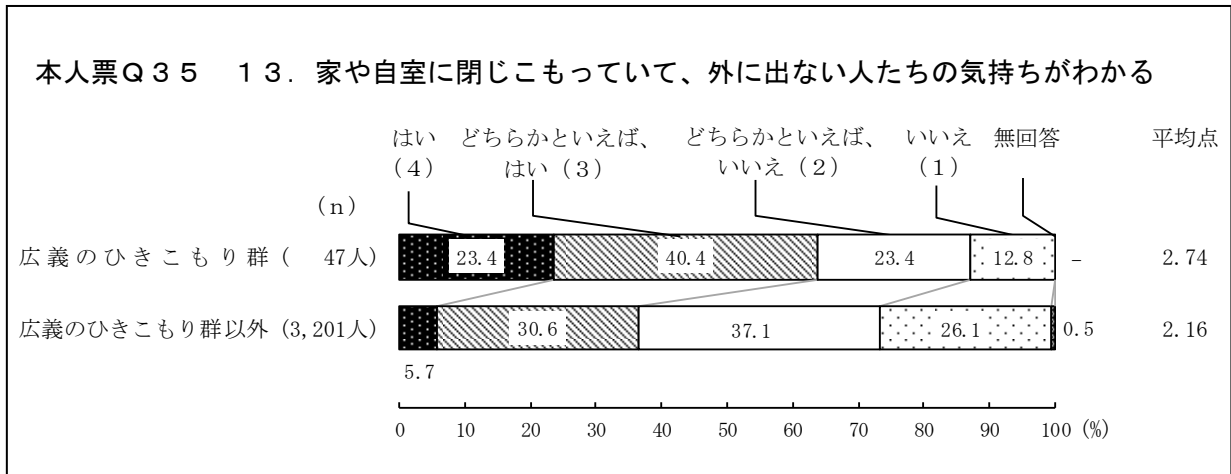
参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査

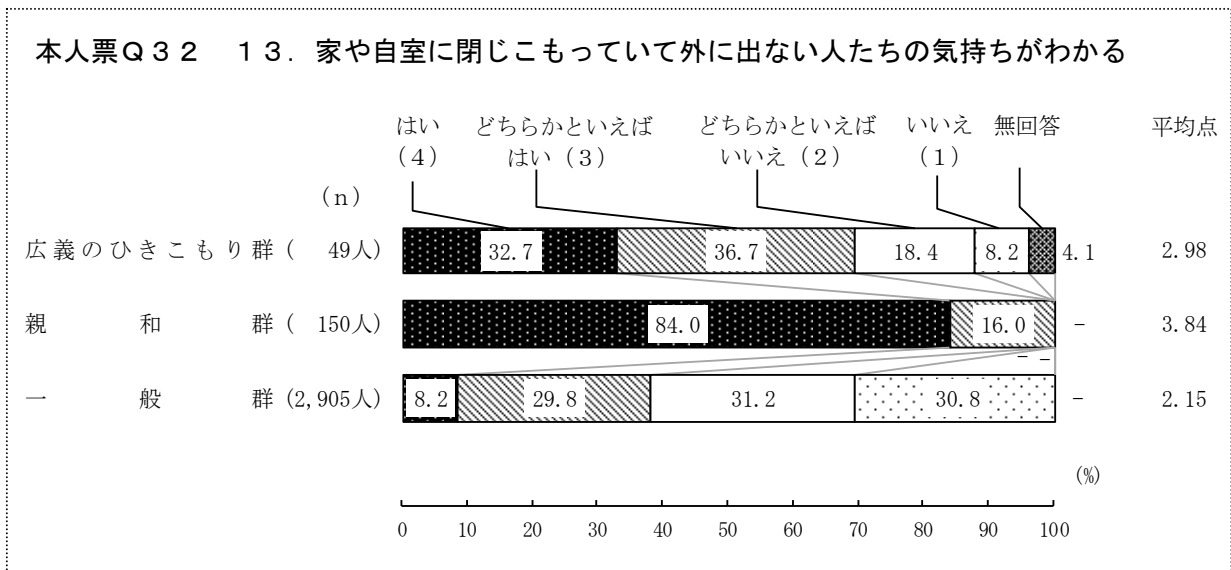


【本人票】

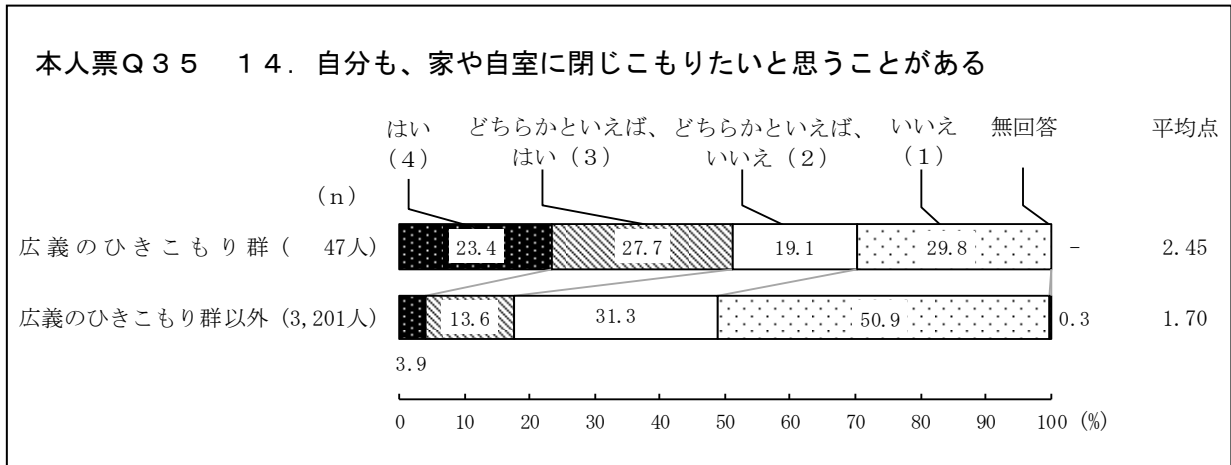


『家や自室に閉じこもっていて、外に出ない人たちの気持ちがわかる』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）63.8%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）36.2%、広義のひきこもり群以外では、『はい』36.3%、『いいえ』63.2%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査

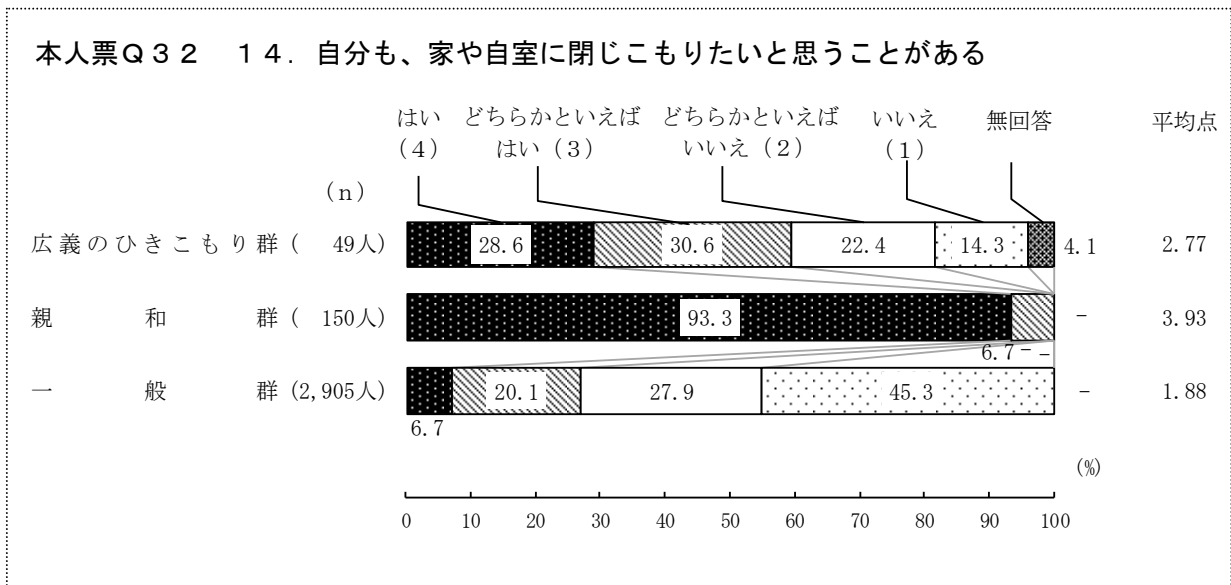


【本人票】

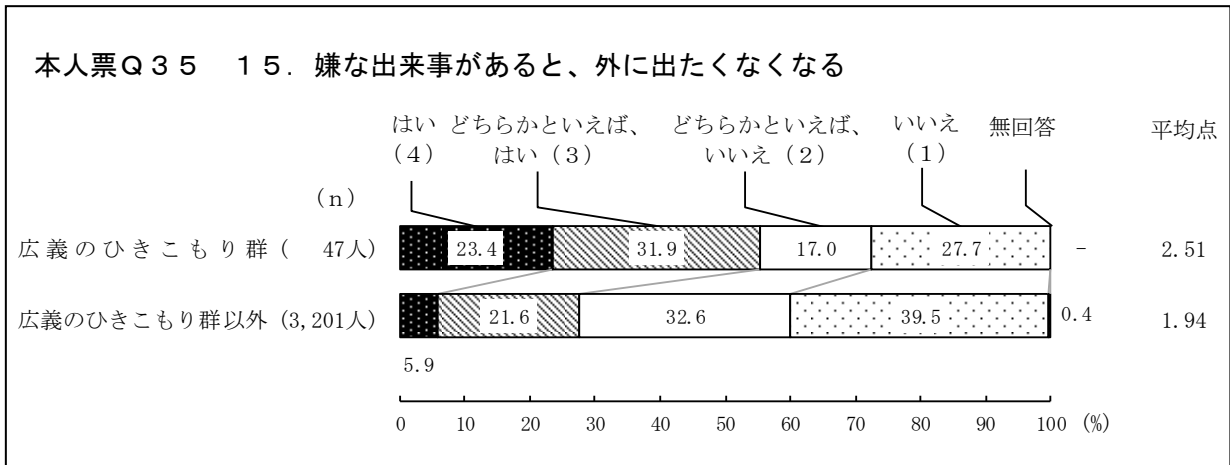


『自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）51.1%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）48.9%、広義のひきこもり群以外では、『はい』17.5%、『いいえ』82.2%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査

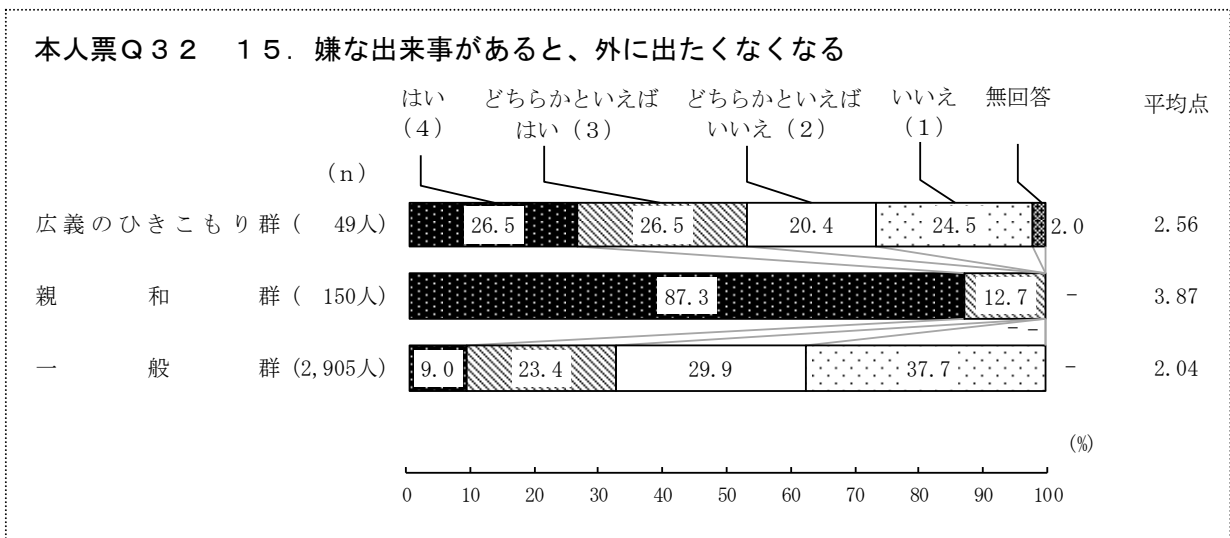


【本人票】



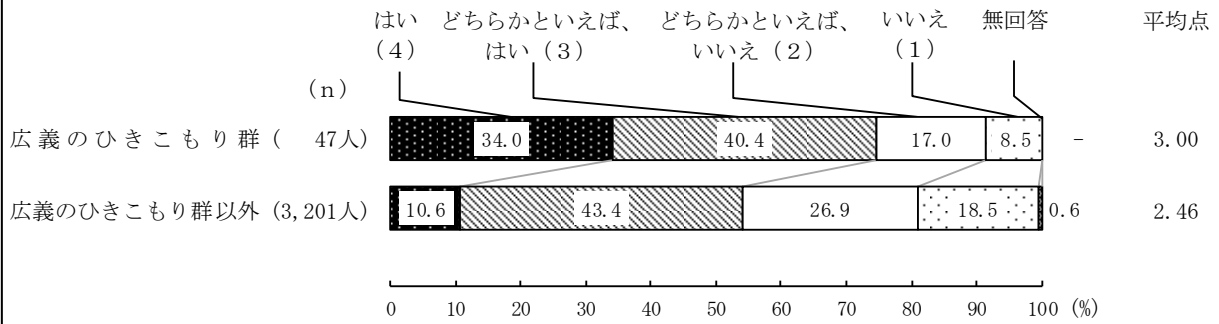
『嫌な出来事があると、外に出たくなる』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）55.3%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）44.7%、広義のひきこもり群以外では、『はい』27.6%、『いいえ』72.1%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査



【本人票】

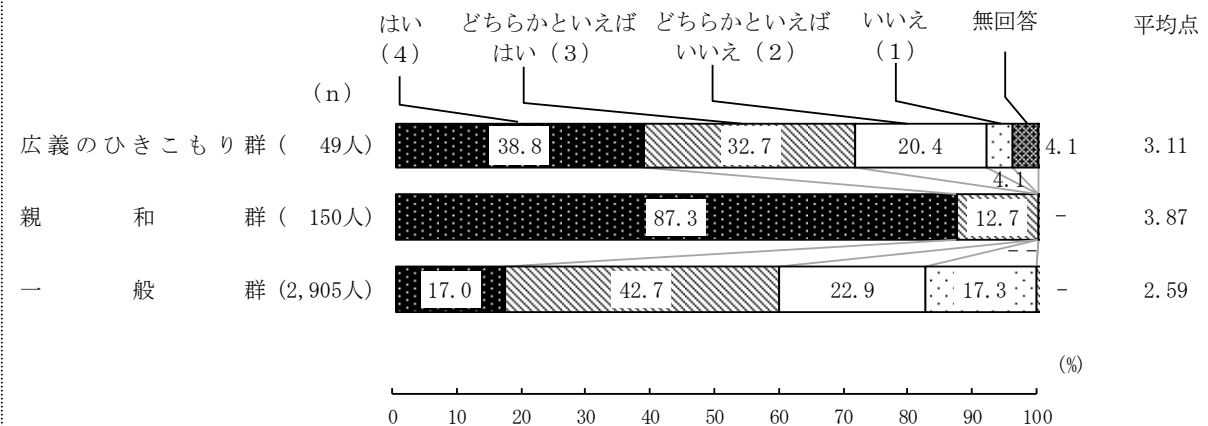
本人票Q35 16. 理由があるなら、家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う



『理由があるなら、家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）74.5%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）25.5%、広義のひきこもり群以外では、『はい』54.0%、『いいえ』45.4%となっている。

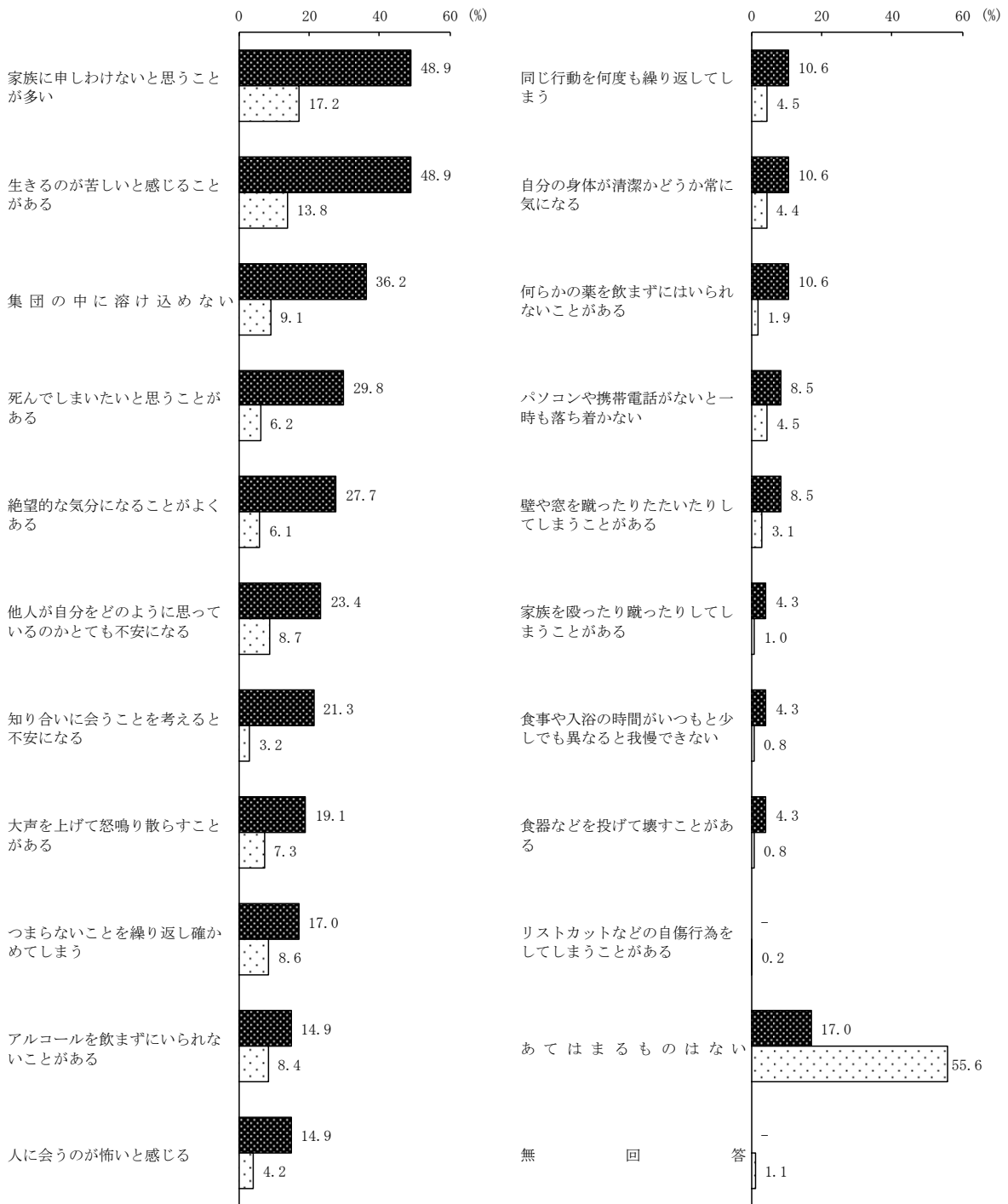
参考：前回（平成27年度）調査

本人票Q32 16. 理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う



36 【本人票】不安要素についてあてはまること

本人票Q36 次に挙げられたことの中で、あなた自身にあてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)



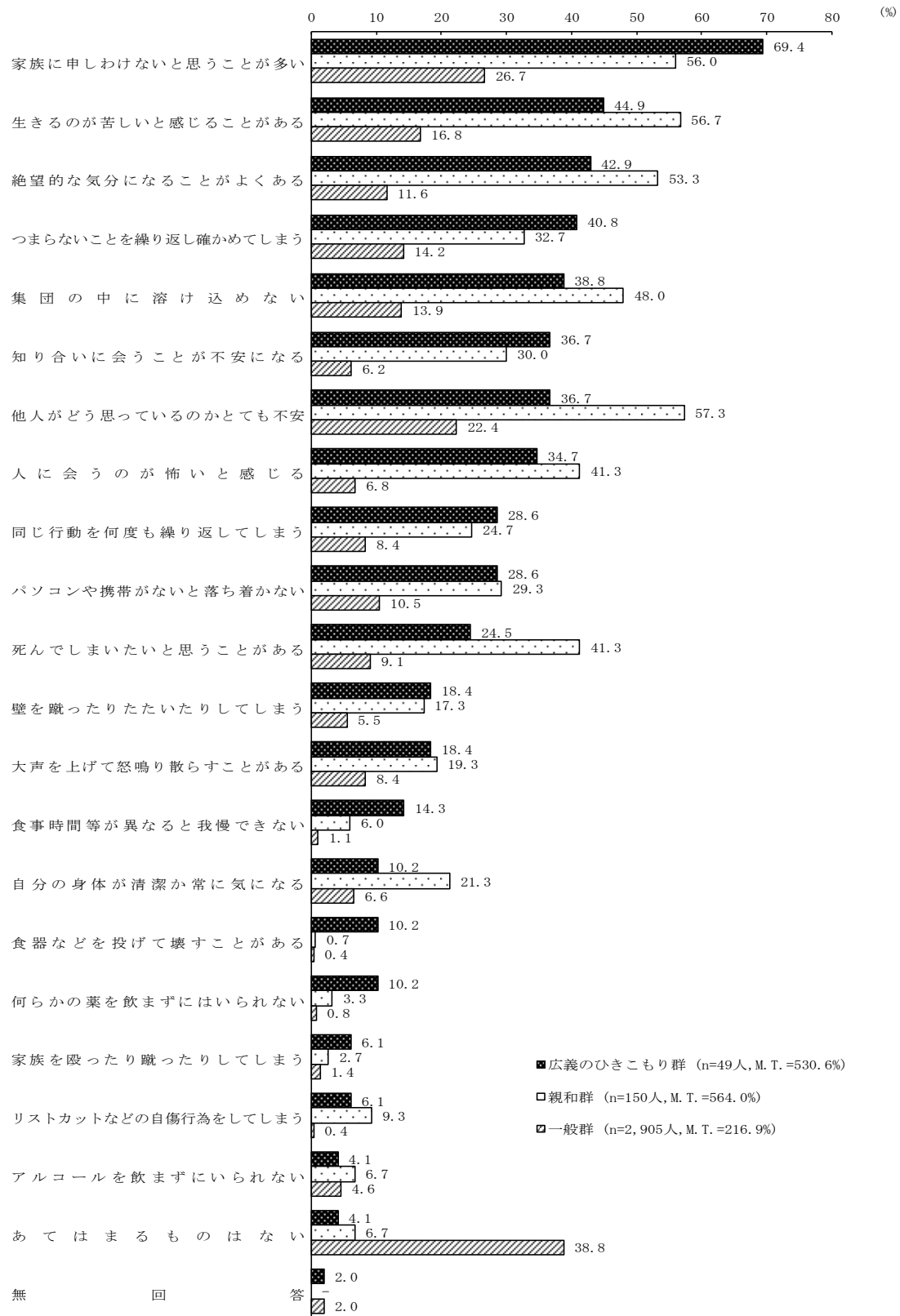
■ 廣義のひきこもり群 (n=47人, M.T.=380.9%)

□ 廣義のひきこもり群以外 (n=3,201人, M.T.=170.5%)

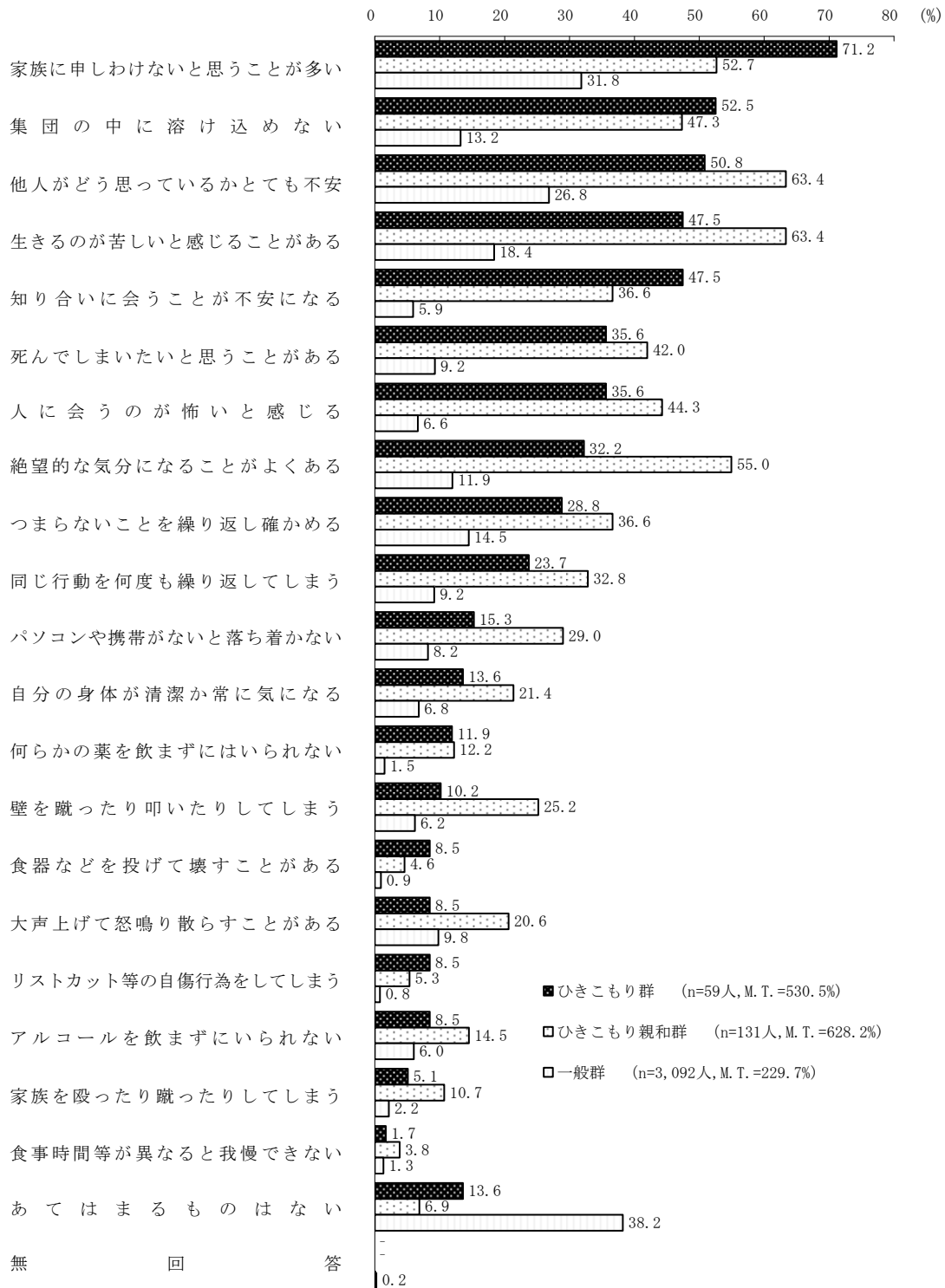
不安などの項目であてはまるものを聞いたところ、「家族に申しわけないと思うことが多い」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で48.9%、広義のひきこもり群以外で17.2%、「生きるのが苦しいと感じることがある」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で48.9%、広義のひきこもり群以外で13.8%、「集団の中に溶け込めない」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で36.2%、広義のひきこもり群以外で9.1%、「死んでしまいたいと思うことがある」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で29.8%、広義のひきこもり群以外で6.2%、「絶望的な気分になることがよくある」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で27.7%、広義のひきこもり群以外で6.1%、「他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で23.4%、広義のひきこもり群以外で8.7%、「知り合いに会うことを考えると不安になる」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で21.3%、広義のひきこもり群以外で3.2%、「大声を上げて怒鳴り散らすことがある」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で19.1%、広義のひきこもり群以外で7.3%、「つまらないことを繰り返し確かめてしまう」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で17.0%、広義のひきこもり群以外で8.6%、「人に会うのが怖いと感じる」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で14.9%、広義のひきこもり群以外で4.2%、「同じ行動を何度も繰り返ししてしまう」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で10.6%、広義のひきこもり群以外で4.5%、「自分の身体が清潔かどうか常に気になる」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で10.6%、広義のひきこもり群以外で4.4%、「何らかの薬を飲まずにはいられないことがある」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で10.6%、広義のひきこもり群以外で1.9%、「壁や窓を蹴ったりたたいたりしてしまうことがある」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で8.5%、広義のひきこもり群以外で3.1%、「家族を殴ったり蹴ったりしてしまうことがある」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で4.3%、広義のひきこもり群以外で1.0%、「食事や入浴の時間がいつもと少しでも異なると我慢できない」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で4.3%、広義のひきこもり群以外で0.8%、「食器などを投げて壊すことがある」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で4.3%、広義のひきこもり群以外で0.8%となっている。

また、「あてはまるものはない」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で17.0%、広義のひきこもり群以外で55.6%となっている。

Q33 次にあげられたことの中で、あなた自身にあてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）



Q28 次にあげられたことの中で、あなた自身にあてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

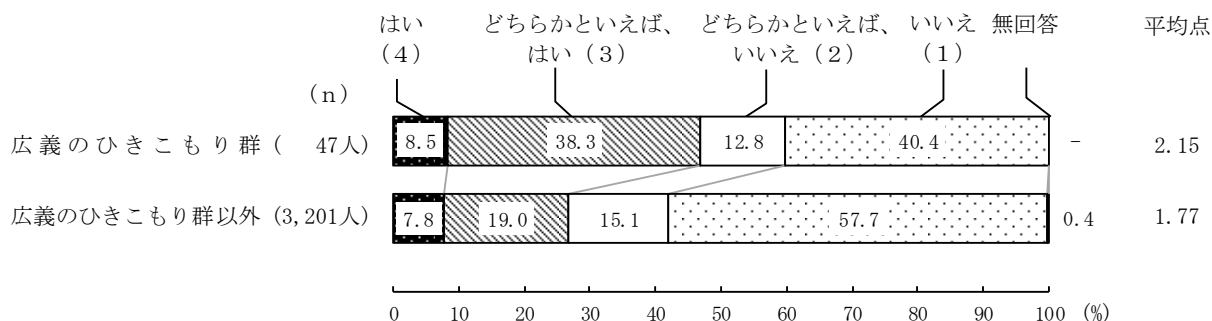


37 【本人票】ふだんの生活態度

あなた自身にあてはまるかどうか12項目について聞いた。

本人票Q37 次に挙げられたことについて、あなた自身にあてはまるものに○をつけてください。(○は各項目につき、ひとつ)

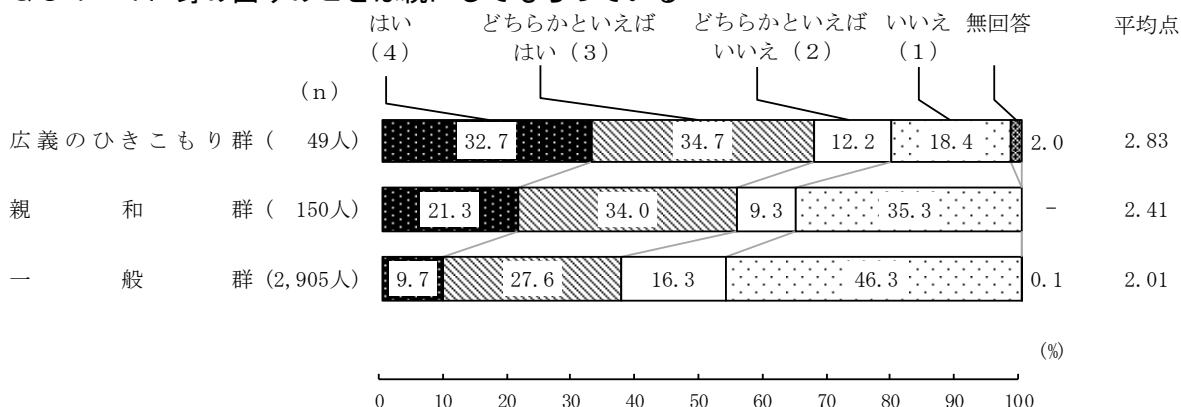
1. 身の回りのことは家族がしている



『身の回りのことは家族がしている』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（はい）+『どちらかといえば、はい』46.8%、『いいえ』（いいえ）+『どちらかといえば、いいえ』53.2%、広義のひきこもり群以外では、『はい』26.7%、『いいえ』72.8%となっている。

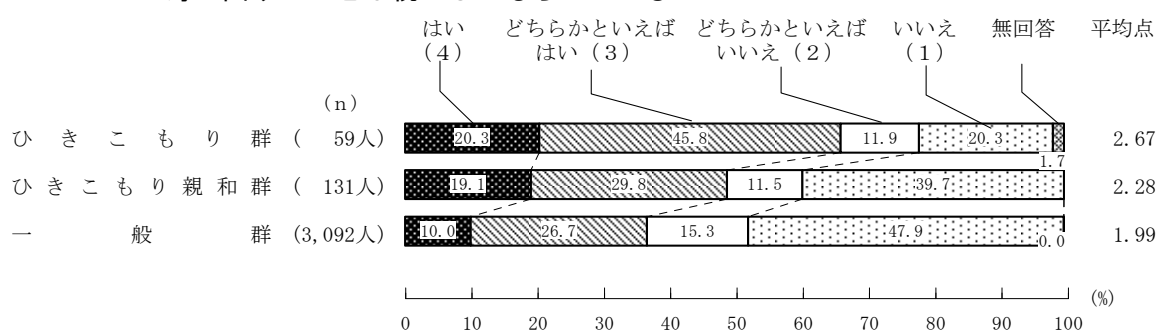
参考：前回（平成27年度）調査

Q34 1. 身の回りのことは親にしてもらっている



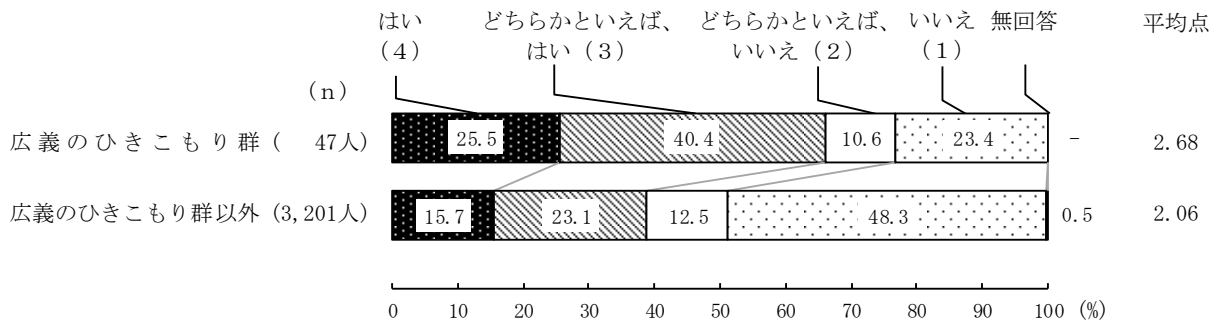
参考：前々回（平成21年度）調査

Q29 1. 身の回りのことは親にしてもらっている



【本人票】

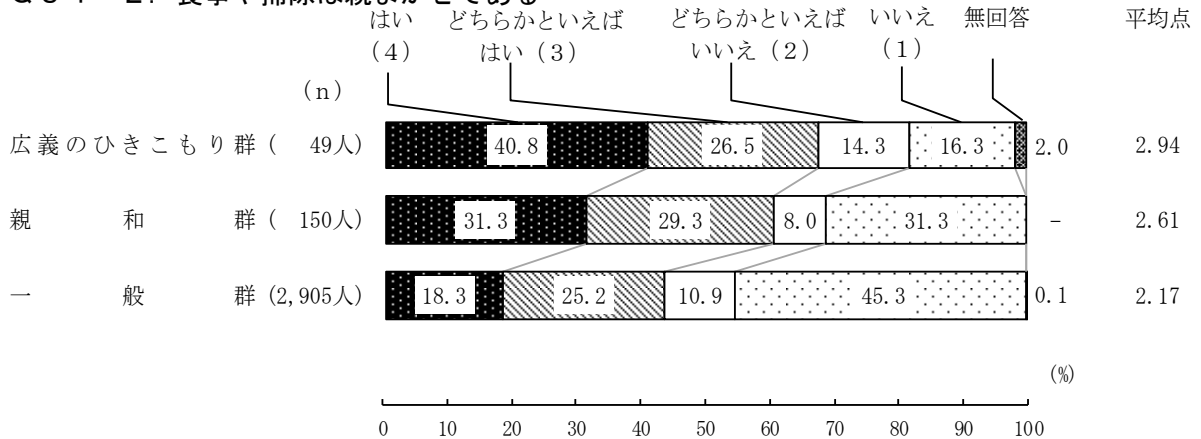
本人票Q37 2. 食事や掃除は家族がしている



『食事や掃除は家族がしている』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）66.0%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）34.0%、広義のひきこもり群以外では、『はい』38.7%、『いいえ』60.8%となっている。

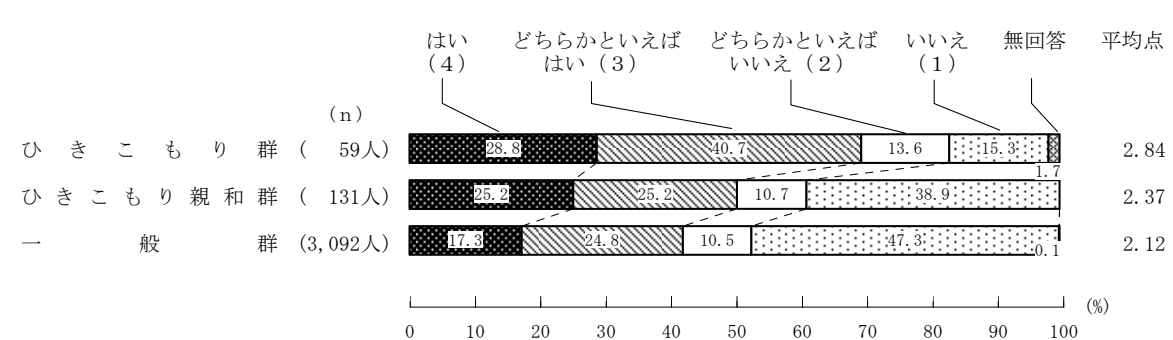
参考：前回（平成27年度）調査

Q34 2. 食事や掃除は親まかせである

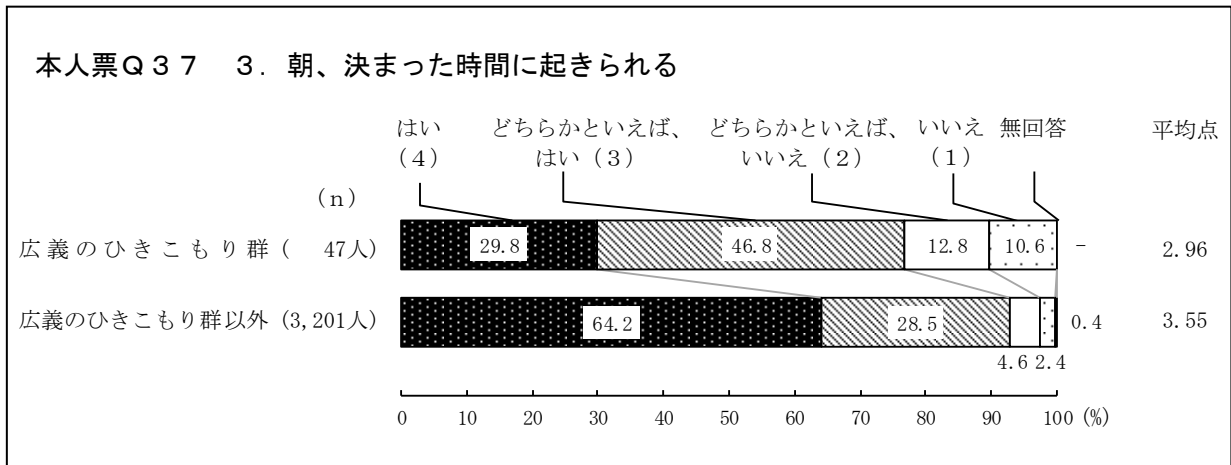


参考：前々回（平成21年度）調査

Q29 2. 食事や掃除は親まかせである

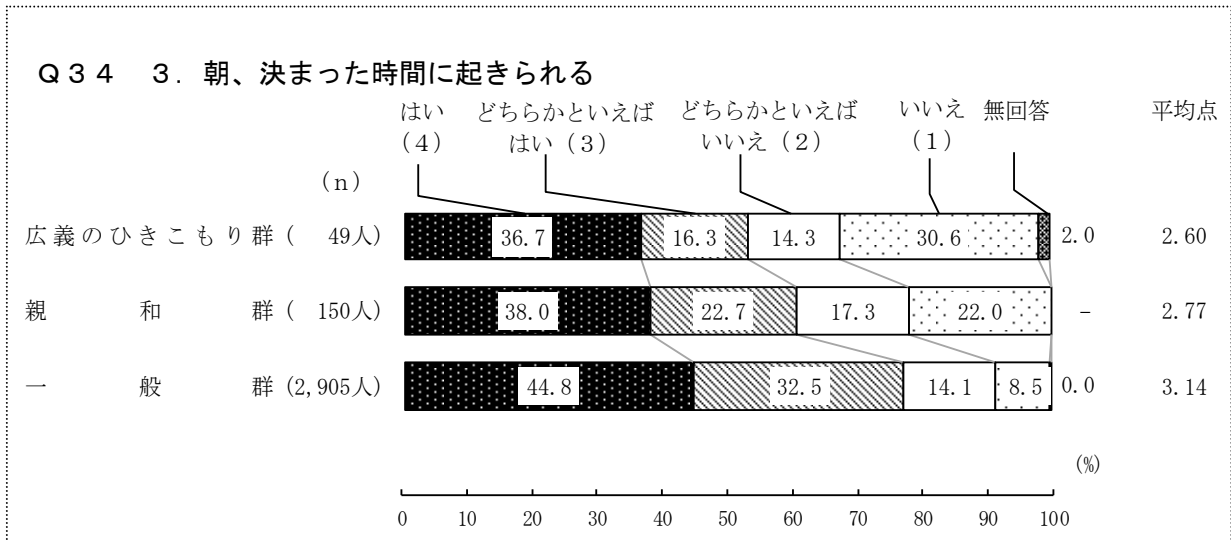


【本人票】

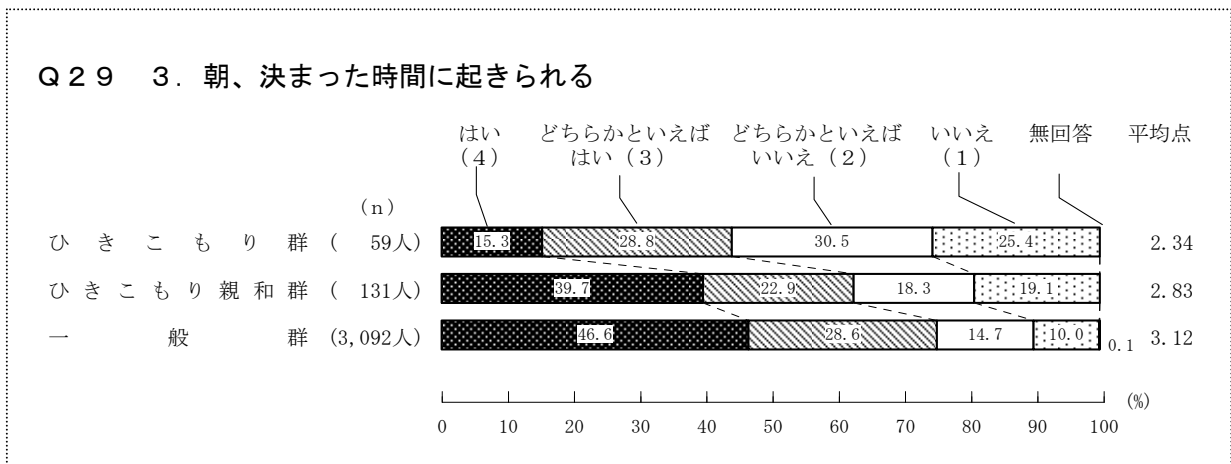


『朝、決まった時間に起きられる』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）76.6%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）23.4%、広義のひきこもり群以外では、『はい』92.6%、『いいえ』7.0%となっている。

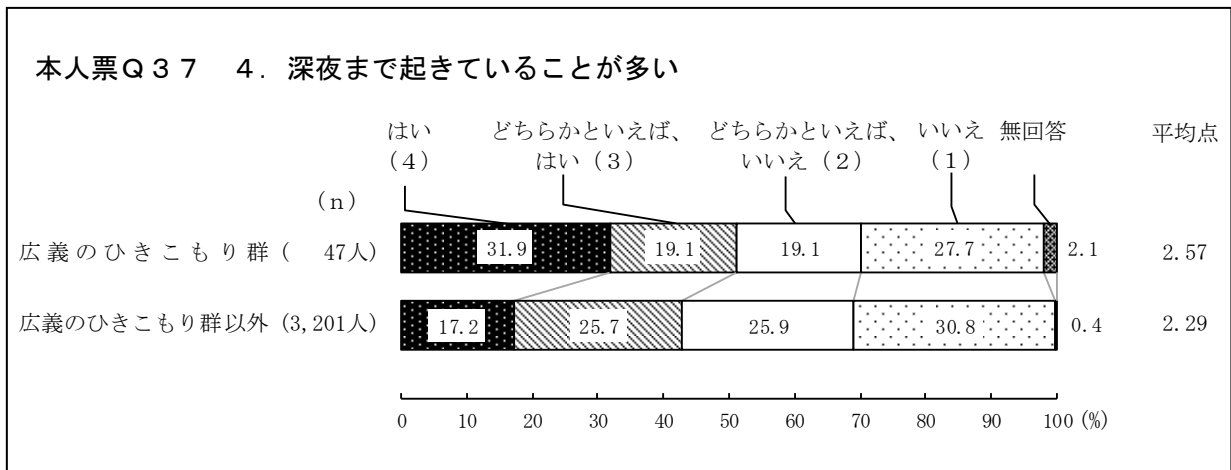
参考：前回（平成27年度）調査



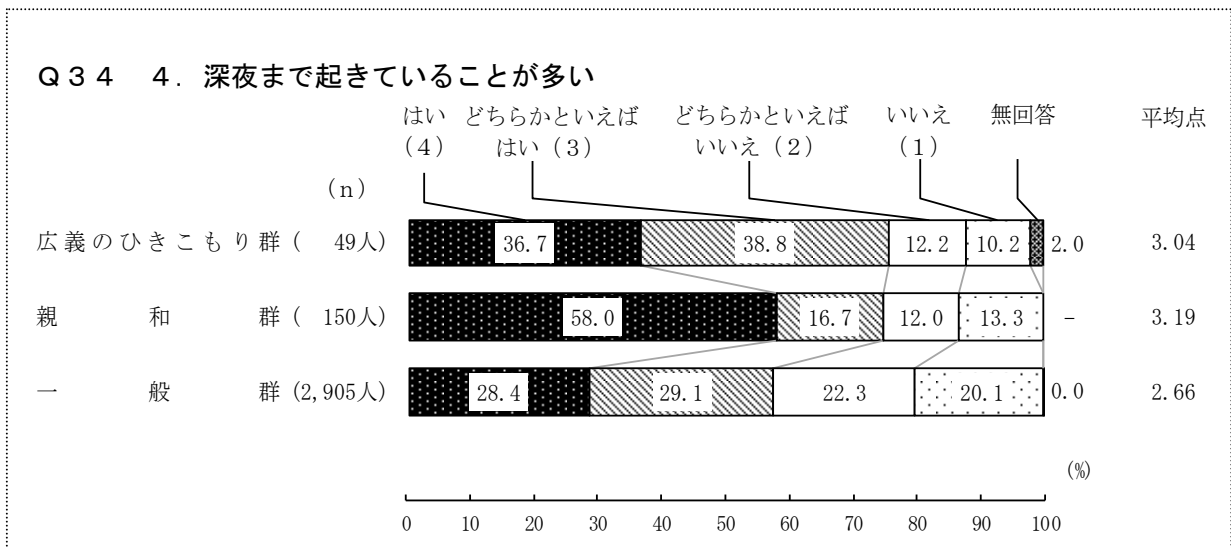
参考：前々回（平成21年度）調査



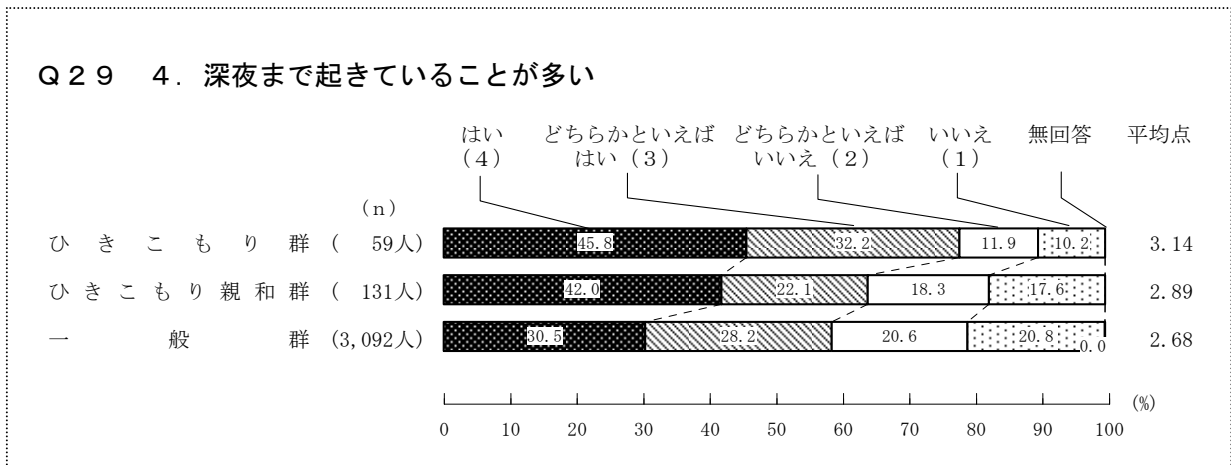
【本人票】



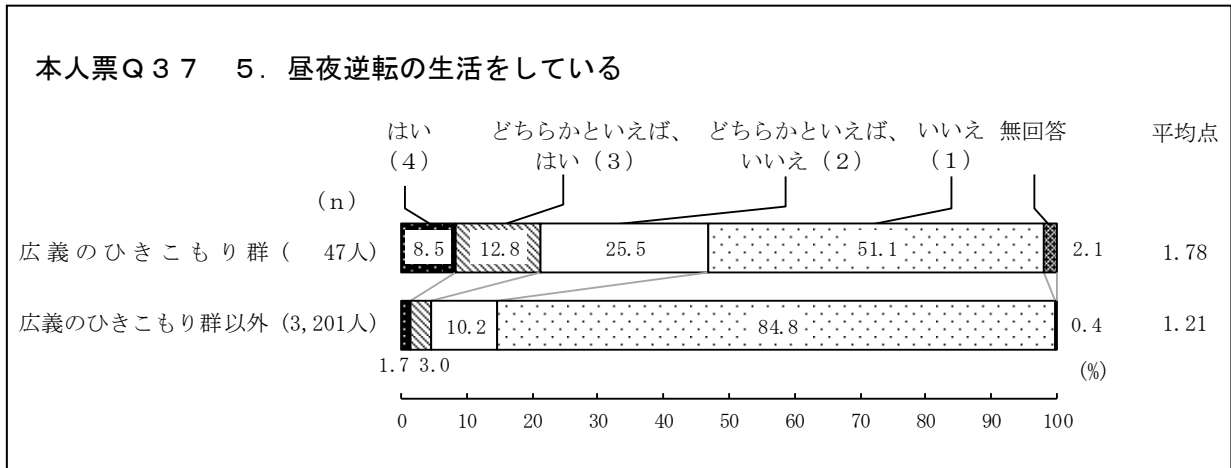
参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査

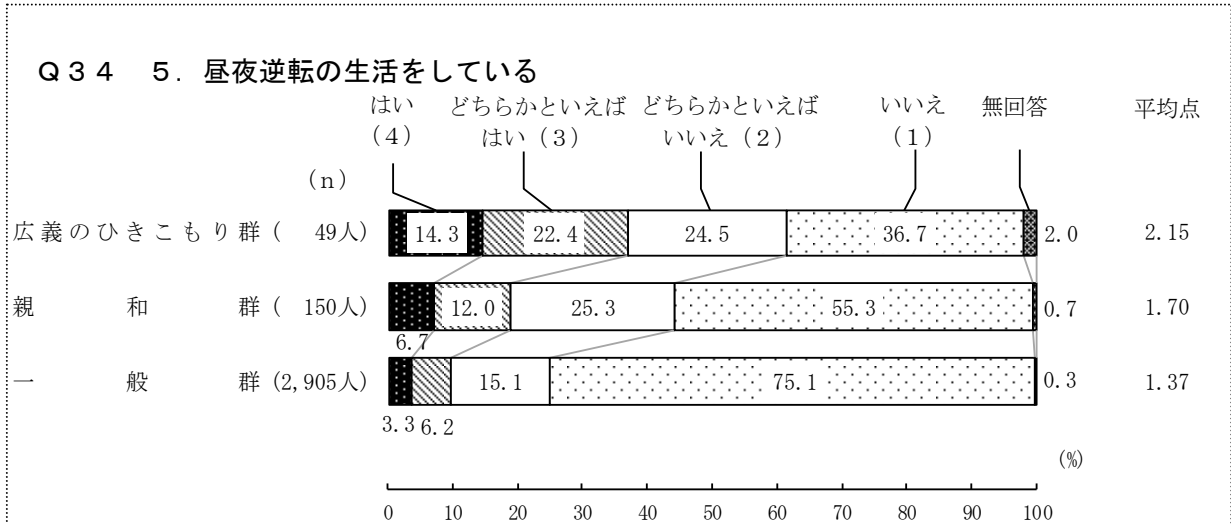


【本人票】

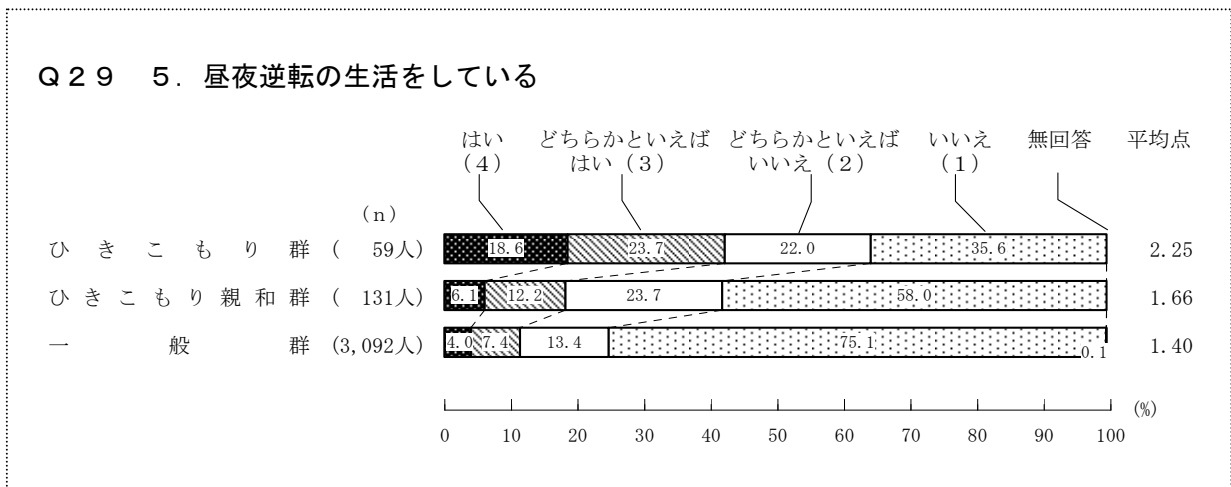


『昼夜逆転の生活をしている』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）21.3%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）76.6%、広義のひきこもり群以外では、『はい』4.7%、『いいえ』94.9%となっている。

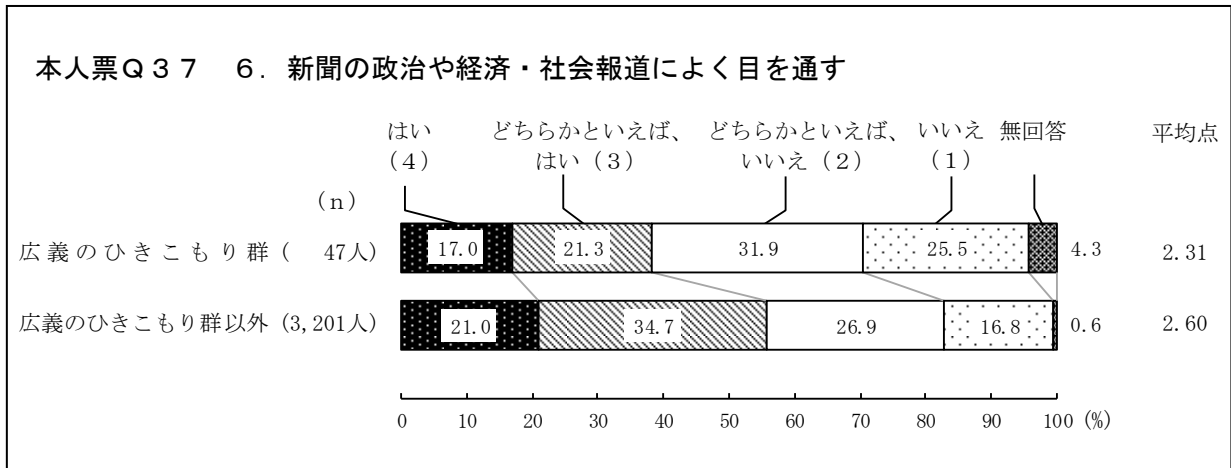
参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査

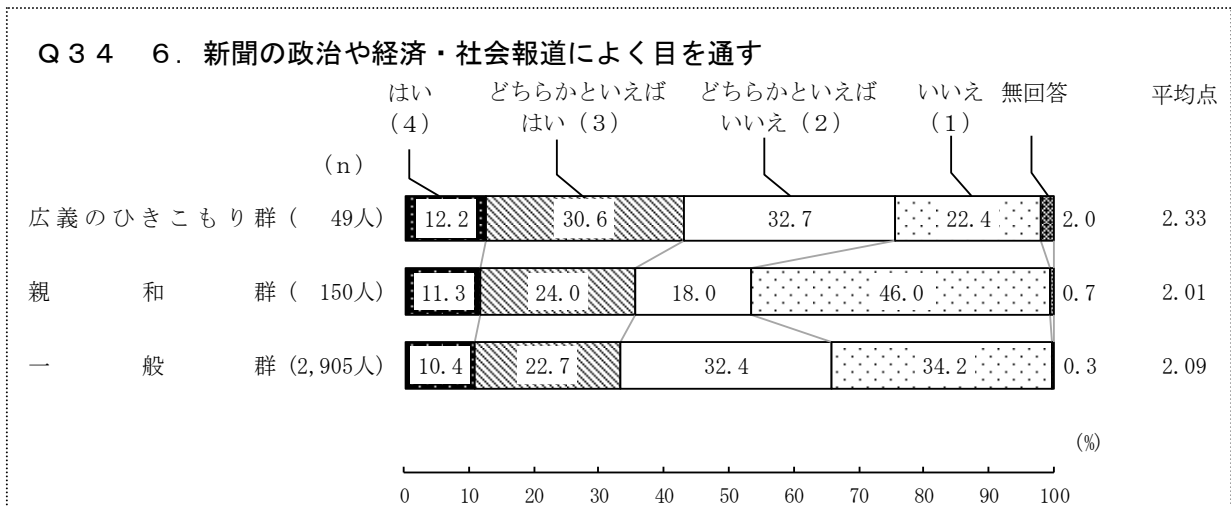


【本人票】

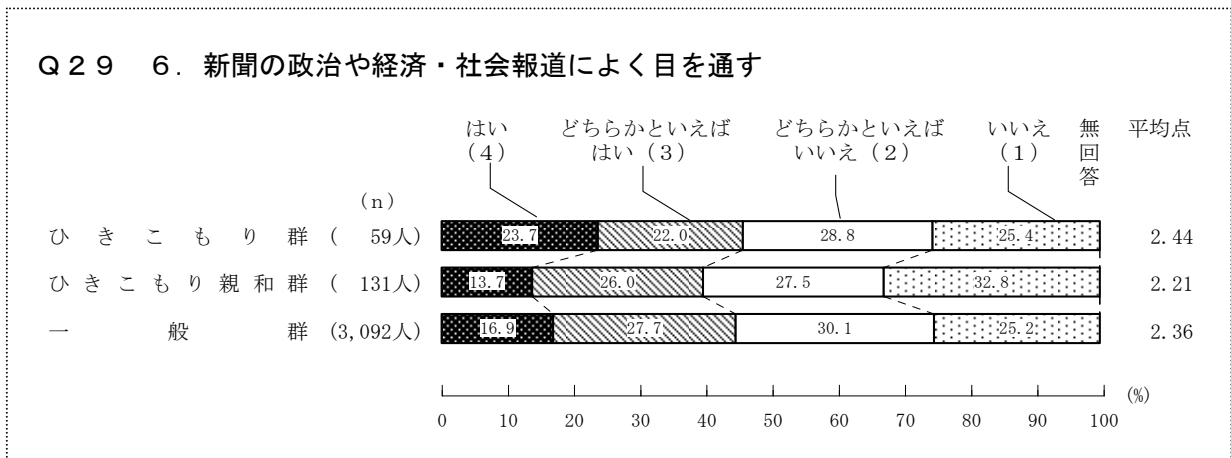


『新聞の政治や経済・社会報道によく目を通す』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）38.3%、広義のひきこもり群以外では、『はい』55.7%となっている。

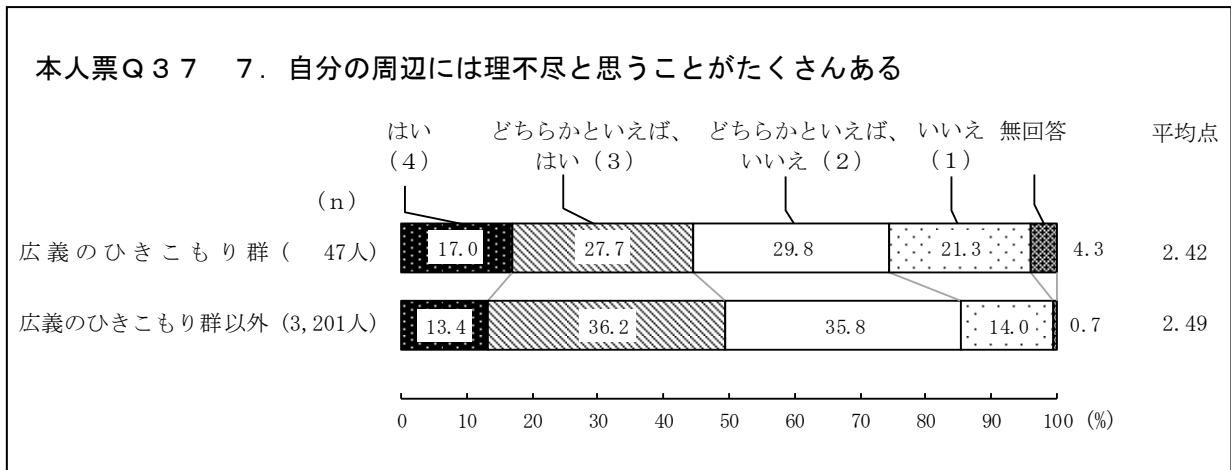
参考：前回（平成27年度）調査



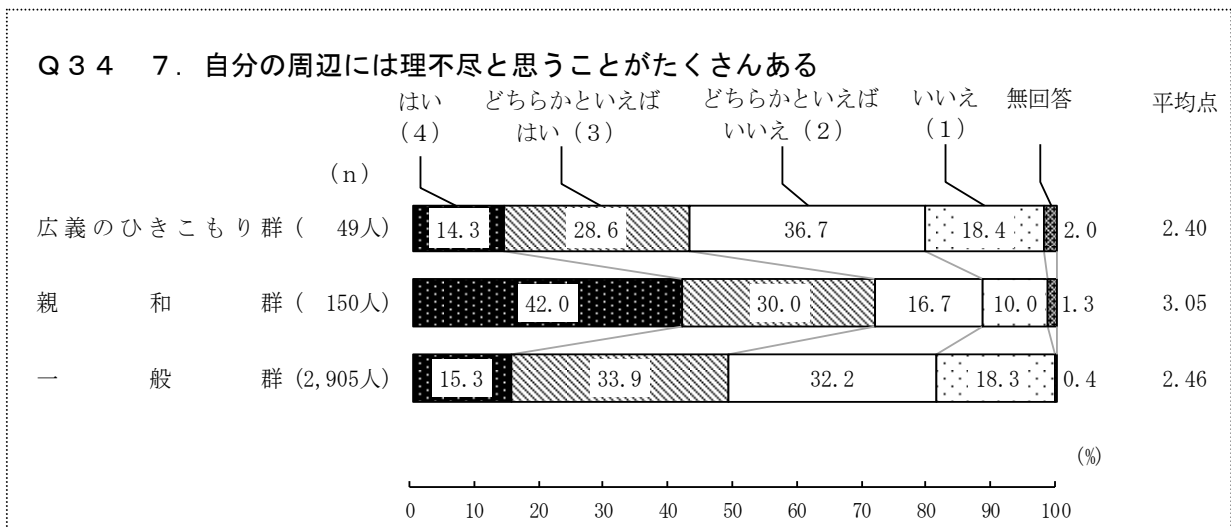
参考：前々回（平成21年度）調査



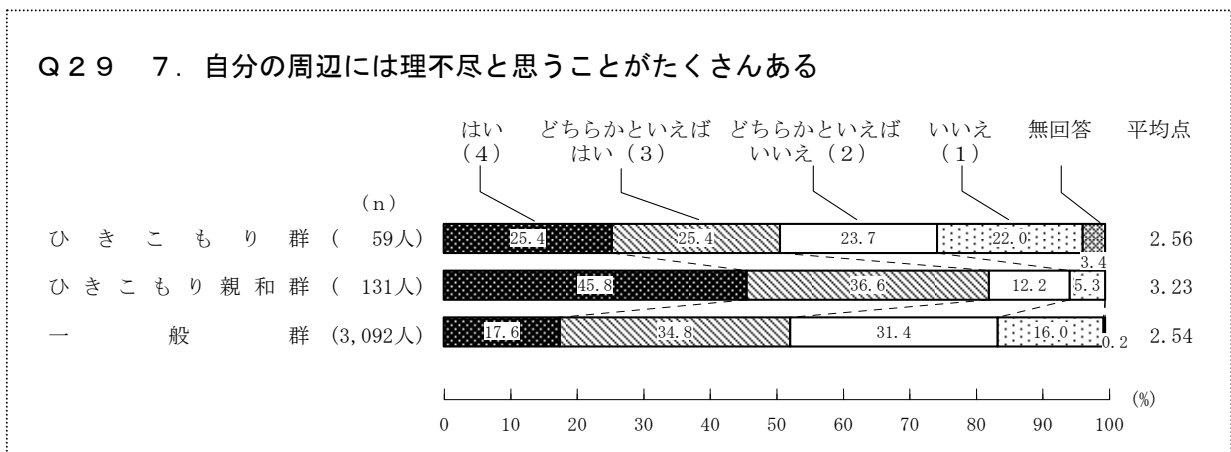
【本人票】



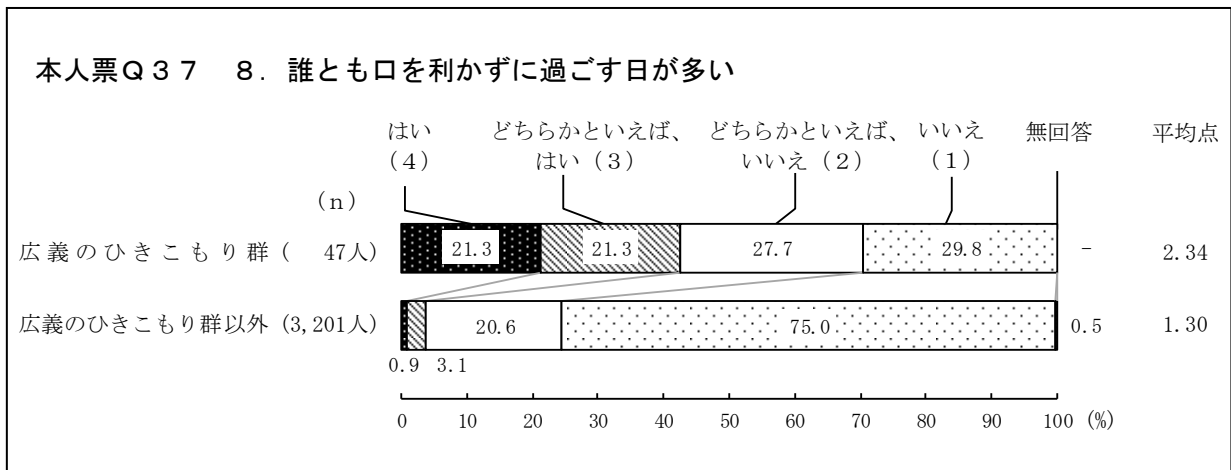
参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査

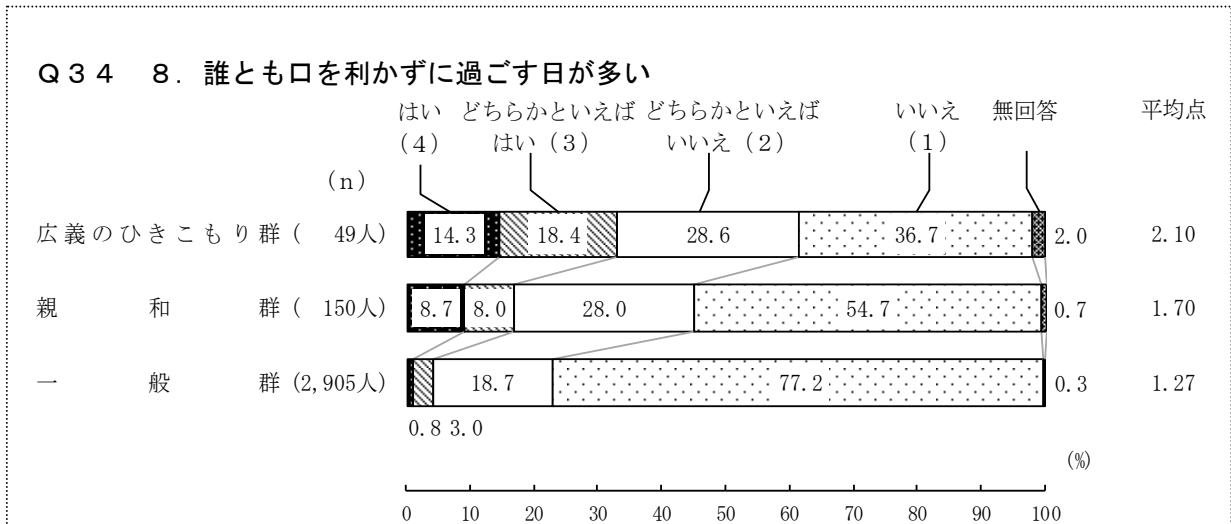


【本人票】

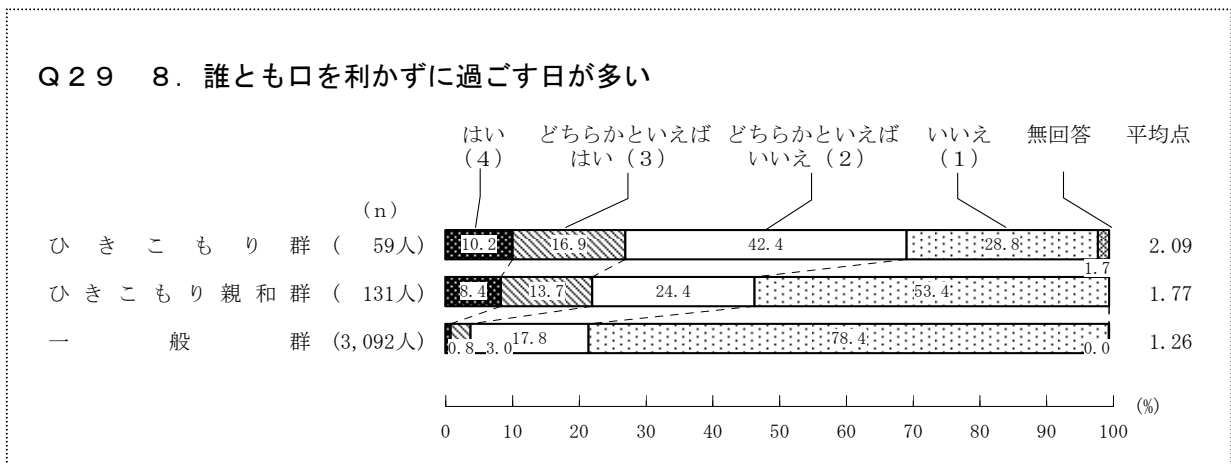


『誰とも口を利かずに過ごす日が多い』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）42.6%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）57.4%、広義のひきこもり群以外では、『はい』4.0%、『いいえ』95.5%となっている。

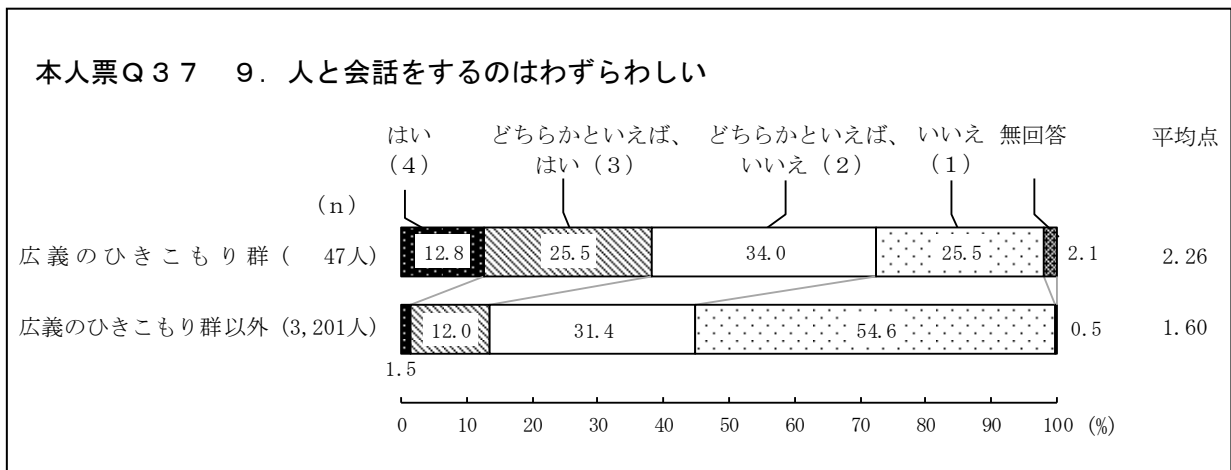
参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査

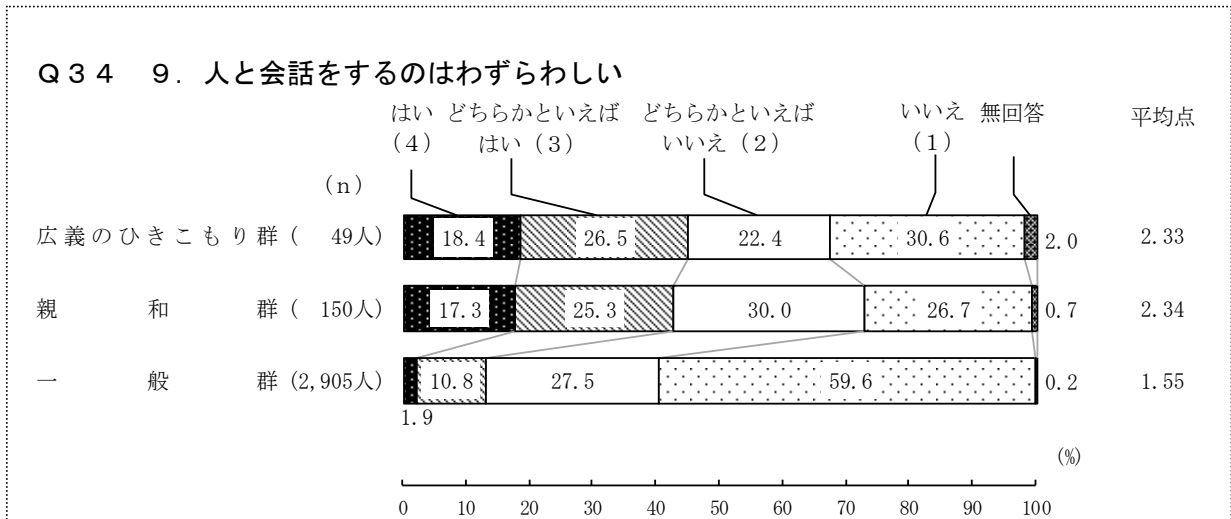


【本人票】

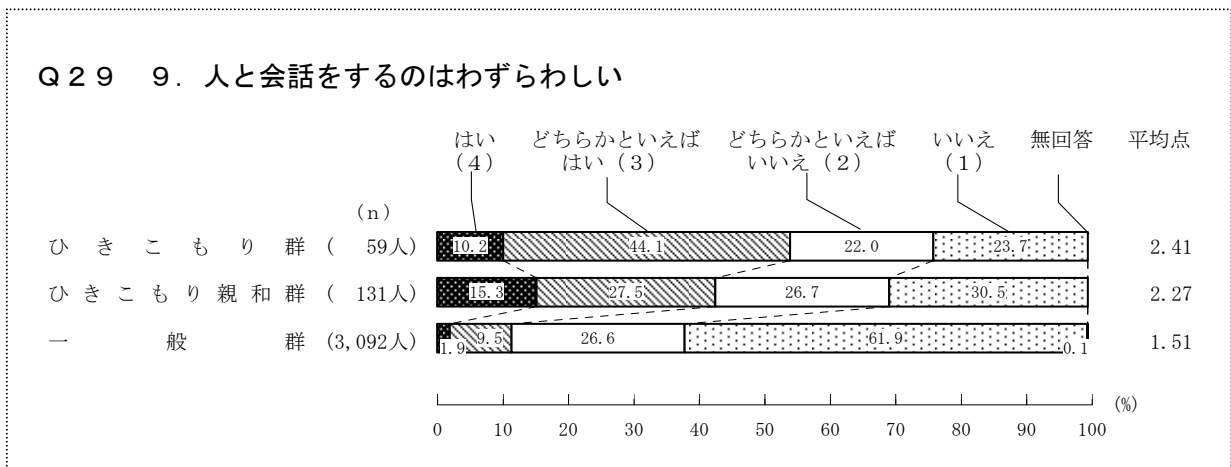


『人と会話をするのはわずらわしい』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）38.3%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）59.6%、広義のひきこもり群以外では、『はい』13.5%、『いいえ』86.0%となっている。

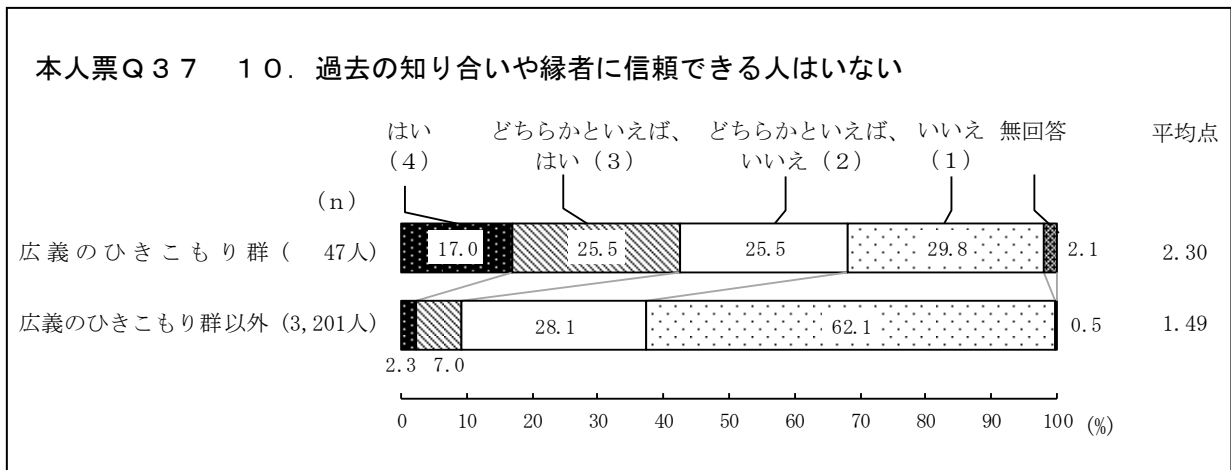
参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査

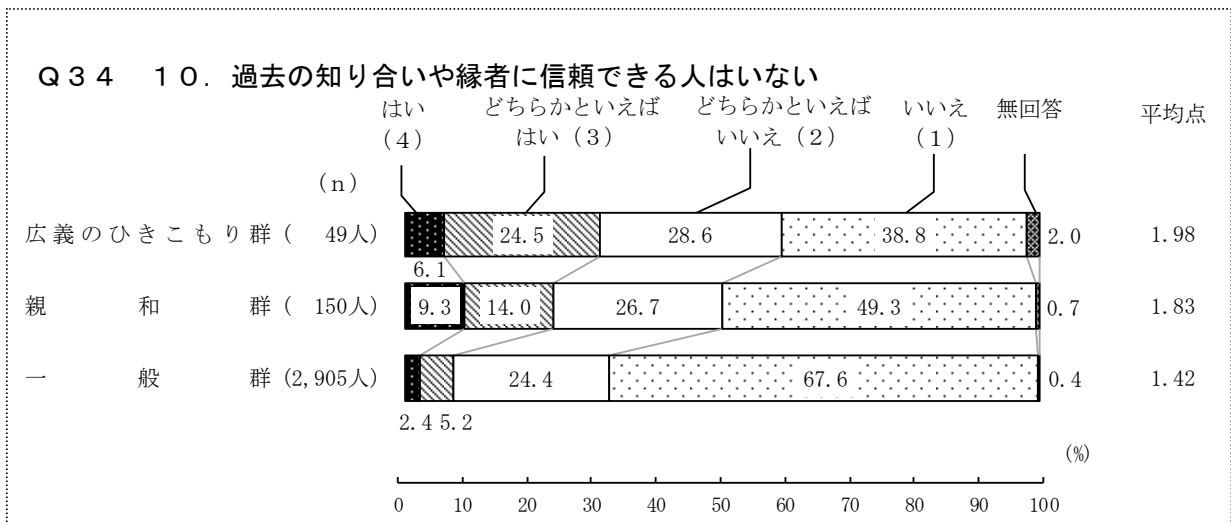


【本人票】

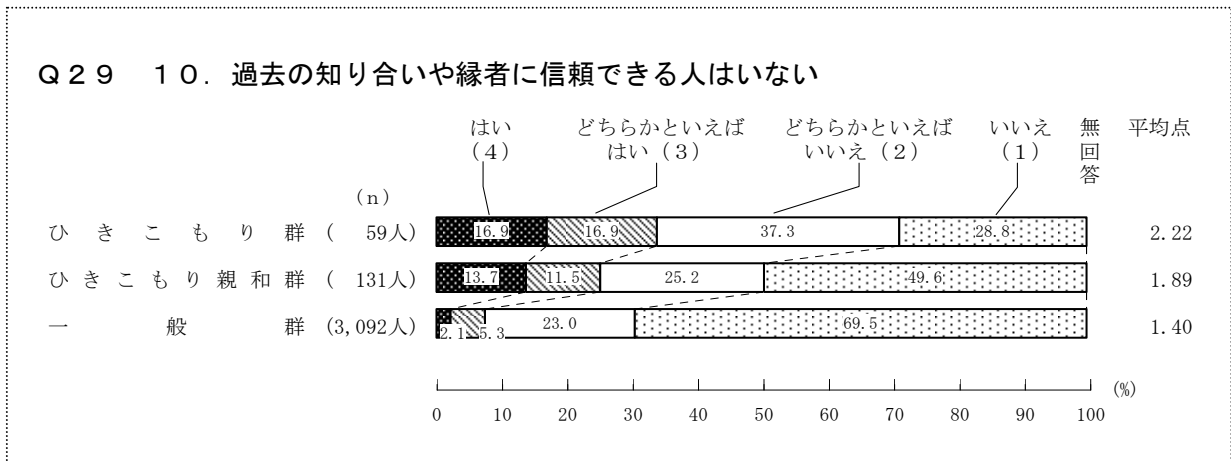


『過去の知り合いや縁者に信頼できる人はいない』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）42.6%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）55.3%、広義のひきこもり群以外では、『はい』9.3%、『いいえ』90.3%となっている。

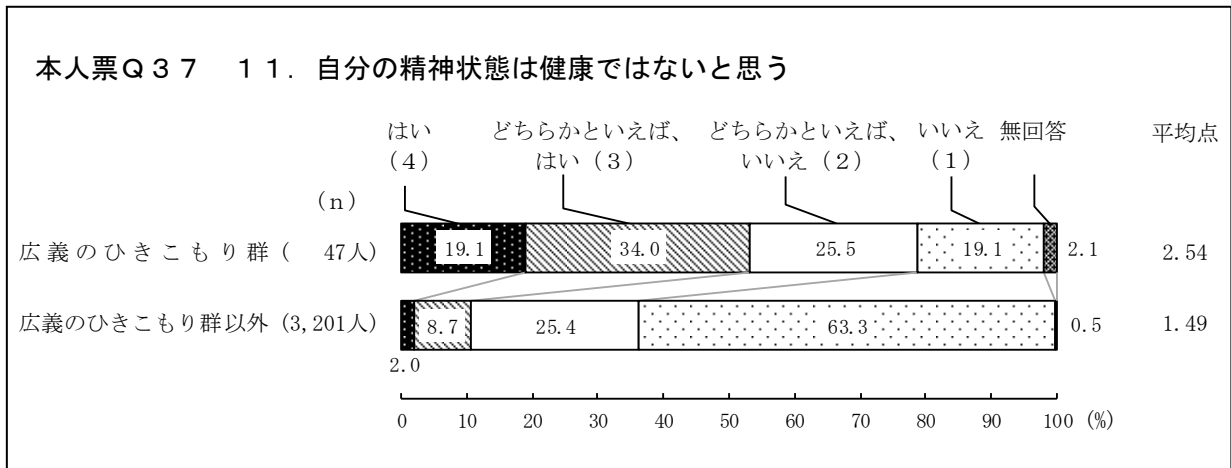
参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査

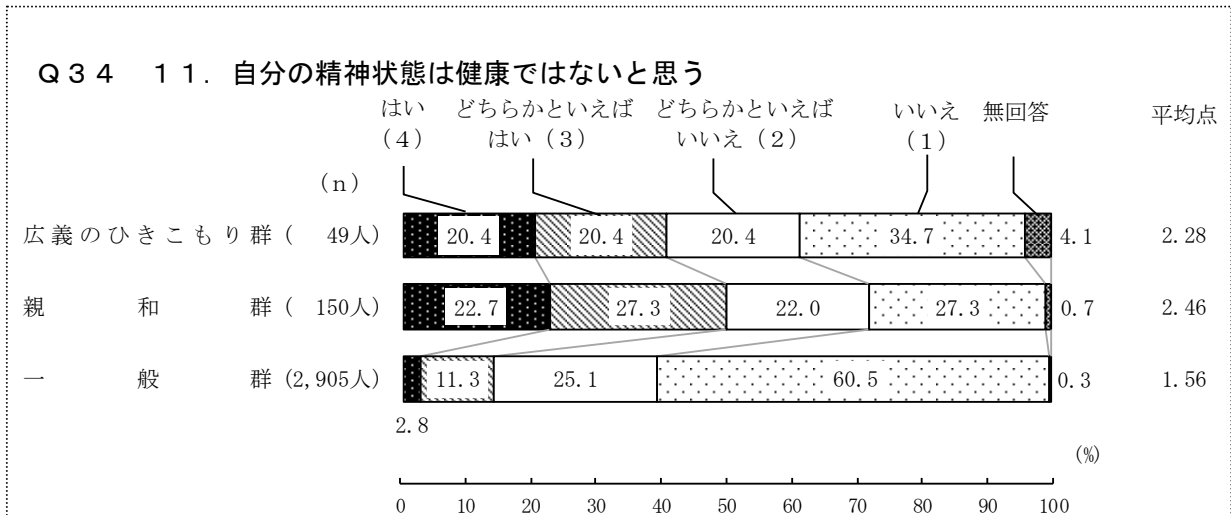


【本人票】

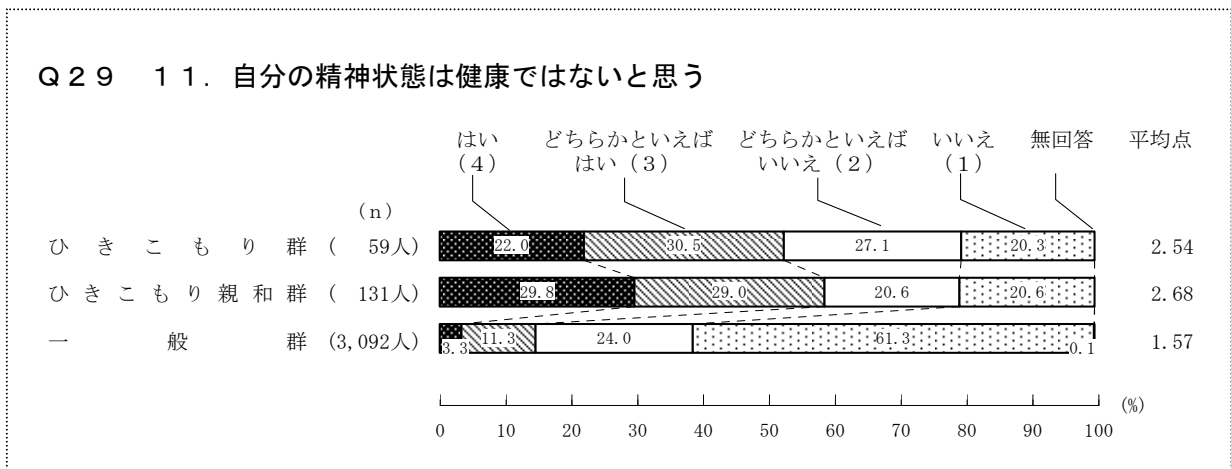


『自分の精神状態は健康ではないと思う』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）53.2%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）44.7%、広義のひきこもり群以外では、『はい』10.7%、『いいえ』88.7%となっている。

参考：前回（平成27年度）調査

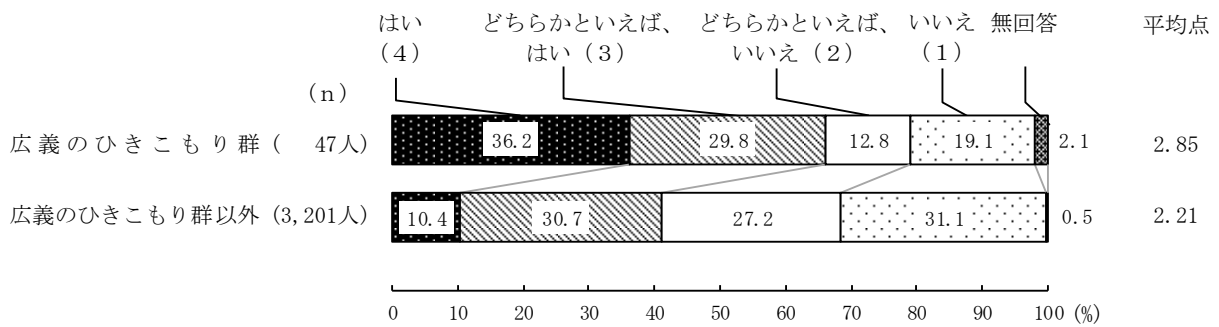


参考：前々回（平成21年度）調査



【本人票】

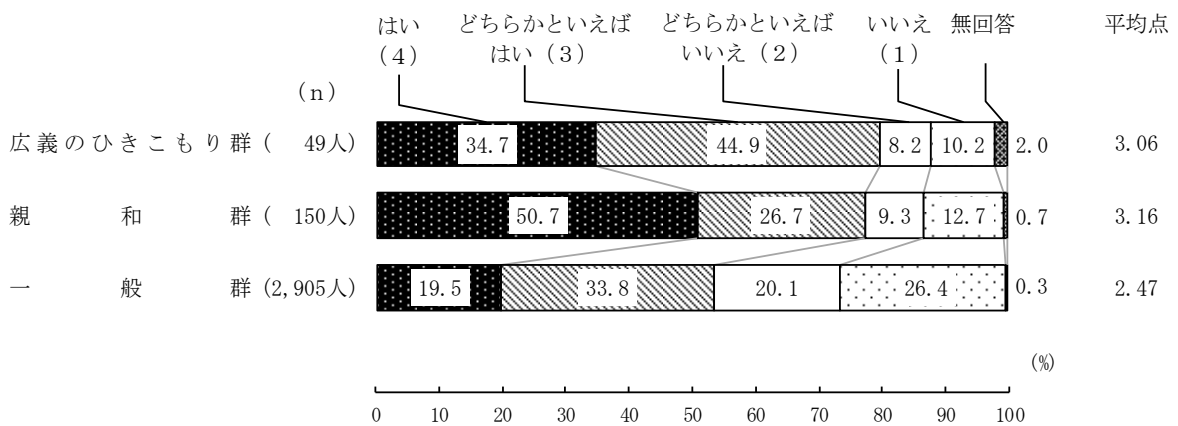
本人票Q37 12. 自分の今の状態について考えることがよくある



『自分の今の状態について考えることがよくある』について聞いたところ、広義のひきこもり群では、『はい』（「はい」+「どちらかといえば、はい」）66.0%、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえば、いいえ」）31.9%、広義のひきこもり群以外では、『はい』41.2%、『いいえ』58.3%となっている。

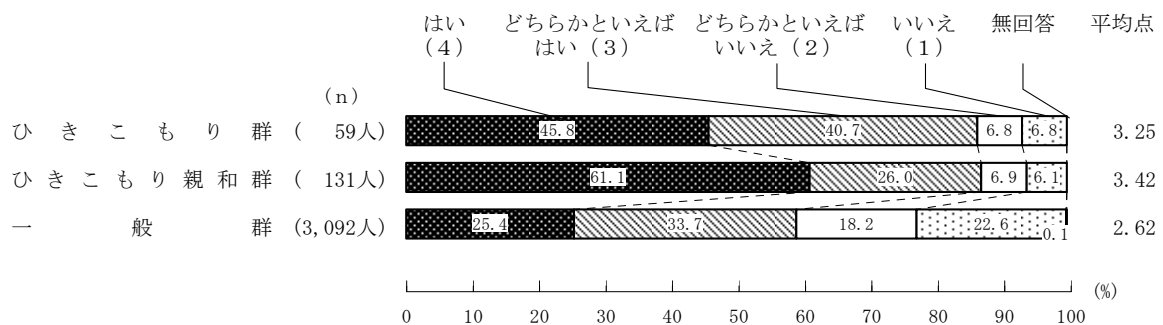
参考：前回（平成27年度）調査

Q34 12. 自分の今の状態について考えることがよくある

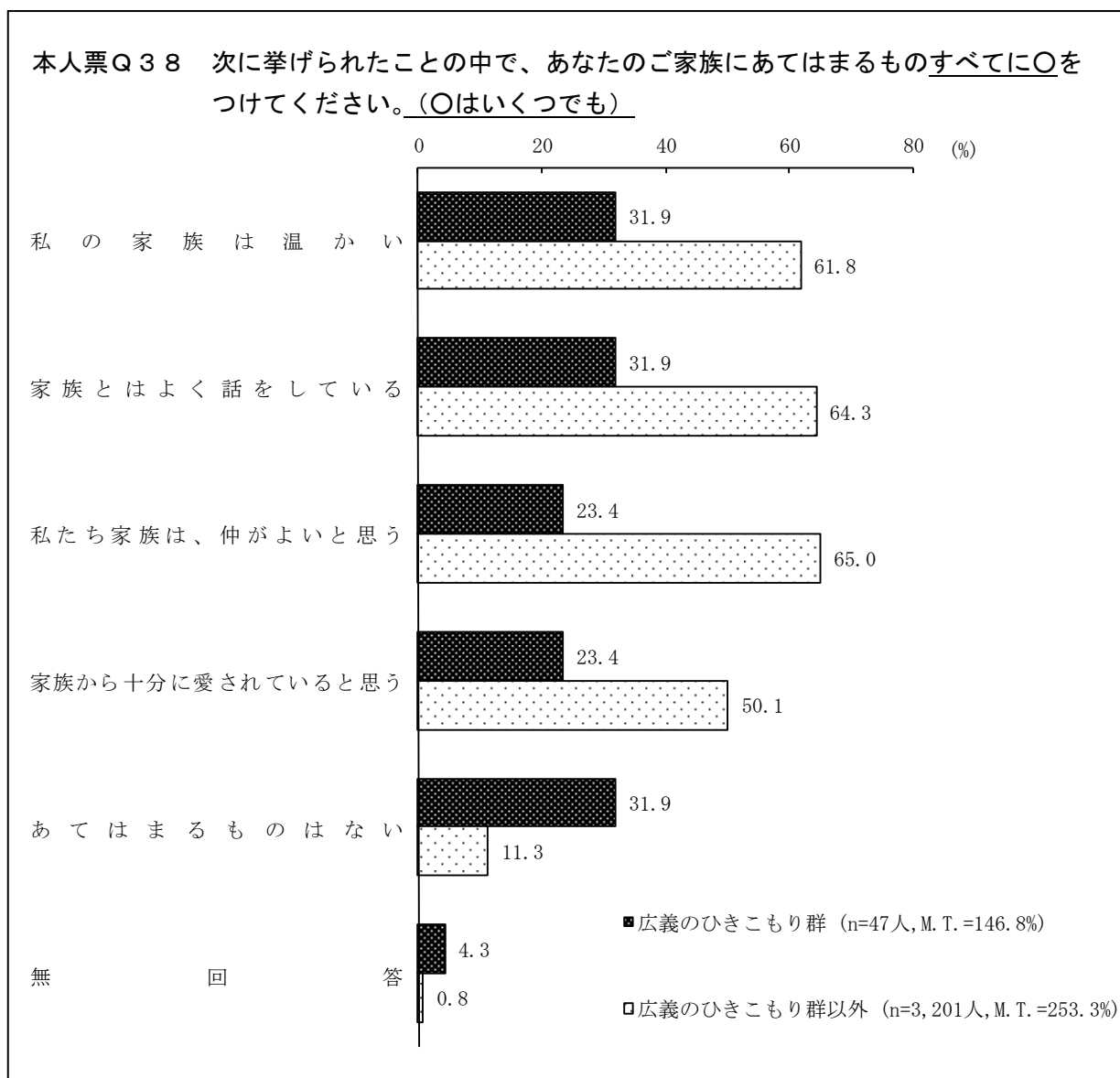


参考：前々回（平成21年度）調査

Q29 12. 自分の今の状態について考えることがよくある



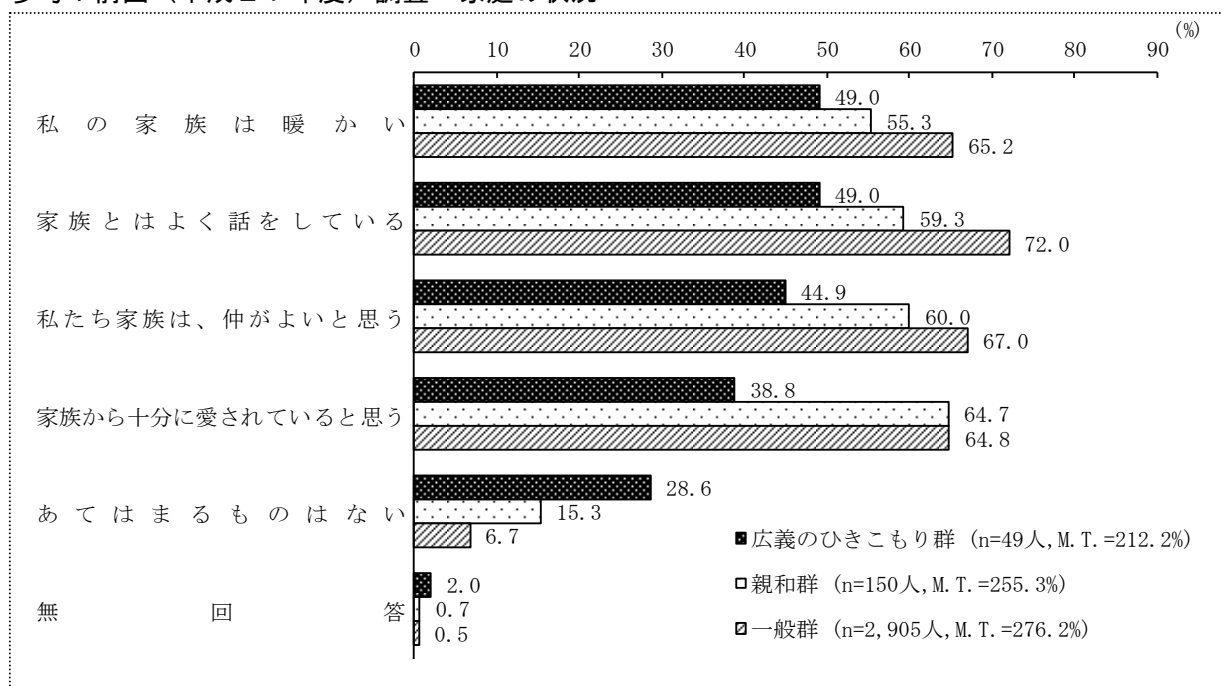
38 【本人票】家族の状況



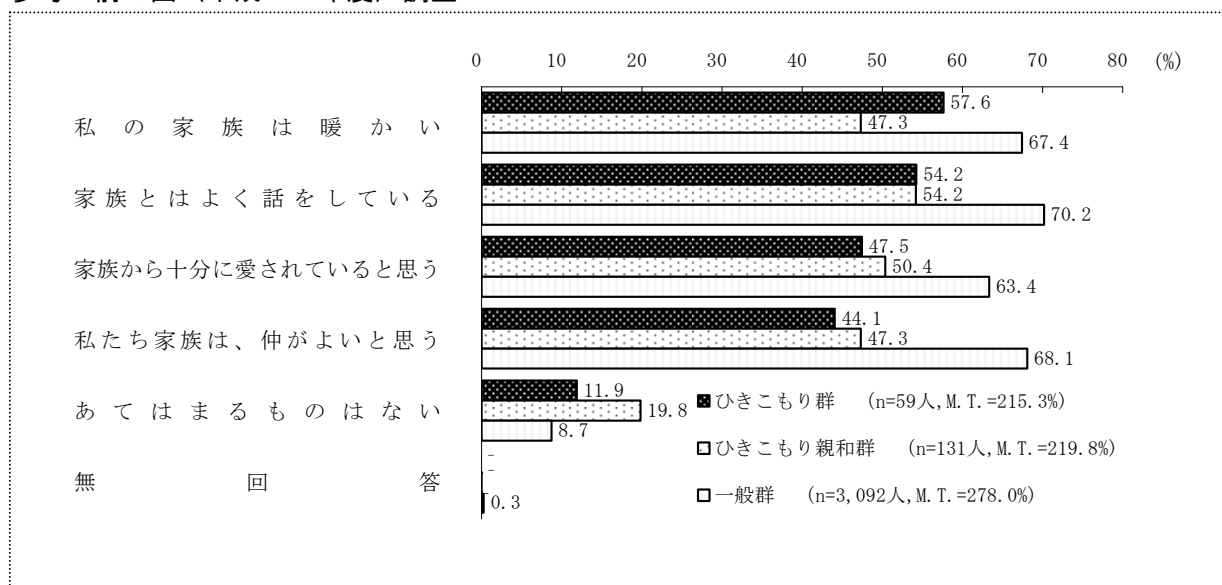
家族の状況について聞いたところ、「私の家族は温かい」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で31.9%、広義のひきこもり群以外で61.8%、「家族とはよく話をしている」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で31.9%、広義のひきこもり群以外で64.3%、「私たち家族は、仲がよいと思う」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で23.4%、広義のひきこもり群以外で65.0%、「家族から十分に愛されていると思う」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で23.4%、広義のひきこもり群以外で50.1%となっている。

また、「あてはまるものはない」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で31.9%、広義のひきこもり群以外で11.3%となっている。

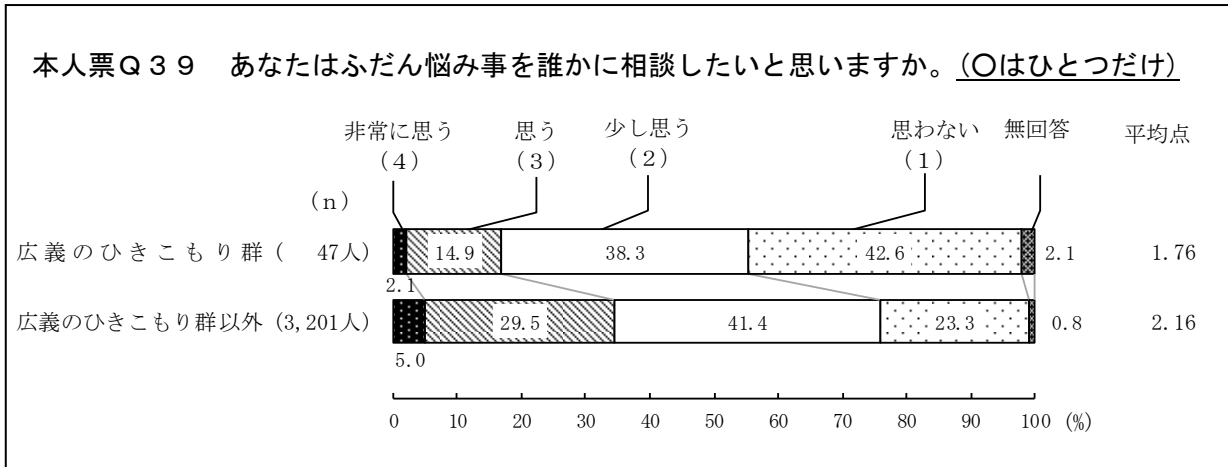
参考：前回（平成27年度）調査 家庭の状況



参考：前々回（平成21年度）調査

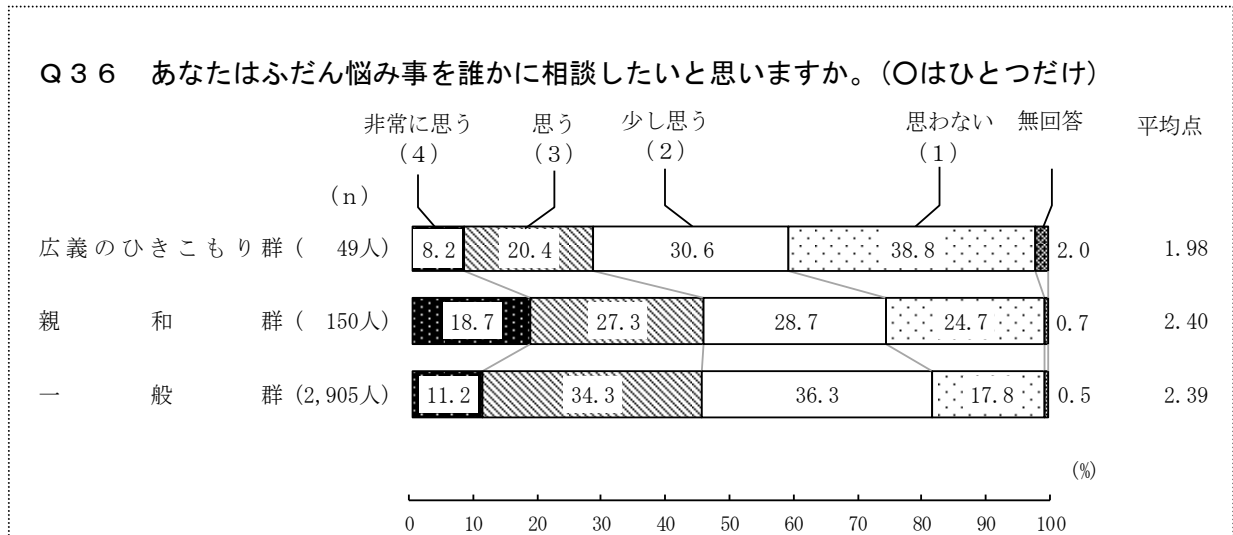


39 【本人票】悩みを誰かに相談したいか

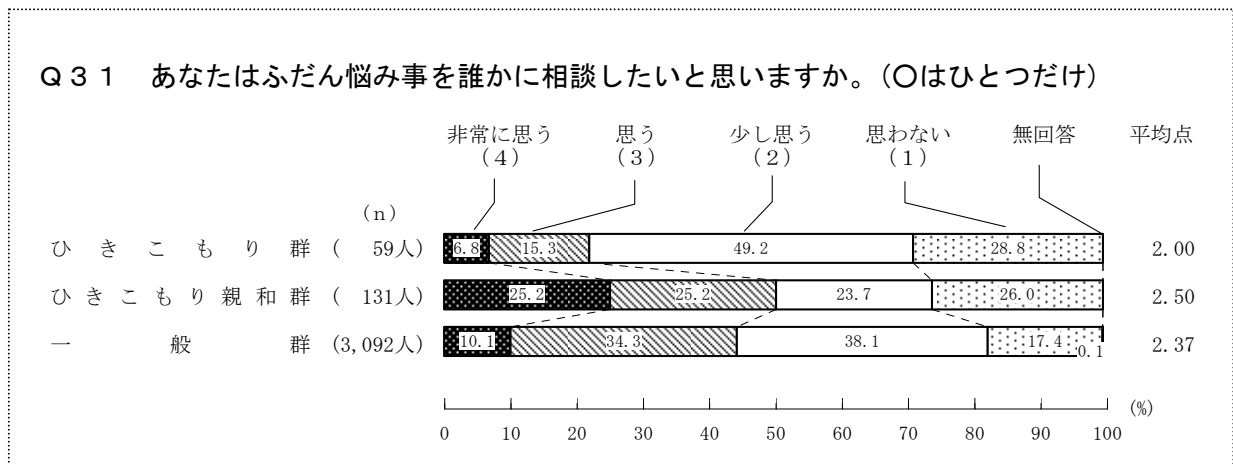


悩みを誰かに相談したいかどうかについて聞いたところ、広義のひきこもり群では、『思う』（「非常に思う」+「思う」+「少し思う」）55.3%、広義のひきこもり群以外では、『思う』75.9%となっている。

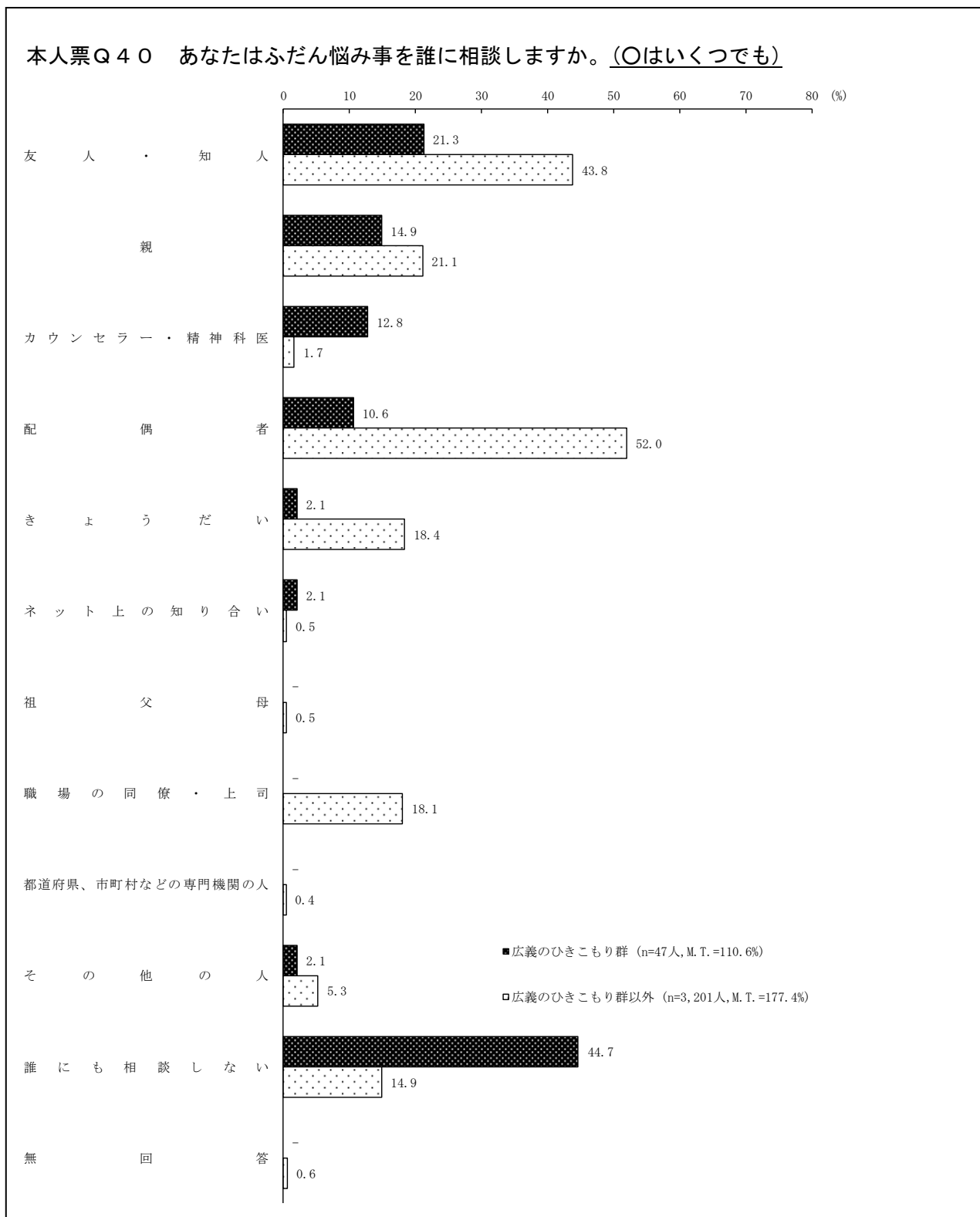
参考：前回（平成27年度）調査



参考：前々回（平成21年度）調査



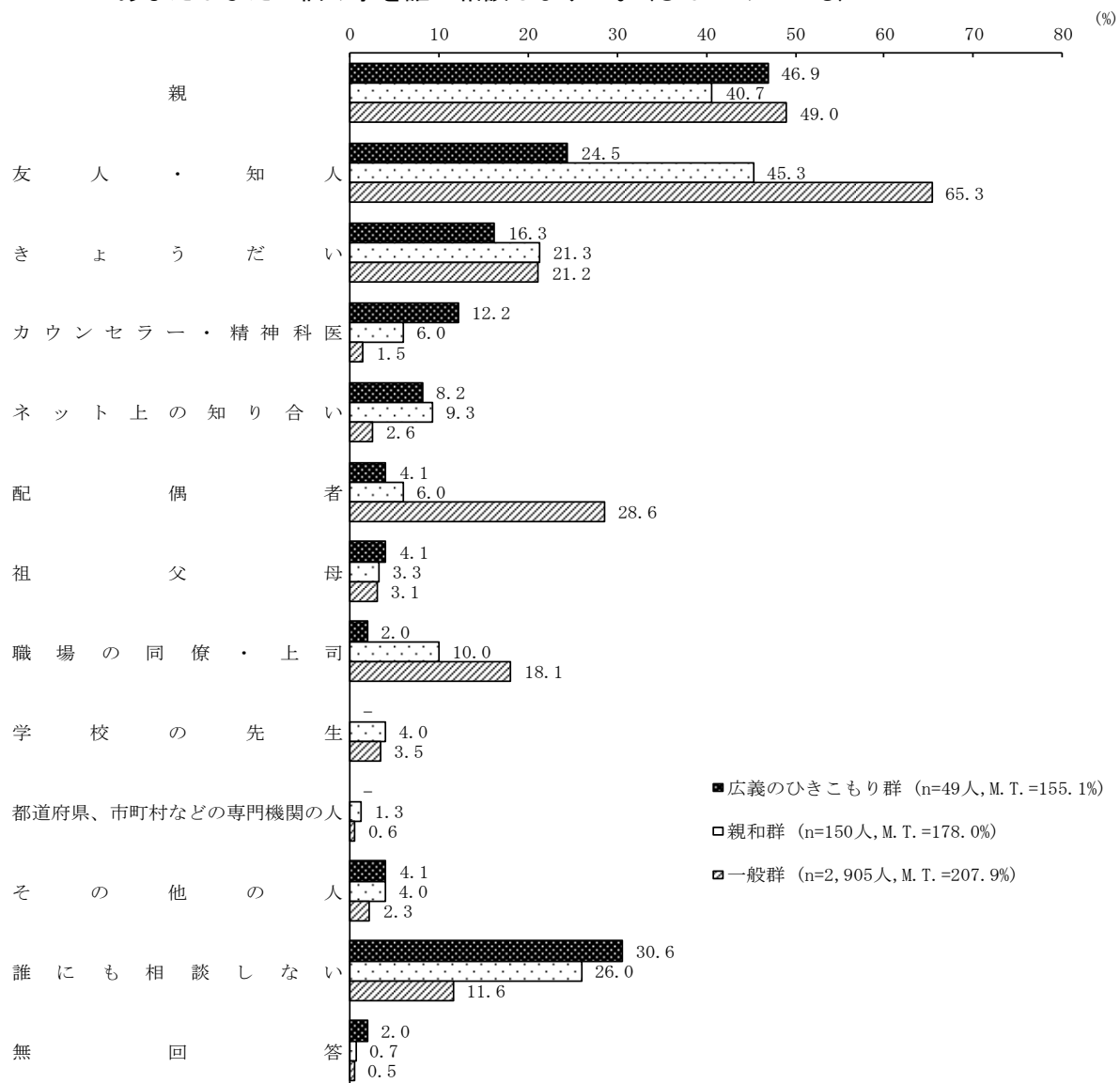
40 【本人票】悩みを相談する相手



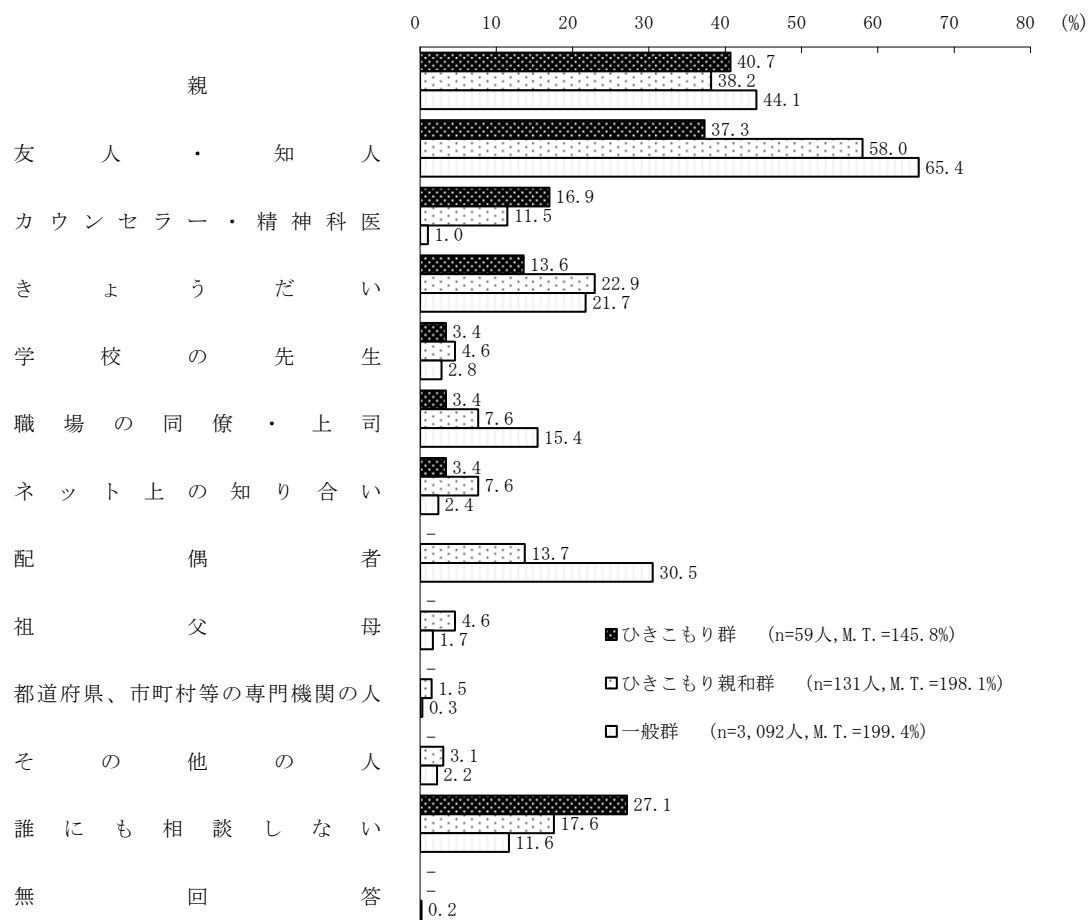
悩みを相談する相手について聞いたところ、「友人・知人」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で21.3%、広義のひきこもり群以外で43.8%、「カウンセラー・精神科医」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で12.8%、広義のひきこもり群以外で1.7%、「配偶者」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で10.6%、広義のひきこもり群以外で52.0%、「きょうだい」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で2.1%、広義のひきこもり群以外で18.4%、「職場の同僚・上司」をあげた者は広義のひきこもり群ではおらず、広義のひきこもり群以外では18.1%となっている。

また、「誰にも相談しない」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で44.7%、広義のひきこもり群以外で14.9%となっている。

Q37 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。（○はいくつでも）



Q32 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。（○はいくつでも）



4 1 【本人票】支援のあり方についての意見

本人票Q 4 1 現在、内閣府では、身体の病気以外の理由でふだん外出ができない方たちへの支援のあり方を検討しています。こうした支援のあり方について、ご意見があれば、自由にお書きください。

以下では回答の一部を抜粋した。なお、回答からは個人が特定できないよう加工している。

同年代で就職がうまく行かず、そのままの人が多と思う。40代でも再スタートできるしくみを作ってほしい。
そういう方たちへの人々の偏見を取り除くのが大切だと思う。(具体的にどうしたらいいかは思いつかないのですが) 支援する機関があることを知らない人も多いと思う。そういう支援機関についての宣伝も大切だと思う。
心の中で感じていることを口に出して表現するのは難しいと思う。ラインやSNSでの書き込みから助けることができれば良いのではと思う。ただ、何かをきっかけに立ち直れる筈なので公的援助は必要ないとも思う。公的機関としては、「外出できない人」の周囲を助けるアドバイスや支援があった方が良いのではとも思う。
私もそうでしたが、外出ができない人はできない理由が必ずあります。体の調子がおかしくなったり精神的にしんどくなったり、でも他人には気のせいと言われてしまうので苦しいのです。支援していただけるのであればその苦しい気持ちを受けとめて受けながさず一緒に克服できるように相談できる機関があれば良いと思います。
自分自身もうつ病の経験があるので是非、国でも支援や認知を広める活動をして頂きたいです。
自宅以外での自分の居場所を、つくることが難しい方も、多くいると思うので、在宅でできる仕事の紹介などについても充実させ、生活保護受給者の減少につなげていただきたい。
働くためには健康でなければいけないわけですが、金銭面の問題とともに一般の病院には行きづらいというのがあります。引きこもりの人たち専用の病院(心療内科や歯科など)があればいいと思ったりもします。医療費が無料であればなおさらいいと思います。
介護・看護で外出ができない方も、たとえ家族であってもつらいことがたくさんあると思うので何かしらの支援があれば共倒れしなくて済むのかな、とニュースを見るたびに考えさせられていました。具体的なことはわかりませんが、支援があることは良いことです。
いろいろなサポート(メンタル・就労など)。外に出ていられる場所
ひきこもり支援の必要性は、かねてから言われてきました。80-50問題が浮上してきた近日、数年前から予想されてきたことと思います。とても大切な支援と感じていますので、どんどん広く深く進めてもらいたいと思います。

<p>インターネットの普及などで家にこもっていても困らない時代。だが出られない本人、ご家族にとってこんなに辛いことはないでしょう。たぶん人とのかわりによる解決よりTVCMやインターネットで本人達の心を動かせる番組を発信していただければよいかと思います。</p>
<p>最初の接点としては、手紙やチラシで行うことがよいと思う（急に誰かに訪問されても困るし、本人の意志があって行動すると思うので、情報を提供することから始めたらよいと思う）。外出先としての場所の提供。フリースペースでは、何を行ってよいのかわからず参加しにくいと思うが、何か行っていることが決まっていると、入りやすいのではないか。</p>
<p>役所や企業内のだれでもできるような雑務の中で、外でもできるようなものを、ニート等外で働けない人たちに報酬付でやってもらう仕組みが出来れば、外出できない人の経済的支援になるのではないのでしょうか。</p>
<p>人とのつながりを求めながらも、過去の経験等から一步を踏み出せない人がいる。そんな人への出会いの機会を同好の縁を基に創出して下さい。</p>
<p>その方たちの心の中がわからないので、具体案はありませんが、その人たちもどうしてそうなったのか、はっきりとした理由が、わかっていない方もいると思う。何か言葉を発した時に聞いてあげて、会話をするようにする。</p>
<p>どんな人間にも生きて以上何か取り柄があるはず。例えばアスペルガーの人にコンピュータープログラムのデバッグをしてもらう。これは、ひたすら一つの事に集中出来る人に向いている作業です。元々コミュニケーションの苦手な人達を表に引っ張り出す必要はなく在宅で出来るWebデザイナーなどの育成が出来るインターネット版職業訓練所を官民共同で設立すれば良いと思います。</p>
<p>カウンセラーの存在をもっと身近にして欲しい。</p>
<p>人それぞれ理由があるだろう（理由なしかも）から個々それぞれにあったやり方をしないと、均一的にしても無理だと思う。人それぞれなので長期の支援が必要だと思う。（6ヶ月～1年ぐらいではだめだと思う。最低2、3年は必要では！それぐらい根は深いと思う）</p>
<p>農業体験</p>
<p>カウンセラーとかに通うお金の支援とかはしてあげたら良いと思うが、生活面での支援はどうかと思います</p>
<p>アウトリーチが必要だと思います。細く長く支援する体制づくりをしてほしい。担当者がころころ変わる事のないよう、信頼関係を築くためにもある一定期間専従できる職員配置が必要ではないでしょうか。</p>
<p>無理矢理、ほじり出す必要はないと思う。何かのきっかけで、イキイキする人には、きっかけになる様な場所を作っておいたらいいのでは。</p>
<p>深刻な問題があり外出が出来ないならば、リモートワークなど、家の中で働き、自分を養うことが自信をもつ一つのきっかけになるのではと思います。</p>
<p>若い人の引きこもりは、とても不幸な事だと思います。田舎の方に大きな施設を作り、農作業みたいな、身体を使って生きる喜びを感じてもらいたい。</p>

難しい世の中なので、若い人達には、経験者が親身になった、応対を、望みます。

自分は問題ないと思ってますが、親戚に家にずっといる者がいて、外の社会に出たいという気持ちがあってもどうしたら良いのか、怖い…と思って出れないのでは…と思います。とにかく人と接する機会…ボランティアなどその人に合った場所を作ってもらえるような支援を望みます。

4 2 【本人票】 現在や将来の不安

本人票Q 4 2 現在や将来のことについて、不安に思うことはありますか。
 ご自由にお書きください。

以下では回答の一部を抜粋した。なお、回答からは個人が特定できないよう加工している。

収入とか住宅ローンとか
老後、一人で暮らして行くことについて不安に思う
老後の生活に不安を感じます。
自分の病気（うつ病）が悪化する危険性もあるので、それは不安です。
金銭面。
ひきこもる若者、ニートの若者が、段階をふんで自信をつけ働いてゆける職場（収入を得ながら）が、民間にあればいいと思います。中間就労とも呼んでますが、まだまだその必要性が認知されていないのが残念です。
病気などで夫に心配かける事がない様元気で過して居られるか年を重ねるごとに不安に思う。夫が病気など（ケガや事故を含め）にならず、元気で居てほしいと心から願っている。
病気になったら、どうしよう。一人になったらどうなるとか
配偶者がいないので、同居人の実母が亡くなった時1人で生活していくのがさびしいと思う。ただそうなった時はまた考えればいいと思う。
年をとって寝たきりになったらと思うと不安
老後が不安
独り暮らしなので急な病気等になった時の対処など。
健康のみ。病院、医者、薬に頼る事が多い。しかし、動けるならバイトを続けていきたい。
健康だけだな。
健康、痴呆
老後のすべてが不安
やはり、経済的な不安はある。
老後の生活
今は元気に生活していますが、老後寝たきりになるのでは…など不安になったりします。まわりの人に迷惑かけないか…いろいろ考えてしまいます。
心の病気だと本で調べました。仕事をみつけても他人となじめず明日からこなくてよいと言われ悲しい思いをしました。なん回も親は読書が好きだからたまには好きな本を買いに出かけたらと言ってくれます。コンビニは好きなものを買いにいきます。他人と話さなくてよいからです。心ではこのままいけば親に迷惑なことは分っていますが勇気が出ません